

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジン ジョウショウカクエン 学校法人 常翔学園								
フリガナ大学の名称	セツナンダイガク 摂南大学（Setsunan University）								
大学本部の位置	大阪府寝屋川市池田中町17番8号								
大学の目的	摂南大学は、時代と地域の要請に基づき、深く専門の学術とその応用を教授研究するとともに、全人の育成を第一義として、人間力・実践力・統合力を養い、自らが課題を発見し、そして解決することができる知的専門職業人を育成し、もって社会の発展と学術・文化の向上をはかることを目的とする。								
新設学部等の目的	外国語学部を学生募集停止するとともに新たに国際学部を開設し、経営学部経営情報学科を学生募集停止するとともに経営学部経営学科の定員を増員するため、大学の収容定員に係る学則変更を行う。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	理工学部 【Faculty of Science and Engineering】	年	人	年次人	人		年 月 第 年次		
	生命科学科 【Department of Life Science】	4	105	3年次 5	430	学士（理学） [Bachelor of Science]	平成22年4月 第1年次	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	
	住環境デザイン学科 【Department of Living and Environmental Design】	4	85	3年次 5	350	学士（工学） [Bachelor of Engineering]	平成22年4月 第1年次	同上	
	建築学科 【Department of Architecture】	4	80	3年次 5	330	同上	昭和50年4月 第1年次	同上	
	機械工学科 【Department of Mechanical Engineering】	4	130	3年次 5	530	同上	昭和50年4月 第1年次	同上	
	電気電子工学科 【Department of Electrical and Electronic Engineering】	4	105	3年次 5	430	同上	昭和50年4月 第1年次	同上	
	都市環境工学科 【Department of Civil and Environmental Engineering】	4	80	3年次 5	330	同上	平成22年4月 第1年次	同上	
	外国語学部 【Faculty of Foreign Studies】								
外国語学科 【Department of Foreign Studies】	4	0 (220)	3年次 0 (5)	0 (890)	学士（文学） [Bachelor of Arts]	昭和57年4月 第1年次 平成17年4月 第3年次	同上	※令和4年4月 学生募集停止	

新設学部等の概要	国際学部 【Faculty of International Studies】								
	国際学科 【Department of International Studies】	4	250 (0)	3年次 5 (0)	1,010 (0)	学士（文学） [Bachelor of Arts]	令和4年4月 第1年次 令和6年4月 第3年次	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	※令和3年4月 設置届出予定
	経営学部 【Faculty of Business Administration】								
	経営学科 【Department of Business Administration】	4	280 (170)	3年次 6 (4)	1,132 (688)	学士（経営学） [Bachelor of Business Administration]	令和4年4月 第1年次 令和6年4月 第3年次	同上	
	経営情報学科 【Department of Business Administration and information】	4	0 (100)	3年次 0 (4)	0 (408)	同上	昭和57年4月 第1年次 平成17年4月 第3年次	同上	※令和4年4月 学生募集停止
	薬学部 【Faculty of Pharmaceutical Sciences】								
	薬学科 【Department of Pharmaceutical Sciences】	6	220	—	1,320	学士（薬学） [Bachelor of Pharmacy]	平成18年4月 第1年次	大阪府枚方市長尾 峠町45番1号	
	法学部 【Faculty of Law】								
	法律学科 【Department of Law】	4	280	3年次 5	1,130	学士（法学） [Bachelor of Jurisprudence]	昭和63年4月 第1年次 平成17年4月 第3年次	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号	
	経済学部 【Faculty of Economics】								
	経済学科 【Department of Economics】	4	280	3年次 4	1,128	学士（経済学） [Bachelor of Economics]	平成22年4月 第1年次 平成24年4月 第3年次	同上	
	看護学部 【Faculty of Nursing】								
	看護学科 【Department of Nursing】	4	100	—	400	学士（看護学） [Bachelor of Nursing]	平成24年4月 第1年次	大阪府枚方市長尾 峠町45番1号	
	農学部 【Faculty of Agriculture】								
	農業生産学科 【Department of Agricultural Science And Technology】	4	80	—	320	学士（農学） [Bachelor of Agriculture]	令和2年4月 第1年次	同上	
応用生物科学学科 【Department of Applied Biological Sciences】	4	80	—	320	同上	令和2年4月 第1年次	同上		
食品栄養学科 【Department of Food Science and Human Nutrition】	4	80	—	320	同上	令和2年4月 第1年次	同上		
食農ビジネス学科 【Department of Agri-food Business】	4	100	—	400	同上	令和2年4月 第1年次	同上		
計		2,335 (2,295)	3年次 50 (52)	9,880 (9,724)					

同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	摂南大学 国際学部 国際学科 (250) (3年次編入学定員) (5) (令和3年4月設置届出予定) 外国語学部 (廃止) 外国語学科 (△220) (3年次編入学定員) (△5) ※令和4年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は令和6年4月学生募集停止) 経営学部 経営情報学科 (廃止) (△100) (3年次編入学定員) (△4) ※令和4年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は令和6年4月学生募集停止)					
	教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数			
講義			演習	実習	計	
	—	—科目	—科目	—科目	—科目	—単位

教員組織の概要

学部等の名称		専任教員等						兼任 教員等
		教授	准教授	講師	助教	計	助手	
		人	人	人	人	人	人	人
新設分	理工学部 生命科学科	8 (8)	2 (2)	4 (4)	2 (2)	16 (16)	0 (0)	145 (145)
		5 (5)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	229 (229)
		7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	206 (206)
		6 (6)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	208 (208)
		8 (8)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	193 (193)
		5 (5)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	197 (197)
	国際学部 国際学科	14 (14)	10 (10)	13 (13)	0 (0)	37 (37)	0 (0)	95 (95)
	経営学部 経営学科	11 (11)	12 (12)	3 (3)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	128 (128)
	薬学部 薬学科	20 (20)	16 (16)	17 (17)	16 (16)	69 (69)	3 (3)	102 (102)
	法学部 法律学科	10 (10)	7 (7)	4 (4)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	145 (145)
	経済学部 経済学科	10 (10)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	125 (125)
	看護学部 看護学科	12 (12)	5 (5)	8 (8)	13 (13)	38 (38)	0 (0)	102 (102)
	農学部 農業生産学科	7 (7)	1 (1)	4 (4)	3 (3)	15 (15)	0 (0)	72 (52)
		5 (5)	3 (3)	4 (4)	2 (2)	14 (14)	1 (1)	70 (51)
		10 (10)	4 (4)	2 (2)	2 (2)	18 (18)	4 (4)	76 (55)
		7 (7)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	66 (49)
		145 (145)	93 (93)	69 (69)	38 (38)	345 (345)	8 (8)	— (—)
既設分	理工学部 基礎理工学機構	2 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
	教務部 ラーニングセンター	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	5 (5)
		1 (1)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)
	学生部 スポーツ振興センター	1 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	5 (5)	0 (0)	0 (0)
		0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	4 (4)
	学長付	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		5 (5)	4 (4)	5 (5)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	— (—)
合計	150 (150)	97 (97)	74 (74)	39 (39)	360 (360)	8 (8)	— (—)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計			
			人	人	人			
	事 務 職 員		154 (154)	50 (50)	204 (204)			
	技 術 職 員		12 (12)	0 (0)	12 (12)			
	図 書 館 専 門 職 員		4 (4)	18 (18)	22 (22)			
	そ の 他 の 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計		170 (170)	68 (68)	238 (238)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	151,385.54㎡	0㎡	0㎡	151,385.54㎡			
	運 動 場 用 地	147,400.85㎡	0㎡	0㎡	147,400.85㎡			
	小 計	298,785.39㎡	0㎡	0㎡	298,785.39㎡			
	そ の 他	17,352.60㎡	0㎡	0㎡	17,352.60㎡			
	合 計	316,137.99㎡	0㎡	0㎡	316,137.99㎡			
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		130,603.79㎡ (130,603.79㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	130,603.79㎡ (130,603.79㎡)			
教 室 等		講義室	演習室	実験実習室	情報処理 学習施設	語学学習施設	大学全体	
		72室	99室	105室	15室 (補助職員6人)	34室 (補助職員5人)		
専任教員研究室			新設学部等の名称	室 数				
			大学全体	373室				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 (うち外国書) 冊	学術雑誌 (うち外国書) 種	電子ジャーナル (うち外国書)	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	大学全体	398,145 [104,921] (398,145 [104,921])	3,920 [2,438] (3,920 [2,438])	108 [99] (108 [99])	11,307 (11,307)	56,359 (56,359)	135 (135)	
	計	398,145 [104,921] (398,145 [104,921])	3,920 [2,438] (3,920 [2,438])	108 [99] (108 [99])	11,307 (11,307)	56,359 (56,359)	135 (135)	
図 書 館		面 積	閲覧座席数		収納可能冊数			大学全体
		8,230.45㎡	1,163		635,945			
体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
		7,401.43㎡	該当なし					

経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
	教員1人当り研究費等		1,735千円	1,780千円	1,796千円	1,798千円	1,798千円	1,798千円	
	共同研究費等		44,907千円	44,907千円	44,907千円	44,907千円	44,907千円	44,907千円	
	図書購入費	170,477千円	170,477千円	170,477千円	170,477千円	170,477千円	170,477千円	170,477千円	
	設備購入費	224,687千円	224,687千円	224,687千円	224,687千円	224,687千円	224,687千円	224,687千円	
経費の見積り及び維持方法の概要	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	理工学部	1,640千円	1,490千円	1,490千円	1,490千円	- 千円	- 千円		
	国際学部	1,280千円	1,130千円	1,130千円	1,130千円	- 千円	- 千円		
	経営学部	1,220千円	1,070千円	1,070千円	1,070千円	- 千円	- 千円		
	薬学部	2,310千円	1,960千円	1,960千円	1,960千円	1,960千円	1,960千円		
	法学部	1,200千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	- 千円	- 千円		
	経済学部	1,220千円	1,070千円	1,070千円	1,070千円	- 千円	- 千円		
	看護学部	1,900千円	1,750千円	1,750千円	1,750千円	- 千円	- 千円		
	農学部	農業生産学科	1,650千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	- 千円	- 千円	
		応用生物科学科							
		食品栄養学科	1,680千円	1,530千円	1,530千円	1,530千円	- 千円	- 千円	
	食農ビジネス学科	1,350千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	- 千円	- 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

既設大学等の状況	大学の名称	摂南大学大学院							
	学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は学は称又号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍	年度	
	薬学研究科 博士課程						0.75		
	医療薬学専攻	4	4	—	16	博士 (薬学)	0.75	平成24年度	大阪府枚方市 長尾峠町45番1号
	理工学研究科 博士前期課程						0.76		
	社会開発工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.91	平成元年度	大阪府寝屋川市 池田中町17番8号
	生産開発工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.66	平成26年度	同上
	生命科学専攻	2	10	—	20	修士 (理学)	0.70	平成26年度	同上
	理工学研究科 博士後期課程						0.33		
	創生工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.00	平成20年度	同上
	生命科学専攻	3	2	—	6	博士 (理学)	0.66	平成28年度	同上
	経済経営学研究科 修士課程						0.05		
	経済学専攻	2	5	—	10	修士 (経済学)	0.00	平成26年度	同上
	経営学専攻	2	5	—	10	修士 (経営学)	0.10	平成26年度	同上
	法学研究科 修士課程						0.50		
	法律学専攻	2	5	—	10	修士 (法学)	0.50	平成9年度	同上
	国際言語文化研究科 修士課程						0.20		
	国際言語文化専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.20	平成11年度	同上
	看護学研究科 修士課程						0.75		
	看護学専攻	2	6	—	12	修士 (看護学)	0.75	平成28年度	大阪府枚方市 長尾峠町45番1号

既設大学等の状況	大学の名称	摂南大学							所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は学は称	定員超過率	開設年度		
		年	人	年次人	人		倍	年度		
	理工学部						1.02			
	生命科学科	4	105	3年次5	385	学士(理学)	1.03	平成22年度	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	令和3年度入学定員増(15人)
	住環境デザイン学科	4	85	3年次5	305	学士(工学)	1.00	平成22年度	同上	令和3年度入学定員増(15人)
	建築学科	4	80	3年次5	300	学士(工学)	1.05	昭和50年度	同上	令和3年度入学定員増(10人)
	機械工学科	4	130	3年次5	470	学士(工学)	1.01	昭和50年度	同上	令和3年度入学定員増(20人)
	電気電子工学科	4	105	3年次5	385	学士(工学)	1.04	昭和50年度	同上	令和3年度入学定員増(15人)
	都市環境工学科	4	80	3年次5	300	学士(工学)	1.01	平成22年度	同上	令和3年度入学定員増(10人)
	外国語学部						1.06			
	外国語学科	4	220	3年次5	890	学士(文学)	1.06	昭和57年度	同上	
	経営学部						1.07			
	経営学科	4	170	3年次4	688	学士(経営学)	1.07	平成18年度	同上	
	経営情報学科	4	100	3年次4	408	学士(経営学)	1.09	昭和57年度	同上	
	薬学部						1.03			
	薬学科(6年制)	6	220	—	1,320	学士(薬学)	1.03	平成18年度	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
	法学部						1.04			
	法律学科	4	280	3年次5	1,040	学士(法学)	1.04	昭和63年度	大阪府寝屋川市池田中町17番8号	令和3年度入学定員増(30人)
	経済学部						1.05			
	経済学科	4	280	3年次4	1,038	学士(経済学)	1.05	平成22年度	同上	令和3年度入学定員増(30人)
	看護学部						1.03			
	看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.03	平成24年度	大阪府枚方市長尾峠町45番1号	
	農学部						0.95			令和2年度学部設置
	農業生産学科	4	80	—	160	学士(農学)	0.98	令和2年度	同上	
	応用生物科学科	4	80	—	160	学士(農学)	0.96	令和2年度	同上	
	食品栄養学科	4	80	—	160	学士(農学)	0.90	令和2年度	同上	
	食農ビジネス学科	4	100	—	200	学士(農学)	0.97	令和2年度	同上	

既設大学等の状況	大学の名称	大阪工業大学大学院							所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		
		年	人	年次人	人		倍			
	工学研究科 博士前期課程						1.12			
	建築・都市デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.88	平成29年度	大阪府大阪市 旭区大宮五丁目 16番1号	
	電気電子・機械工学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.20	平成29年度	同上	
	化学・環境・生命工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.23	平成29年度	同上	
	工学研究科 博士後期課程						0.88		同上	
	都市デザイン工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	昭和42年度	同上	平成 29 年度学生募集停止
	生体医工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成19年度	同上	平成 29 年度学生募集停止
	電気電子工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	昭和42年度	同上	平成 29 年度学生募集停止
	建築・都市デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.66	平成29年度	同上	
	電気電子・機械工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	1.00	平成29年度	同上	
	化学・環境・生命工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	1.00	平成29年度	同上	
	ロボティクス&デザイン工学研究科 博士前期課程						1.18		同上	
	ロボティクス&デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.18	平成29年度	大阪府大阪市北区 茶屋町1番45号	
	ロボティクス&デザイン工学研究科 博士後期課程						0.16			
	ロボティクス&デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.16	平成29年度	同上	
	情報科学研究科 博士前期課程						1.02			
	情報科学専攻	2	40	—	80	修士 (情報学)	1.02	平成12年度	大阪府枚方市北山 一丁目79番1号	
	情報科学研究科 博士後期課程						0.00			
	情報科学専攻	3	5	—	15	博士 (情報学)	0.00	平成14年度	同上	
	知的財産研究科 専門職学位課程						1.11			
	知的財産専攻	2	30	—	60	知的財産修士 (専門職)	1.11	平成17年度	大阪府大阪市 旭区大宮五丁目 16番1号	

既設大学等の状況	大学の名称	大阪工業大学							所在地		
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は学は称	定員超過率	開設年度			
	工学部	年	人	年次人	人		倍				
	都市デザイン工学科	4	100	3年次5	410	学士(工学)	1.01	昭和24年度	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号		
	空間デザイン学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成18年度	同上	平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集停止	
	建築学科	4	150	3年次5	610	学士(工学)	1.02	昭和24年度	同上		
	機械工学科	4	140	3年次5	570	学士(工学)	0.98	昭和25年度	同上		
	ロボット工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成22年度	同上	平成29年度学生募集停止 平成31年度3年次編入学募集停止	
	電気電子システム工学科	4	125	3年次5	510	学士(工学)	1.01	昭和24年度	同上		
	電子情報システム工学科	4	110	3年次5	450	学士(工学)	1.05	昭和34年度	同上	平成31年度から名称変更 電子情報通信工学科→ 電子情報システム工学科	
	応用化学科	4	130	3年次5	530	学士(工学)	0.99	昭和33年度	同上		
	環境工学科	4	75	3年次5	310	学士(工学)	1.03	平成18年度	同上		
	生命工学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.00	平成22年度	同上		
	ロボティクス&デザイン工学部						1.04				
	ロボット工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.02	平成29年度	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号		
	システムデザイン工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.07	平成29年度	同上		
	空間デザイン学科	4	100	3年次5	410	学士(工学)	1.03	平成29年度	同上		
	情報科学部						1.00				
	データサイエンス学科	4	70	—	70	学士(情報学)	—	令和3年度	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	令和3年度学科設置	
	情報知能学科	4	90	3年次5	415	学士(情報学)	0.97	平成8年度	同上	平成31年度から名称変更 コンピュータ科学科→ 情報知能学科 令和3年度入学定員減 (△15人)	
	情報システム学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	0.98	平成8年度	同上		
	情報メディア学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	1.02	平成14年度	同上		
	ネットワークデザイン学科	4	90	3年次5	415	学士(情報学)	1.02	平成19年度	同上	平成31年度から名称変更 情報ネットワーク学科→ ネットワークデザイン学科 令和3年度入学定員減 (△15人)	
	知的財産学部						1.06				
	知的財産学科	4	140	3年次10	580	学士(知的財産学)	1.06	平成15年度	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号		

既設大学等の状況	大学の名称	広島国際大学大学院							
	学部等の名称	修業年限 年	入学定員 人	編入学定員 年次人	収容定員 人	学位又は 学は称号	定員超過率 倍	開設年度 年度	所在地
	看護学研究科 博士前期課程						0.00		
	看護学専攻	2	10	—	20	修士 (看護学)	0.00	平成15年度	広島県呉市 広古新開五丁目 1番1号
	看護学研究科 博士後期課程						0.00		
	看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	0.00	平成24年度	同上
	医療・福祉科学研究科 博士前期課程						1.30		
	医療工学専攻	2	10	—	20	修士 (医療工学)	1.30	平成21年度	広島県東広島市 黒瀬学園台 555番地36
	医療・福祉科学研究科 博士後期課程						0.66		
	医療工学専攻	3	2	—	6	博士 (医療工学)	0.66	平成21年度	同上
	医療・福祉科学研究科 修士課程						0.30		
	医療福祉学専攻	2	5	—	10	修士 (医療福祉学)	0.30	平成21年度	同上
	医療経営学専攻	2	5	—	10	修士 (医療経営学)	0.30	平成21年度	同上
	心理科学研究科 博士後期課程						0.00		
	臨床心理学専攻	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.00	平成21年度	同上
	心理科学研究科 専門職学位課程						0.65		
	実践臨床心理学専攻	2	20	—	40	臨床心理修士 (専門職)	0.65	平成21年度	広島県呉市 広古新開五丁目 1番1号
	薬学研究科 博士課程						0.62		
	医療薬学専攻	4	2	—	8	博士 (薬学)	0.62	平成24年度	同上

既設大学等の状況	大学の名称	広島国際大学							所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は学称号	定員超過率	開設年度		
		年	人	年次人	人		倍	年度		
	保健医療学部						1.05			
	診療放射線学科	4	70	—	280	学士 (診療放射線学)	1.11	平成10年度	広島県東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
	医療技術学科 臨床工学専攻 臨床検査学専攻	4	100	—	460	学士 (臨床工学) (臨床検査学)	0.99	平成25年度	同上	令和2年度入学定員減 (△30人)
	救急救命学科	4	50	—	100	学士 (救急救命学)	1.22	令和2年度	同上	令和2年度学科設置
	総合リハビリテーション学部						1.07			
	リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻 言語聴覚療法専攻 義肢装具学専攻	4	180	—	620	学士 (理学療法学) (作業療法学) (言語聴覚療法学) (義肢装具学)	1.12	平成25年度	同上	令和2年度入学定員増 (50人) (義肢装具学専攻をリ ハビリテーション 支援学科から移行)
	リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻	4	—	—	—	学士 (義肢装具学)	—	平成25年度	同上	令和2年度学生募集停止
	医療福祉学部						—			
	医療福祉学科 医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育学専攻	4	—	—	—	学士 (医療福祉学)	—	平成10年度	同上	令和2年度学生募集停止 令和4年度3年次編入学 募集停止
	医療経営学部						—			
	医療経営学科	4	—	—	—	学士 (医療経営学)	—	平成23年度	同上	令和2年度学生募集停止
	心理科学部						—			
	臨床心理学科	4	—	—	—	学士 (臨床心理学)	—	平成13年度	同上	平成27年度学生募集停止 平成29年度3年次編入学 募集停止
	心理学部						—			
	心理学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—	平成27年度	同上	令和2年度学生募集停止 令和4年度3年次編入学 募集停止
	看護学部						1.05			
	看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学)	1.05	平成15年度	広島県呉市 広古新開五丁目 1番1号	
	薬学部						0.84			
	薬学科(6年制)	6	120	—	720	学士 (薬学)	0.84	平成18年度	同上	
	医療栄養学部						—			
	医療栄養学科	4	—	—	—	学士 (医療栄養学)	—	平成26年度	同上	令和2年度学生募集停止

既設大学等の状況	大学の名称	広島国際大学								
	学部等の名称	修業年限 年	入学定員 人	編入学定員 年次人	収容定員 人	学位又は 学は称号	定員超過率 倍	開設 年 年度	所在地	
	健康科学部						0.76			令和2年度学部設置
	医療福祉学科 医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育福祉学専攻	4	100	—	200	学士 (医療福祉学)	0.49	令和2年度	広島県東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
	医療経営学科	4	90	—	180	学士 (医療経営学)	0.83	令和2年度	同上	
	心理学科	4	100	—	200	学士 (心理学)	0.83	令和2年度	同上	
	医療栄養学科	4	60	—	120	学士 (医療栄養学)	1.01	令和2年度	広島県呉市 広古新開 五丁目1番1号	
	健康スポーツ学部						1.08			
	健康スポーツ学科	4	70	—	140	博士 (健康スポーツ学)	1.08	令和2年度	広島県東広島市 黒瀬学園台 555番地36	
附属施設の概要		<p>名称：テクノセンター 目的：工学分野教育 所在地：大阪府寝屋川市池田中町17番8号 設置年月：平成11年4月 規模等：面積691.81㎡</p>								
		<p>名称：薬用植物園 目的：薬学分野教育 所在地：京都府八幡市美濃山西ノ口1番 設置年月：昭和57年4月 規模等：面積1,720.00㎡</p>								
		<p>名称：臨床薬学教育研究センター 目的：薬学分野教育 所在地：大阪府枚方市長尾峠町45番1号 設置年月：平成20年4月 規模等：面積1,584.59㎡</p>								
		<p>名称：農場 目的：農学分野教育 所在地：京都府八幡市美濃山一ノ谷1番 設置年月：平成32年4月 規模等：面積15,632.60㎡</p>								

学校法人常翔学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和3年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	令和4年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	変更の事由
摂南大学				摂南大学				
理工学部	585	30	2,400	理工学部	585	30	2,400	
生命科学科	105	5	430	生命科学科	105	5	430	
住環境デザイン学科	85	5	350	住環境デザイン学科	85	5	350	
建築学科	80	5	330	建築学科	80	5	330	
機械工学科	130	5	530	機械工学科	130	5	530	
電気電子工学科	105	5	430	電気電子工学科	105	5	430	
都市環境工学科	80	5	330	都市環境工学科	80	5	330	
外国語学部	220	5	890		0	0	0	令和4年4月学生募集停止
外国語学科	220	5	890		0	0	0	
経営学部	270	8	1,096	経営学部	280	6	1,132	
経営学科	170	4	688	経営学科	280	6	1,132	定員変更(110) 編入学定員変更(2)
経営情報学科	100	4	408		0	0	0	令和4年4月学生募集停止
薬学部	220	-	1,320	薬学部	220	-	1,320	
薬学科	220	-	1,320	薬学科	220	-	1,320	
法学部	280	5	1,130	法学部	280	5	1,130	
法律学科	280	5	1,130	法律学科	280	5	1,130	
経済学部	280	4	1,128	経済学部	280	4	1,128	
経済学科	280	4	1,128	経済学科	280	4	1,128	
看護学部	100	-	400	看護学部	100	-	400	
看護学科	100	-	400	看護学科	100	-	400	
農学部	340	-	1,360	農学部	340	-	1,360	
農業生産学科	80	-	320	農業生産学科	80	-	320	
応用生物科学科	80	-	320	応用生物科学科	80	-	320	
食品栄養学科	80	-	320	食品栄養学科	80	-	320	
食農ビジネス学科	100	-	400	食農ビジネス学科	100	-	400	
				国際学部	250	5	1,010	学部の新設置(届出)
				国際学科	250	5	1,010	
計	2,295	52	9,724	計	2,335	50	9,880	
摂南大学大学院				摂南大学大学院				
薬学研究科	4	-	16	薬学研究科	4	-	16	
医療薬学専攻(D)	4	-	16	医療薬学専攻(D)	4	-	16	
理工学研究科	38	-	80	理工学研究科	38	-	80	
社会開発工学専攻(M)	12	-	24	社会開発工学専攻(M)	12	-	24	
生産開発工学専攻(M)	12	-	24	生産開発工学専攻(M)	12	-	24	
生命科学専攻(M)	10	-	20	生命科学専攻(M)	10	-	20	
創生工学専攻(D)	2	-	6	創生工学専攻(D)	2	-	6	
生命科学専攻(D)	2	-	6	生命科学専攻(D)	2	-	6	
経済経営学研究科	10	-	20	経済経営学研究科	10	-	20	
経済学専攻(M)	5	-	10	経済学専攻(M)	5	-	10	
経営学専攻(M)	5	-	10	経営学専攻(M)	5	-	10	
法学研究科	5	-	10	法学研究科	5	-	10	
法律学専攻(M)	5	-	10	法律学専攻(M)	5	-	10	
国際言語文化研究科	5	-	10	国際言語文化研究科	5	-	10	
国際言語文化専攻(M)	5	-	10	国際言語文化専攻(M)	5	-	10	
看護学研究科	6	-	12	看護学研究科	6	-	12	
看護学専攻(M)	6	-	12	看護学専攻(M)	6	-	12	
計	68	-	148	計	68	-	148	

令和3年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	令和4年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	変更の事由
大阪工業大学				大阪工業大学				
工学部	900	40	3,680	工学部	900	40	3,680	
都市デザイン工学科	100	5	410	都市デザイン工学科	100	5	410	
建築学科	150	5	610	建築学科	150	5	610	
機械工学科	140	5	570	機械工学科	140	5	570	
電気電子システム工学科	125	5	510	電気電子システム工学科	125	5	510	
電子情報システム工学科	110	5	450	電子情報システム工学科	110	5	450	
応用化学科	130	5	530	応用化学科	130	5	530	
環境工学科	75	5	310	環境工学科	75	5	310	
生命工学科	70	5	290	生命工学科	70	5	290	
ロボティクス&デザイン工学部	280	15	1,150	ロボティクス&デザイン工学部	280	15	1,150	
ロボット工学科	90	5	370	ロボット工学科	90	5	370	
システムデザイン工学科	90	5	370	システムデザイン工学科	90	5	370	
空間デザイン学科	100	5	410	空間デザイン学科	100	5	410	
情報科学部	460	20	1,880	情報科学部	460	20	1,880	
データサイエンス学科	70	-	280	データサイエンス学科	70	-	280	
情報知能学科	90	5	370	情報知能学科	90	5	370	
情報システム学科	105	5	430	情報システム学科	105	5	430	
情報メディア学科	105	5	430	情報メディア学科	105	5	430	
ネットワークデザイン学科	90	5	370	ネットワークデザイン学科	90	5	370	
知的財産学部	140	10	580	知的財産学部	140	10	580	
知的財産学科	140	10	580	知的財産学科	140	10	580	
計	1,780	85	7,290	計	1,780	85	7,290	

大阪工業大学大学院				大阪工業大学大学院				
工学研究科	116	-	238	工学研究科	116	-	238	
建築・都市デザイン工学専攻 (M)	30	-	60	建築・都市デザイン工学専攻 (M)	30	-	60	
建築・都市デザイン工学専攻 (D)	2	-	6	建築・都市デザイン工学専攻 (D)	2	-	6	
電気電子・機械工学専攻 (M)	50	-	100	電気電子・機械工学専攻 (M)	50	-	100	
電気電子・機械工学専攻 (D)	2	-	6	電気電子・機械工学専攻 (D)	2	-	6	
化学・環境・生命工学専攻 (M)	30	-	60	化学・環境・生命工学専攻 (M)	30	-	60	
化学・環境・生命工学専攻 (D)	2	-	6	化学・環境・生命工学専攻 (D)	2	-	6	
ロボティクス&デザイン工学研究科	32	-	66	ロボティクス&デザイン工学研究科	32	-	66	
ロボティクス&デザイン工学専攻 (M)	30	-	60	ロボティクス&デザイン工学専攻 (M)	30	-	60	
ロボティクス&デザイン工学専攻 (D)	2	-	6	ロボティクス&デザイン工学専攻 (D)	2	-	6	
情報科学研究科	45	-	95	情報科学研究科	45	-	95	
情報科学専攻 (M)	40	-	80	情報科学専攻 (M)	40	-	80	
情報科学専攻 (D)	5	-	15	情報科学専攻 (D)	5	-	15	
知的財産研究科	30	-	60	知的財産研究科	30	-	60	
知的財産専攻 (P)	30	-	60	知的財産専攻 (P)	30	-	60	
計	223	-	459	計	223	-	459	

令和3年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員 (完成年度)	令和4年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員 (完成年度)	変更の事由
広島国際大学				広島国際大学				
保健医療学部	220	-	880	保健医療学部	220	-	880	
診療放射線学科	70	-	280	診療放射線学科	70	-	280	
医療技術学科 (臨床工学専攻) (臨床検査学専攻)	100	-	400	医療技術学科 (臨床工学専攻) (臨床検査学専攻)	100	-	400	
救急救命学科	50	-	200	救急救命学科	50	-	200	
総合リハビリテーション学部	180	-	720	総合リハビリテーション学部	180	-	720	
リハビリテーション学科 (理学療法学専攻) (作業療法学専攻) (言語聴覚療法学専攻) (義肢装具学専攻)	180	-	720	リハビリテーション学科 (理学療法学専攻) (作業療法学専攻) (言語聴覚療法学専攻) (義肢装具学専攻)	180	-	720	
看護学部	120	10	500	看護学部	120	10	500	
看護学科	120	10	500	看護学科	120	10	500	
薬学部	120	-	720	薬学部	120	-	720	
薬学科	120	-	720	薬学科	120	-	720	
健康科学部	350	-	1,400	健康科学部	350	-	1,400	
医療福祉学科 (医療福祉学専攻) (介護福祉学専攻) (保育福祉学専攻)	100	-	400	医療福祉学科 (医療福祉学専攻) (介護福祉学専攻) (保育福祉学専攻)	100	-	400	
医療経営学科	90	-	360	医療経営学科	90	-	360	
心理学科	100	-	400	心理学科	100	-	400	
医療栄養学科	60	-	240	医療栄養学科	60	-	240	
健康スポーツ学部	70	-	280	健康スポーツ学部	70	-	280	
健康スポーツ学科	70	-	280	健康スポーツ学科	70	-	280	
計	1,060	10	4,500	計	1,060	10	4,500	

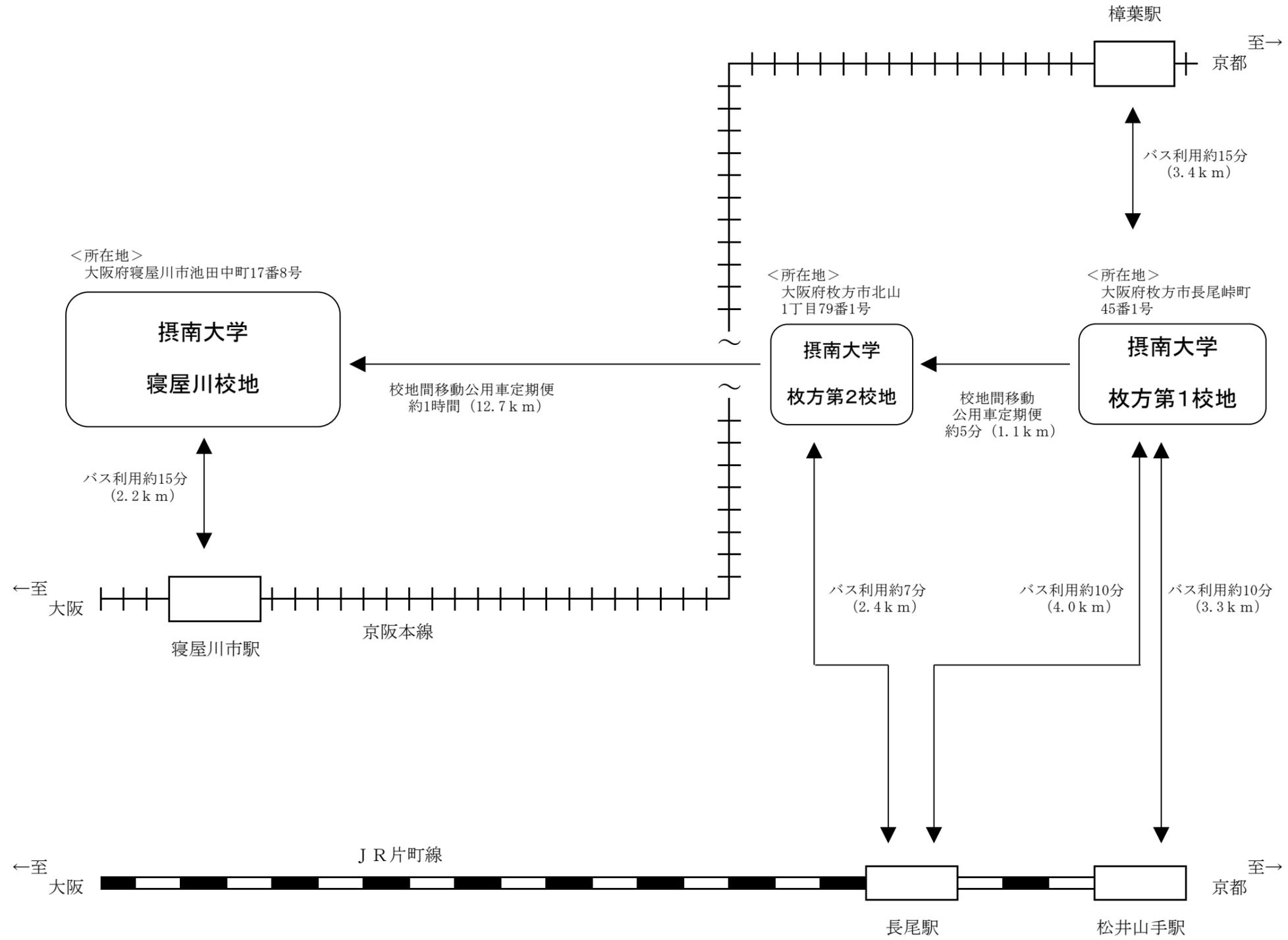
広島国際大学大学院			
看護学研究科	13	-	29
看護学専攻 (M)	10	-	20
看護学専攻 (D)	3	-	9
医療・福祉科学研究科	22	-	46
医療工学専攻 (M)	10	-	20
医療工学専攻 (D)	2	-	6
医療福祉学専攻 (M)	5	-	10
医療経営学専攻 (M)	5	-	10
心理科学研究科	22	-	46
臨床心理学専攻 (D)	2	-	6
実践臨床心理学専攻 (P)	20	-	40
薬学研究科	2	-	8
医療薬学専攻 (D)	2	-	8
計	59	-	129

広島国際大学大学院			
看護学研究科	13	-	29
看護学専攻 (M)	10	-	20
看護学専攻 (D)	3	-	9
医療・福祉科学研究科	22	-	46
医療工学専攻 (M)	10	-	20
医療工学専攻 (D)	2	-	6
医療福祉学専攻 (M)	5	-	10
医療経営学専攻 (M)	5	-	10
心理科学研究科	22	-	46
臨床心理学専攻 (D)	2	-	6
実践臨床心理学専攻 (P)	20	-	40
薬学研究科	2	-	8
医療薬学専攻 (D)	2	-	8
計	59	-	129

■大阪府内における位置関係の図面



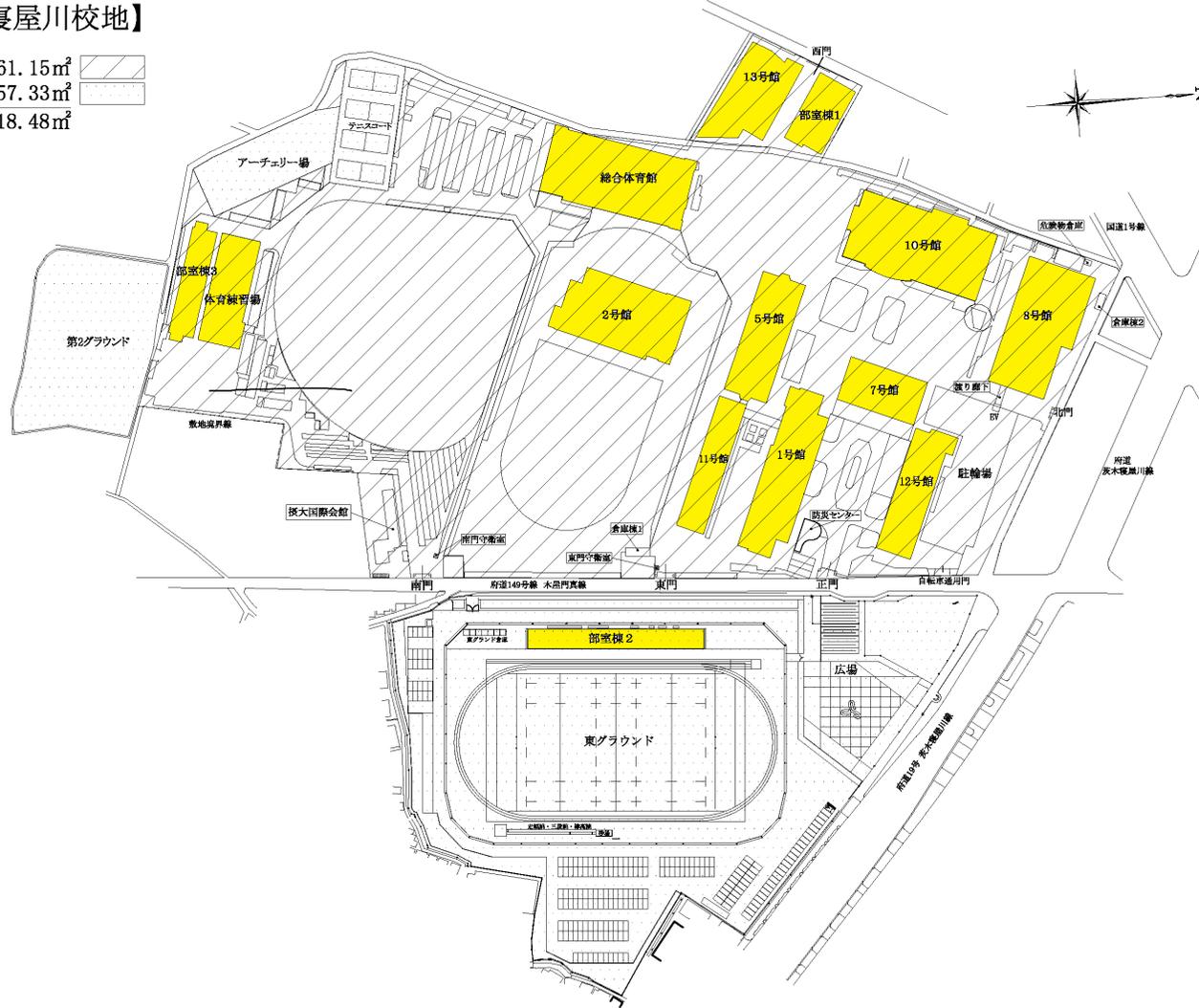
■最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間



■校舎、運動場等の配置図

摂南大学校地図【寝屋川校地】

校舎敷地 (専用) 88,261.15㎡ 
 運動場用地 (専用) 46,757.33㎡ 
 合計 135,018.48㎡



 : 国際学部、経営学部の使用校舎 (専用・共用) を示す。

学校法人 常翔学園 施設部 施設課	担当者	作成日	工事名
	図番 A3	尺度 1/2000	図面名 寝屋川校地配置図

1. 学則案の全文

○摂南大学学則（案）

昭和50年1月10日

学園106

第1章 総則

（目的）

第1条 摂南大学(以下「本大学」という)は、時代と地域の要請に基づき、深く専門の学術とその応用を教授研究するとともに、全人の育成を第一義として、人間力・実践力・統合力を養い、自らが課題を発見し、そして解決することができる知的専門職業人を育成し、もって社会の発展と学術・文化の向上をはかることを目的とする。

第2章 組織

（学部、学科および教育研究上の目的）

第2条 本大学に、つぎの学部および学科を置く。

学部	学科
理工学部	生命科学科 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
国際学部	国際学科
経営学部	経営学科
薬学部	薬学科
法学部	法律学科
経済学部	経済学科
看護学部	看護学科
農学部	農業生産学科 応用生物科学科 食品栄養学科 食農ビジネス学科

2 理工学部生命科学科は、バイオに関する高度な知識と技術を持ち、生命機構の真理の追究により、人が健康で安全な生活を営むための医療や食品や環境に関する分野で活躍する基礎研究者および研究開発従事者を養成することを目的とする。さらに、創薬科学、医療科学、環境衛生科学などの分野を教育研究することで、人の健康および自然環境との共生を実現するための実践的な技術を身につけた人材を養成することを目的とする。

3 理工学部住環境デザイン学科は、住宅や身の回りの生活を取り巻く多様なデザイン領域に関する知識と技術を修得し、地球環境を含めた広範な人間の住環境に存在する様々な問題点を的確に捉える能力を養う。さらに、これらの問題点の解決方法を提案するためのデザイン感性と実践的技術を

修得し、持続可能な生活環境と倫理観を持って創造することができる技術者やデザイナーとなる人材を養成することを目的とする。

- 4 理工学部建築学科は、地球環境を含めた広範な人間の生活環境に対する的確な問題意識を持ち、生活基盤となる建築・都市空間の安全性、機能性、審美性の追究と、社会や環境への適切な配慮のできる包括的な知識と技能、さらには倫理観を持った建築設計および建築生産などにかかわる技術者を養成することを目的とする。
- 5 理工学部機械工学科は、人類、社会が直面する課題の解決に寄与する機械の研究開発やものづくりの基礎となる機械工学の専門知識を修得し、問題を発見し解決するための総合的な能力を身につけた実践的機械技術者を養成することを目的とする。
- 6 理工学部電気電子工学科は、電気電子工学と情報通信工学の幅広い技術をバランスよく修得するとともに、社会全体に対する役割を自覚し、製品開発や設計施工などの現場において課題を発見し解決できる力を持つ実践的な電気系技術者および情報通信関連技術者を養成することを目的とする。
- 7 理工学部都市環境工学科は、複雑化・高機能化した都市環境を建設・維持管理・リニューアルするハード面の技術と環境に配慮した都市計画を立案するソフト面の技術を修得し、実践的な技術を身につけた即戦力として活躍できる専門職業人を養成することを目的とする。
- 8 国際学部国際学科は、グローバル化・ボーダーレス化が進む世界における様々な課題について解決策を見出し、果敢に行動できる人材を育成する。世界の国や地域の歴史・地理・社会・文化などの基礎知識を基に、豊かな教養と広い視野を身につけ、多様な価値観を客観的に理解して判断・発信できるグローバルリテラシーを修得した、国際社会で活躍できる知的専門職業人を養成することを目的とする。
- 9 経営学部経営学科は、企業を中心とする組織一般の運営に関する基礎的な理論と知識を身につけるとともに、幅広い教養あわせ持ち、自律的・主体的に企業経営の一翼を担うことのできる実行力ある知的専門職業人を養成することを目的とする。
- 10 薬学部薬学科は、高い倫理観、心豊かな人間性、実践的能力を備え、わが国の医療の進化、健康・福祉の増進、生活環境の保全に貢献する薬剤師を養成することを目的とする。
- 11 法学部法律学科は、幅広い教養と法学・政治学・法政策学に関わる専門的知識に裏打ちされ、論理的に問題解決ができる能力を有し、主体的に社会貢献をなす人間力を持った人材を養成することを目的とする。
- 12 経済学部経済学科は、経済学を基礎として幅広い見識と豊かな人間性を有し、現代の経済社会の諸問題に積極的に取り組むことのできる知的・専門的経済人を養成することを目的とする。
- 13 看護学部看護学科は、生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理観、心豊かな人間性と看護実践能力を備えた人材を育成し、地域社会における保健・医療・福祉の向上、看護の発展に貢献できる看護職者を養成することを目的とする。
- 14 農学部農業生産学科は、生物や生産環境の科学的真理の解明および生物資源と農業生産技術の開発とその高度利用を追究し、環境への負荷が少なく、生産効率の高い農業生産を実現、および新技術の開発・普及に必要な知識・技術を身につけ社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。
- 15 農学部応用生物科学科は、生物・生命の諸現象と、その背後にある原理とメカニズムを、分子から個体、集団、生態系を含む視点で深く学び、身につけた広範な知識を基に、人類が直面している食料、生命、環境に関わる諸課題の解決に貢献できる、創造力の豊かな人材を養成することを目的とする。

とする。

16 農学部食品栄養学科は、農学の学びを基盤として、食のプロセス(農産物の生産から加工・流通・消費まで)を体系的に理解し、食・栄養・健康・医療・食育の専門的知識・技能・態度を身につけ、地域の健康と心豊かな暮らしの実現に貢献できる人材を養成することを目的とする。

17 農学部食農ビジネス学科は、農業や食料、食品産業に関する経済・経営・マーケティングなどの専門知識を身につけ、国内外に存在する食料・農業に関する社会経済的な諸課題の解決に向けて、それらの知識を理論的・実践的に活用して貢献できる人材を養成することを目的とする。

(別科)

第2条の2 本大学に留学生別科を置く。

2 留学生別科については、留学生別科規定に定める。

(収容定員)

第3条 本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
理工学部	生命科学科	105名	5名	430名
	住環境デザイン学科	85名	5名	350名
	建築学科	80名	5名	330名
	機械工学科	130名	5名	530名
	電気電子工学科	105名	5名	430名
	都市環境工学科	80名	5名	330名
	計	585名	30名	2400名
国際学部	国際学科	250名	5名	1,010名
経営学部	経営学科	280名	6名	1,132名
薬学部	薬学科	220名	—	1,320名
法学部	法律学科	280名	5名	1,130名
経済学部	経済学科	280名	4名	1,128名
看護学部	看護学科	100名	—	400名
農学部	農業生産学科	80名	—	320名
	応用生物科学科	80名	—	320名
	食品栄養学科	80名	—	320名
	食農ビジネス学科	100名	—	400名
	計	340名	—	1,360名

(職員)

第4条 本大学に、学長、副学長、学部長、教務部長、学生部長、事務局長、教授、准教授、講師、助教、助手および研究職員ならびに事務職員を置く。

2 本大学には、前項のほか、図書館長、情報メディアセンター長、入試部長、就職部長、研究支援・社会連携センター長、グローバル教育センター長、学科長、教室主任その他必要な職員を置く。

(各職員の職務)

第5条

- 1 学長は、本大学の学務を統括し、所属職員を統督する。
- 2 副学長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の重要な事項についての企画および各学部間の連絡調整を行う。
- 3 学部長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の教学運営業務を遂行し、各学部内の業務を処理するとともに、各学部所属する職員を指揮監督する。
- 4 教務部長および学生部長は、学長を補佐し、その命を受けて部内の業務を掌理するとともに、各学部間の調整を行う。
- 5 事務局長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の管理運営業務の遂行にあたる。
- 6 教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の特に優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 7 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 8 講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する。
- 9 助教は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の知識および能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 10 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 11 研究職員は、教授、准教授、講師および助教の職務を補助し、または指導を受け研究に従事する。
- 12 事務職員は、本大学の管理運営業務にあたるほか、学生の学修指導および厚生補導に従事する。
- 13 その他職員の職務については、職制に関する規定に定める。

(大学・大学院運営会議)

第6条 本大学に、大学・大学院運営会議を置く。

- 2 大学・大学院運営会議は、学長、副学長、学部長、教務部長、学生部長、事務局長、図書館長、情報メディアセンター長、入試部長および就職部長をもって組織し、本大学の重要な事項を審議する。
- 3 その他大学・大学院運営会議について必要な事項は、大学・大学院運営会議規定に定める。

(教授会)

第7条 本大学の各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、学部長および当該学部の教授をもって組織し、学長がつぎに掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - イ 学生の入学および卒業に関すること
 - ロ 学位の授与に関すること
 - ハ 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要と学長が定めるもの
- 3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長が掌る教育研究に関する事項について審議し、および学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 4 その他各学部の教授会について必要な事項は、各学部の教授会規定に定める。

(委員会)

第8条 本大学に、本大学の重要な事項を審議する組織として、つぎの委員会を置く。

- イ 評価委員会
- ロ 教員選考・活動評価委員会

- ハ 入試委員会
- ニ 教務委員会
- ホ FD委員会
- ヘ 学生委員会
- ト 図書館運営委員会
- チ 就職委員会
- リ 情報メディアセンター運営委員会
- ヌ 人権侵害防止委員会
- ル 個人情報保護委員会
- ヲ グローバル教育センター運営委員会

- 2 評価委員会は、自己点検・評価および第三者評価に必要な教育研究目標の設定、教育研究活動の改善、将来計画の策定その他重要な事項を審議する。
- 3 教員選考・活動評価委員会は、教員の採用および昇任の資格審査、研修ならびに教員活動評価に関する事項を審議する。
- 4 入試委員会は、学長の諮問に応じて各学部の入学者選抜についての企画調整、合否判定その他重要な事項を審議する。
- 5 教務委員会は、学長の諮問に応じて教務に関する重要な事項の審議および教務に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 6 FD委員会は、学長の諮問に応じて本大学の授業内容と授業方法の改善に関する事項を審議する。
- 7 学生委員会は、学長の諮問に応じて学生の厚生補導、表彰、懲戒その他重要な事項の審議およびそれらに関する各学部間の連絡調整を行う。
- 8 図書館運営委員会は、学長の諮問に応じて図書館の運営に関し必要な事項を審議する。
- 9 就職委員会は、学長の諮問に応じて就職に関する重要な事項の審議および就職に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 10 情報メディアセンター運営委員会は、学長の諮問に応じて情報メディアセンターの運営に関し必要な事項を審議する。
- 11 人権侵害防止委員会は、本大学における人権侵害の防止に関し必要な事項を審議する。
- 12 個人情報保護委員会は、本大学における個人情報の保護に関し必要な事項を審議する。
- 13 グローバル教育センター運営委員会は、学長の諮問に応じてグローバル教育センターの運営に関し必要な事項を審議する。
- 14 その他委員会について必要な事項は、各委員会規定に定める。

(教育方法改善のための組織的な研修等)

第8条の2 本大学は、授業の内容および方法の改善を図るため、組織的な研修および研究を行う。

第3章 学年、学期および休業日

(学年)

第9条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第10条 学年を2期に分ち、前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から翌年3月31日までとする。ただし、学長は、前期・後期の授業日数を調整するため、前期の終期および後期の始期を変更することができる。

(休業日)

第11条 授業を行わない日(以下「休業日」という)は、つぎのとおりとする。

- イ 日曜日および国民の祝日に関する法律に定める休日
- ロ 本学園創立記念日(10月30日)
- ハ 春期休業日 3月25日から4月4日まで
- ニ 夏期休業日 8月1日から9月18日まで
- ホ 冬期休業日 12月23日から翌年1月7日まで

2 必要がある場合は、学長は前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は臨時の休業日を定め、または休業日に授業を行うことができる。

第4章 修業年限および在学年限

(修業年限)

第12条 本大学の修業年限は、つぎのとおりとする。

- 理工学部 4年
- 国際学部 4年
- 経営学部 4年
- 薬学部 6年
- 法学部 4年
- 経済学部 4年
- 看護学部 4年
- 農学部 4年

(在学年限)

第13条 学生は、つぎの年数を超えて在学することができない。

- 理工学部 8年
- 国際学部 8年
- 経営学部 8年
- 薬学部 12年
- 法学部 8年
- 経済学部 8年
- 看護学部 8年
- 農学部 8年

2 前項にかかわらず、第19条および第20条の規定により入学、転学部または転学科を許可された者の在学年限については、教授会の議を経て、相当な年限を学部長が定める。

第5章 入学

(入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。

2 前項の規定にかかわらず、学長は、学年の途中においても、第10条に定める学期の区分に従い、入学させることができる。

(入学資格)

第15条 本大学に入学することのできる者は、つぎの各号のいずれかに該当するものとする。

- イ 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- ロ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当す

る学校教育を修了した者を含む)

ハ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

ニ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ホ 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ヘ 文部科学大臣の指定した者

ト 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)

チ 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

(入学志願手続)

第16条 本大学への入学を志願する者は、指定の期日までに、所定の出願書類に第40条に定める入学検定料を添えて学長に願出しなければならない。

(入学者の選考)

第17条 入学志願者の選考は、教授会の議を経て、学長が行う。

(入学手続および入学許可)

第18条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、指定の期日までに、学費納入規定に定める学費を納入し、かつ、所定の書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

3 前項により入学を許可された者は、入学宣誓式に出席し、かつ入学の宣誓をするものとする。

(編入学、転入学および再入学)

第19条 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に編入学を許可することがある。

イ 大学を卒業した者

ロ 大学における2年以上の課程を履修して退学した者

ハ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者

ニ 短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者

ホ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了し、または卒業した者

ヘ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

ト 高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者

2 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に転入学を許可することがある。

イ 本大学以外の大学に入学し、履修歴のある者

ロ 外国の大学に入学し、履修歴のある者

3 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に再入学を許可することがある。

- イ 本大学を卒業した者
 - ロ 本大学を退学した者
 - ハ 第37条イ号、ロ号またはホ号により除籍になった者
- 4 その他編入学、転入学および再入学については、編入学規定、転入学規定、再入学規定にそれぞれ定める。

(転学部または転学科)

第20条 本大学の学生で、他の学部または同一学部の他の学科に転学部もしくは転学科を希望する者は、所属学部長の承認を得て、志願することができる。

- 2 転学部または転学科は、志願先の教授会の議を経て学部長が選考し、学長が相当年次に転学部または転学科を許可する。

(入学者の既修得単位等の取扱い)

第21条 第18条の規定により、入学を許可された者が入学以前に他の大学または短期大学等において修得した単位は、学部長が教授会の議を経て、卒業の要件となる単位として認めることができる。

- 2 前項により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、第26条により卒業の要件となる単位として認めることができる単位数と合わせて60単位を限度とする。
- 3 第19条および前条の規定により、入学または転学部、転学科を許可された者の本大学または他の大学もしくは短期大学等においてすでに履修した授業科目および修得した単位数の取扱いならびに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学部長が定める。

第6章 教育課程、教職課程および履修方法等

(授業科目)

第22条 本大学の学部および学科の教育研究上の目的を達成するために必要な授業科目を置く。

- 2 授業科目は、専門科目、基礎科目、教養科目およびキャリア形成科目とし、これを必修科目、選択必修科目および選択科目に区分する。
- 3 前項の区分により、開設する授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。
- 4 第2項のほか、自由科目を置くものとし、各学部の履修規定に定める。

(副専攻)

第22条の2 特定の課題に関する科目で構成する教育課程(副専攻)を開設し、その学習成果を認定することができる。なお、副専攻の教育課程、履修方法および認定要件については、別に定める。

(単位の計算方法)

(授業の方法)

第22条の3 授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかによりまたはこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。ただし、これにより修得する単位数は60単位を超えないものとする。
- 3 第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 4 第1項の授業の一部を、校舎および付属施設以外の場所で行うことができる。

第23条 授業科目の単位の計算基準は、つぎのとおりとする。

- イ 講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ロ 実験、実習および実技については、30時間から45時間までの範囲で、本大学が定める時間の授

業をもって1単位とする。

- 2 前項にかかわらず、講義および演習と実験、実習、実技を組み合わせる行う授業科目については、その組み合わせに応じて、15時間から45時間の範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 3 「卒業研究」については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合、これに必要な学修等を考慮して単位数を定める。

(単位の授与)

第24条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、設計製図、演習、実験、実習および実技については、試験によらないことがある。

(成績の評価基準等)

第25条 授業科目の成績は、その授業の方法、内容および年間の計画ならびに成績評価の基準をあらかじめ学生に明示し、当該基準にしたがって行うものとする。

- 2 前項のほか、授業科目の成績については、各学部の履修規定に定める。

(他大学等における授業科目の履修等)

第26条 教育上有益と認めるときは、他の大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学長は、当該他大学の授業科目を履修させることができる。

- 2 短期大学または高等専門学校(専攻科)における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。
- 3 本大学の学部間または学科間の協議に基づき、学部長は、他の学部または他の学科の授業科目を履修させることができる。
- 4 前3項の規定により修得した単位については、教授会の議に基づき、学部長は60単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

(履修の方法および要件等)

第27条 履修の方法および要件等については、各学部の履修規定に定める。

(教職課程)

第28条 教育職員免許状の取得を希望する者のために、教育職員免許法および同法施行規則に基づく教職課程を置く。

- 2 前項により開設する授業科目および単位数は、別表第2のとおり定める。
- 3 本大学において、取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、別表第2の2のとおりとする。
- 4 前項の免許状を取得するための授業科目の履修方法および修得すべき単位等必要な事項は、各学部の履修規定に定める。

第7章 卒業および学位

(卒業)

第29条 本大学に第12条に定める修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

理工学部 124単位以上

国際学部 124単位以上

経営学部 124単位以上

薬学部 187単位以上

法学部 124単位以上

経済学部 124単位以上

看護学部 127単位以上

農学部 124単位以上

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

(学位の授与)

第30条 本大学を卒業した者に対して、つぎの区分に従って学士の学位を授与する。

学部	学科	学位
理工学部	生命科学科	学士(理学)
	住環境デザイン学科	
	建築学科	
	機械工学科	
	電気電子工学科	
	都市環境工学科	
国際学部	国際学科	学士(文学)
経営学部	経営学科	学士(経営学)
薬学部	薬学科	学士(薬学)
法学部	法律学科	学士(法学)
経済学部	経済学科	学士(経済学)
看護学部	看護学科	学士(看護学)
農学部	農業生産学科	学士(農学)
	応用生物科学科	
	食品栄養学科	
	食農ビジネス学科	

2 前項のほか、学位について必要な事項は、学位規定に定める。

第8章 休学、転学、留学、退学および除籍

(休学)

第31条 病気その他やむを得ない理由により、引き続き2カ月以上修学することができない者は、休学することができる。

2 休学は、所属学部長が許可する。

3 病気その他修学することが適当でないと認められる者については、所属学部長は休学を命じることができる。

(休学期間)

第32条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して3年を超えることができない。

3 休学期間は、第13条の在学期間に算入しない。

(復学)

第33条 休学期間が満了し、または休学の理由が消滅したときは、復学することができる。

2 復学は、所属学部長が許可する。

(転学)

第34条 他の大学へ入学または転入学を志願しようとする者は、所属学部長に転学願を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第35条 外国の大学で学修することを志願する者は、学部長の許可を得て留学することができる。

2 学部長は、教育上有益と認められる場合に限り、教授会の議を経て留学を許可する。

3 前項の許可を得て留学した期間は、第13条に定める在学期間に含めることができる。

4 第26条第4項にかかわらず、外国の大学へ留学する場合、卒業の要件となる単位として認めることができる単位数は、30単位を限度とする。

(退学)

第36条 退学しようとする者は、所属学部長に保証人連署の退学願と学生証を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第37条 つぎの各号のいずれかに該当する者は、学長が除籍する。

イ 学費を所定の期日までに納入しない者

ロ 休学者または学生海外留学規定による留学者で在籍料を所定の期日までに納入しない者

ハ 第13条に定める在学年限を超えた者

ニ 成業の見込みがないと認められる者

ホ 休学者で休学期間満了前までに、所属学部長に復学を願い出ない者

ヘ 他の大学、短期大学または高等専門学校に在籍していることが明らかになった者

ト 薬学部、看護学部の学生で、同一年次の上位年次配当授業科目の履修要件を休学期間を除く2年間で充足せず、かつ成業の見込みがないと認められる者

チ 死亡が確認された者

第9章 賞罰

(表彰)

第38条 成績の特に優秀な学生または表彰に価する行為があった学生は、学生委員会の議を経て、学長が表彰する。

(懲戒)

第39条 本大学の学則もしくは諸規定に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は学生委員会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、放学、停学、譴責および訓告とする。

3 前項の放学は、つぎの各号のいずれかに該当する者に対して行い、再入学は許可しない。

イ 性行不良で改善の見込みがない者

ロ 正当な理由がなくて出席常でない者

ハ 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4 停学の期間は、在学年限に算入し、修業年限に算入しない。

第10章 入学検定料および学費等

(入学検定料)

第40条 入学検定料の額は、手数料収納に関する内規に定める。

(学費等)

第41条 学費は、入学金、授業料および教育充実費とし、その額は、別表第3のとおり定める。

- 2 休学中の学費は、休学開始日の属する期の翌期から免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を学費免除の当該期から納入しなければならない。
- 3 学生海外留学規定に定める留学を許可された場合の留学中の学費は、学費納入規定の定めるところにより免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を学費免除の当該期から納入しなければならない。
- 4 その他休学中および留学中の学費等の取扱いについては、学費納入規定に定める。

(既納の入学検定料および学費等)

第42条 既に納入された入学検定料、学費および在籍料は、返戻しない。ただし、学費納入規定に定めのある場合は、この限りでない。

(納期、納入方法等)

第43条 学費および在籍料の納期、納入方法等について必要な事項は、学費納入規定に定める。

第11章 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生および帰国学生

(研究生)

第44条 本大学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、選考のうえ研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、在学期間の延長を認めることがある。
- 4 研究料の額は、別表第4のとおり定める。
- 5 その他研究生については、研究生規定に定める。

(科目等履修生)

第45条 本大学において、特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 科目等履修生を志願できる者は、高等学校を卒業した者またはそれと同等以上の学歴を有する者とする。
- 3 授業科目を履修し、合格した者には所定の単位を与える。
- 4 履修料の額は、別表第5のとおり定める。
- 5 その他科目等履修生については、科目等履修生規定に定める。

(特別聴講学生)

第46条 他の大学、短期大学または高等専門学校で、本大学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他校との協議に基づき、特別聴講学生としてこれを許可することができる。

- 2 出願資格、履修料等その他必要な事項については、特別聴講学生規定に定める。

(外国人留学生)

第47条 外国人で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、学長が教授会の議を経て、外国人留学生としてこれを許可することができる。

- 2 外国人留学生は、留学目的により第1種外国人留学生、第2種外国人留学生および第3種外国人留学生とし、つぎのとおりとする。

イ 第1種外国人留学生とは、大学の課程を修了して学士の学位を取得することを目的とし、1年次または相当年次に入学する者

- ロ 第2種外国人留学生とは、特定の研究課題の研究を目的とする者
 - ハ 第3種外国人留学生とは、特定の授業科目を聴講することを目的とする者
- 3 外国人留学生の出願資格は、つぎのとおりとする。
- イ 第1種外国人留学生は、外国において学校教育における12年以上の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ロ 第2種外国人留学生は、外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - ハ 第3種外国人留学生は、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者
- 4 本条の規定は、外国人が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(帰国学生)

第48条 帰国生徒で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、学長が教授会の議を経て、帰国学生としてこれを許可することができる。

2 帰国生徒の出願資格は、日本国籍を有し、外国における高等学校に原則として2年以上継続して在学し、学校教育における12年以上の課程を修了した者とする。

3 本条の規定は、帰国生徒が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(外国人留学生および帰国学生に関する授業科目の開設)

第49条 外国人留学生および帰国学生に関しては、日本語および日本事情等の授業科目を開設することができる。

(その他)

第50条 研究生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生および帰国学生について必要な事項は、別に定める。

第12章 公開講座

(公開講座)

第51条 社会人の教養・知識を高め、文化の向上に資するため、本大学に公開講座を開設する。

2 公開講座に関し必要な事項については、別に定める。

第13章 附属施設

(図書館)

第52条 本大学に、図書館を設け、本大学の職員および学生の研究に資する。

(情報メディアセンター)

第52条の2 本大学に、情報メディアセンターを設け、本大学の職員および学生の教育研究に資する。

(研究支援・社会連携センター)

第52条の3 本大学に、研究支援・社会連携センターを設け、本大学の産官学連携および地域連携の推進に資する。

(保健室)

第53条 本大学に、保健室を設け、本大学の職員および学生の保健衛生に資する。

(福利厚生施設)

第54条 本学園に、福利厚生施設を設け、本大学の職員および学生の福利厚生に資する。

第14章 その他

(学則の改廃)

第55条 本学則の改廃は、大学・大学院運営会議および教授会の意見を聴き、学長の承認を得て、理事会の議を経て理事長がこれを行う。

付 則

- 1 本学則施行に必要な細則は、別に定める。
- 2 本学則は、昭和50年4月1日から施行する。
- 3 この改正学則は、昭和50年9月9日から施行する。ただし、別表第3は、昭和51年度入学生から適用する。
- 4 この改正学則は、昭和52年4月1日から施行する。
- 5 イ この改正学則は、昭和54年4月1日から施行する。ただし、別表第3は、昭和54年度入学生の入学手続時から適用する。
 - ロ 昭和53年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
 - ハ 改正後の第3条の規定にかかわらず、各学科の収容定員は、昭和54年度230名、昭和55年度260名、昭和56年度290名とする。
- 6 イ この改正学則は、昭和55年4月1日から施行する。ただし、第44条第1項の改正後の別表第3は、昭和55年度入学生の入学手続時から適用する。
 - ロ 昭和54年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 7 イ この改正学則は、昭和56年4月1日から施行する。ただし、第44条第1項の改正後の別表第3は、昭和56年度入学生の入学手続時から適用する。
 - ロ 昭和55年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 8 イ この改正学則は、昭和57年4月1日から施行する。ただし、第41条第1項の改正後の別表第4は、昭和57年度入学生の入学手続時から適用する。
 - ロ 昭和56年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 9 イ この改正学則は、昭和58年4月1日から施行する。ただし、改正後の第40条の別表第3は、昭和58年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項の別表第4は、昭和58年度入学生の入学手続時から適用する。
 - ロ 昭和57年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 10 イ この改正学則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和59年度入学生の入学手続時から適用する。
 - ロ 昭和58年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 11 イ この改正学則は、昭和60年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和60年度入学生の入学手続時から適用する。
 - ロ 昭和59年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。
- 12 イ この改正学則は、昭和61年4月1日から施行する。ただし、改正後の第40条の別表第3は、昭和61年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項の別表第4は、昭和61年度入学生の入学手続時から適用する。
 - ロ 昭和60年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の

例による。

- ハ 第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は、つぎのとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員
工学部	
土木工学科	100名
建築学科	100名
電気工学科	110名
機械工学科	110名
経営工学科	110名
計	530名
国際言語文化学部	
国際言語文化学科	200名
経営情報学部	
経営情報学科	200名
薬学部	
衛生薬学科	120名
薬学科	60名
計	180名

- 13 イ この改正学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和62年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 昭和61年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。ただし、薬学部の授業科目および単位数については、昭和60年度以降の入学生は前号を適用し、昭和59年度以前の入学生は昭和63年度まで原則としてなお従前の例による。
- 14 イ この改正学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項の別表第4は、昭和63年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 昭和62年度以前の入学生の学費ならびに修得すべき授業科目および単位数は、なお従前の例による。ただし、薬学部の授業科目および単位数については、昭和60年度以降の入学生は、前号を適用し、昭和59年度以前の入学生は、昭和63年度まで原則としてなお従前の例によるものとし、経営情報学部の昭和62年度以前の入学生の修得すべき授業科目および単位数については、前号を適用する。
- ハ 第3条の規定にかかわらず、昭和63年度から昭和74年度までの間の入学定員は、つぎのとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員
工学部	
土木工学科	100名
建築学科	100名
電気工学科	110名
機械工学科	110名
経営工学科	110名

計	530名
国際言語文化学部 国際言語文化学科	200名
経営情報学部 経営情報学科	200名
薬学部 衛生薬学科 薬学科 計	120名 60名 180名
法学部 法律学科	170名

- 15 イ この改正学則は、1989年4月1日から施行する。ただし 改正後の第41条第1項および第2項の別表第4は、1989年度入学生の入学手続時から適用する。
- ロ 1988年度以前の入学生の学費ならびに工学部学生の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 16 イ この改正学則は、1990年4月1日から施行する。
- ロ 改正後の第40条の別表第3は、1990年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項および第2項の別表第4は、1990年度入学生の入学手続時から適用する。
- ハ 1989年度以前の入学生の学費については、なお従前の例による。ただし、学費のうち施設費および設備費については、従前の金額に消費税法第29条に定める消費税額を加算するものとする。
- ニ 1989年度以前の入学生にかかる教職課程ならびに工学部学生の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 17 イ この改正学則は、1991年4月1日から施行する。
- ロ 改正後の第40条の別表第3は、1991年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項および第2項の別表第4は、1991年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1990年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。ただし、1989年度以前の入学者の学費のうち施設費および設備費については、従前の金額に消費税法第29条に定める消費税額を加算するものとする。
- ニ 1990年度以前の入学者にかかる経営情報学部学生の修得すべき単位数については、なお従前の例による。
- ホ 第3条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの間の入学定員は、つぎのとおりとする。

学 部 ・ 学 科	入 学 定 員
工学部	
土木工学科	110名
建築学科	110名
電気工学科	120名
機械工学科	120名
経営工学科	120名

計	580名
国際言語文化学部 国際言語文化学科	250名
経営情報学部 経営情報学科	200名
薬学部 衛生薬学科 薬学科 計	120名 60名 180名
法学部 法律学科	220名

- 18 イ この改正学則は、1992年4月1日から施行する。
- ロ 第29条および第30条は、1992年2月26日から適用する。
- ハ 第40条の別表第3は、1992年度入学志願者の出願手続時から、第41条第1項および第2項の別表第4は、1992年度入学者の入学手続時から適用する。
- ニ 1991年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。ただし、学費のうち施設費および設備費については、従前の金額から消費税法第29条に定める消費税額を差し引いた額とし、消費税法の一部を改正する法律（平成3年5月15日法律第73号）の施行日から適用する。
- ホ 第3条の規定にかかわらず、1992年度から2002年度までの間の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員						
	1992年度	1993年度	1994年度	1995～1999年度	2000年度	2001年度	2002年度
工学部							
土木工学科	420名	430名	440名	440名	410名	380名	350名
建築学科	420名	430名	440名	440名	410名	380名	350名
電気工学科	460名	470名	480名	480名	440名	400名	360名
機械工学科	460名	470名	480名	480名	440名	400名	360名
経営工学科	460名	470名	480名	480名	440名	400名	360名
計	2220名	2270名	2320名	2320名	2140名	1960名	1780名
国際言語文化学部							
国際言語文化学科	900名	950名	1000名	1000名	950名	900名	850名
経営情報学部							
経営情報学科	950名	1100名	1250名	1400名	1250名	1100名	950名
薬学部							
衛生薬学科	480名	480名	480名	480名	480名	480名	480名
薬学科	240名	240名	240名	240名	240名	240名	240名
計	720名	720名	720名	720名	720名	720名	720名
法学部							
法律学科	780名	830名	880名	880名	830名	780名	730名

- 19 イ この改正学則は、1993年4月1日から施行する。

- ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1993年度入学者の入学手続時から適用する。
- ハ 1992年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ニ 1992年度以前の入学者にかかる修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
- ホ 第3条の規定にかかわらず、1993年度から2002年度までの間の収容定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員						
	1993年度	1994年度	1995年度	1996～1999年度	2000年度	2001年度	2002年度
工学部							
土木工学科	430名	440名	440名	440名	410名	380名	350名
建築学科	430名	440名	440名	440名	410名	380名	350名
電気工学科	470名	480名	480名	480名	440名	400名	360名
機械工学科	470名	480名	480名	480名	440名	400名	360名
経営工学科	470名	480名	480名	480名	440名	400名	360名
計	2270名	2320名	2320名	2320名	2140名	1960名	1780名
国際言語文化学部							
国際言語文化学科	950名	1000名	1000名	1000名	950名	900名	850名
経営情報学部							
経営情報学科	1000名	1050名	1100名	1000名	900名	800名	700名
経営環境情報学科	150名	300名	450名	600名	550名	500名	450名
計	1150名	1350名	1550名	1600名	1450名	1300名	1150名
薬学部							
衛生薬学科	480名	480名	480名	480名	480名	480名	480名
薬学科	240名	240名	240名	240名	240名	240名	240名
計	720名	720名	720名	720名	720名	720名	720名
法学部							
法律学科	830名	880名	880名	880名	830名	780名	730名

- 20 イ この改正学則は、1994年4月1日から施行する。
 - ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1994年度入学者の入学手続時から適用する。
 - ハ 1993年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- 21 イ この改正学則は、1995年4月1日から施行する。
 - ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1995年度入学者の入学手続時から適用する。
 - ハ 1994年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
 - ニ 1992年度以前の入学者（工学部および国際言語文化学部にあつては1994年度以前の入学者）にかかる修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。ただし、1992年度以前の薬学部の入学者が「薬物治療学」を専門教育科目の選択科目として履修し、単位を修得することができるものとする。
- 22 イ この改正学則は、1996年4月1日から施行する。
 - ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1996年度入学者の入学手続時から適用する。
 - ハ 1995年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。

- ニ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
 - a 工学部の1994年度以前の入学者（電気工学科および経営工学科にあっては、1992年度以前の入学者）については、なお従前の例による。
 - b 国際言語文化学部の1994年度以前の入学者については、なお従前の例による。
 - c 経営情報学部の1992年度以前の入学者については、なお従前の例による。
 - d 薬学部の1993年度以前の入学者については、なお従前の例による。
 - e 法学部の1995年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 23 イ この改正学則は、1997年4月1日から施行する。
 - ロ 第41条第1項および第2項の別表第4は、1997年度入学者の入学手続時から適用する。
 - ハ 1996年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
 - ニ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
 - a 工学部の1992年度以前の入学者については、なお従前の例による。
 - b 国際言語文化学部の1996年度以前の入学者については、なお従前の例による。
 - c 薬学部の1996年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「海外英語研修」については、履修し、単位を修得できるものとする。
 - d 法学部の1995年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「海外英語研修」については、1993年度以降の入学者が履修し、単位を修得できるものとする。
- 24 イ この改正学則は、1998年4月1日から施行する。
 - ロ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
 - a 工学部の1992年度以前の入学者については、なお従前の例による。
 - b 国際言語文化学部、経営情報学部および法学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「教養特別講義Ⅰ～Ⅴ」については、1993年度以降の入学者が履修し、単位を修得できるものとする。
 - c 薬学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「人文総合A」および「人文総合B」については、履修し、単位を修得できるものとする。なお、「教養特別講義Ⅰ～Ⅴ」については、1993年度以降の入学者が履修し、単位を修得できるものとする。
- 25 この改正学則は、1999年4月1日から施行する。
- 26 イ この改正学則は、2000年4月1日から施行する。
 - ロ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。
 - a 工学部の1999年度以前の入学者の卒業に必要な単位数および第28条第2項別表第2の適用は、なお従前の例による。ただし、土木工学科の卒業に必要な単位数のうち専門科目については、必修科目34単位、選択必修科目および選択科目のうちから46単位以上とする。
 - b 国際言語文化学部の1999年度以前の入学者については、なお従前の例による。
 - c 経営情報学部および薬学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。また、1999年度以前の入学者に対する第28条第2項別表第2の適用は、なお従前の例による。
 - d 法学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。
 - ハ 第3条の規定にかかわらず、2000年度から2004年度までの間の入学定員はつぎのとおりとする。

学部・学科	入 学 定 員				
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
工学部					
土木工学科	104名	98名	92名	86名	80名
建築学科	110名	110名	110名	110名	110名
電気工学科	112名	104名	96名	88名	80名
機械工学科	120名	120名	120名	120名	115名
経営工学科	112名	104名	96名	88名	80名
計	558名	536名	514名	492名	465名
国際言語文化学部					
国際言語文化学科	240名	230名	220名	210名	200名
経営情報学部					
経営情報学科	250名	250名	250名	250名	250名
経営環境情報学科	139名	128名	117名	106名	100名
計	389名	378名	367名	356名	350名
薬学部					
衛生薬学科	120名	120名	120名	120名	120名
薬学科	60名	60名	60名	60名	60名
計	180名	180名	180名	180名	180名
法学部					
法律学科	220名	220名	220名	220名	220名

27 イ この改正学則は、2001年4月1日から施行する。

ロ 修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、つぎのとおりとする。

a 経営情報学部の1997年度以前の入学者の卒業に必要な単位数のうち基礎科目については、必修科目2単位、選択必修科目8単位以上とする。また、2000年度以前の入学者に対する第28条第2項別表第2および同条第3項別表第2の2の適用は、なお従前の例による。

b 薬学部の1997年度以前の入学者については、なお従前の例による。また、1999年度以前の入学者に対する第28条第2項別表第2の適用は、なお従前の例による。

ハ 第3条の規定にかかわらず、2001年度から2004年度までの間の入学定員はつぎのとおりとする。

学部・学科	入 学 定 員			
	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
工学部				
土木工学科	80名	80名	80名	80名
建築学科	110名	97名	80名	80名
電気工学科	80名	80名	80名	80名
機械工学科	110名	100名	80名	80名
経営工学科	80名	80名	80名	80名
計	460名	437名	400名	400名
国際言語文化学部				

国際言語文化学科	220名	200名	200名	200名
経営情報学部				
経営情報学科	230名	230名	230名	230名
経営環境情報学科	120名	120名	120名	120名
計	350名	350名	350名	350名
薬学部				
衛生薬学科	120名	120名	120名	120名
薬学科	60名	60名	60名	60名
計	180名	180名	180名	180名
法学部				
法律学科	220名	220名	214名	171名

- 28 イ この改正学則は、2002年4月1日から施行する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、工学部土木工学科、電気工学科および経営工学科は、2002年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、第22条第2項別表第1および第28条第3項別表第2の2中「都市環境システム工学科」とあるのは「土木工学科」と、「電気電子工学科」とあるのは「電気工学科」と、「マネジメントシステム工学科」とあるのは「経営工学科」とそれぞれ読み替えるものとする。
- 29 イ この改正学則は、2002年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条別表第4は、2002年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 2001年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ハ 2001年度以前の入学者（工学部の入学者を除く）の修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
- ニ 工学部土木工学科および電気工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専門科目および単位数ならびに教職課程については、工学部履修規定の定めるところによる。
- ホ 工学部建築学科および機械工学科の1999年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ヘ 工学部経営工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専門科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。
- ト 第3条の規定にかかわらず、2002年度および2003年度の入学定員は、つぎのとおりとする。

学部・学科	入学定員	
	2002年度	2003年度
工学部		
都市環境システム工学科	80名	80名
建築学科	80名	80名
電気電子工学科	80名	80名
機械工学科	80名	80名
マネジメントシステム工学科	80名	80名
計	400名	400名
国際言語文化学部		

国際言語文化学科	180名	180名
経営情報学部		
経営情報学科	196名	193名
経営環境情報学科	90名	80名
計	286名	273名
薬学部		
衛生薬学科	120名	120名
薬学科	100名	100名
計	220名	220名
法学部		
法律学科	200名	170名

- 30 イ この改正学則は、2003年4月1日から施行する。ただし、改正後の第19条第3項は2003年度転入学者の出願手続時から適用する。
- ロ 2002年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ハ 2001年度以前の入学者（工学部土木工学科、電気工学科および経営工学科の入学者を除く）の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ニ 工学部土木工学科および電気工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専科目および単位数については、工学部履修規定の定めるところによる。
- ホ 工学部経営工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき専門科目および単位数については、なお従前の例による。
- 31 イ この改正学則は、2004年4月1日から施行する。
- ロ 2003年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ハ 工学部都市環境システム工学科、国際言語文化学部および法学部の2003年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ニ 工学部電気工学科、経営工学科、経営情報学部および薬学部の2001年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。ただし、2001年度の薬学部の入学者は、「総合薬学演習」を履修し、単位を修得できるものとする。また、「卒業研究」を修得した場合の単位数は、必修科目の4単位とする。
- 32 イ この改正学則は、2005年4月1日から施行する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、国際言語文化学部国際言語文化学科は、2005年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、第22条第2項別表第1および第28条第3項別表第2の2中「国際学部国際学科」とあるのは「国際言語文化学部国際言語文化学科」と、第41条第1項別表第4、同条第2項別表第7、第44条第4項別表第5および第45条第4項別表第6中「外国語学部」とあるのは「国際言語文化学部」とそれぞれ読み替えるものとする。
- ハ 2004年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ニ 国際言語文化学部の2004年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ホ 工学部都市環境システム工学科および法学部の2003年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。

- 33 イ この改正学則は、2006年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項別表第4は、2006年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、経営情報学部経営環境情報学科および薬学部衛生薬学科は、2006年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、当該学科に在学する者が修得すべき授業科目および単位数ならびに教職課程については、なお従前の例によるものとする。
- ハ 2005年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
- ニ 2005年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ホ 経営情報学部経営情報学科および薬学部薬学科の2005年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- ヘ 工学部電気工学科および経営工学科の2001年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- 34 イ この改正学則は、2006年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条第1項別表第3は、2006年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 薬学部薬学科の2005年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- ハ 外国語学部、経営情報学部経営情報学科および法学部の2005年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ニ 工学部各学科の2005年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 35 この改正学則は、2007年4月1日から施行する。
- 36 イ この改正学則は、2007年4月1日から施行する。
- ロ 2006年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
- ハ 経営情報学部経営情報学科および法学部の2005年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ニ 外国語学部の2006年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ホ 工学部各学科の2006年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 37 この改正学則は、2008年4月1日から施行する。
- 38 イ この改正学則は、2008年4月1日から施行する。
- ロ 外国語学部の2007年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。
- ハ 工学部各学科の2007年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 39 イ この改正学則は、2009年4月1日から施行する。
- ロ 工学部各学科の2008年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、工学部履修規定に定める。
- 40 イ この改正学則は、2010年4月1日から施行する。
- ロ 第2条の規定にかかわらず、工学部都市環境システム工学科およびマネジメントシステム工学科は、2010年3月31日に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、当該学科に在学する者が修得すべき授業科目および単位数ならびに

教職課程については、なお従前の例によるものとする。

ハ 第2条の規定にかかわらず、経営情報学部経営学科および経営情報学科は、2010年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

この場合において、第22条第3項別表第1および第28条第3項別表第2の2中「経営学部経営学科」とあるのは「経営情報学部経営学科」、「経営学部経営情報学科」とあるのは「経営情報学部経営情報学科」と、第41条第1項別表第3、同条第2項別表第6、第44条第4項別表第4および第45条第4項別表第5中「経営学部」とあるのは「経営情報学部」とそれぞれ読み替えるものとする。

ニ 工学部建築学科、機械工学科および電気電子工学科の2009年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。

41 イ この改正学則は、2010年4月1日から施行する。

ロ 第2条の規定にかかわらず、工学部都市環境システム工学科、建築学科、電気電子工学科、機械工学科およびマネジメントシステム工学科は、2010年3月31日に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。この場合において、当該学科に在学する者が修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例によるものとする。また、第41条第1項別表第3、同条第2項別表第6、第44条第4項別表第4および第45条第4項別表第5中「理工学部」とあるのは「工学部」とそれぞれ読み替えるものとする。

42 イ この改正学則は、2010年4月1日から施行する。

ロ 2009年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。

ハ 外国語学部、経営情報学部および法学部の2009年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

43 イ この改正学則は、2011年4月1日から施行する。

ロ 2010年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

44 イ この改正学則は、2012年4月1日から施行する。

ロ 2011年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

45 イ この改正学則は、2013年4月1日から施行する。

ロ 2012年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。

46 イ この改正学則は、2014年4月1日から施行する。

ロ 2013年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

47 イ この改正学則は、2015年4月1日から施行する。

ロ 2014年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

48 イ この改正学則は、2016年4月1日から施行する。

ロ 2015年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

49 この改正学則は、2016年10月18日から施行する。

50 イ この改正学則は、2017年4月1日から施行する。ただし、改正後の第41条および別表第3は、2017年度入学者の入学手続時から適用する。

- ロ 2016年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
 - ハ 2016年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 51 イ この改正学則は、2018年4月1日から施行する。
- ロ 2017年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 52 イ この改正学則は、2019年4月1日から施行する。
- ロ 2018年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
 - ハ 2018年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 53 イ この改正学則は、2020年4月1日から施行する。
- ロ 2019年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
 - ハ 2019年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
 - ニ 2019年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
- 54 イ この改正学則は、2021年4月1日から施行する。
- ロ 2019年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
 - ハ 2019年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
 - ニ 2019年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。
 - ホ 経済学部経済学科の改正後の別表第1（教育課程表）については、2020年度入学者から適用する。
 - ヘ 農学部食品栄養学科の卒業に必要な単位数の変更については、2020年度入学者から適用する。
- 55 イ この改正学則は、2022年4月1日から施行する。ただし改正後の別表第3は、2022年度入学者の入学手続時から適用する。
- ロ 2021年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。
 - ハ 2021年度以前の入学者の教職課程については、なお従前の例による。
 - ニ 2021年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、各学部の履修規定に定める。

別表第1 教育課程表

1 理工学部

イ 生命科学科

区分			授業科目	単位数
専門科目	専門共通科目群	専門基礎系	生物学概論	②
			物理科学	②
			生物無機化学	②
			生物統計学	②
			生命科学・統計情報処理	②
			生命科学と倫理	②
			生物有機化学	②
		基礎生命系	生化学Ⅰ	②
			生化学Ⅱ	②
			微生物学	②
			生化学Ⅲ	②
			発生生物学	2
			ゲノムダイナミクス	2
		動植物生命系	動物生理学	②
			植物生理学	②
			実験動物学	2
			実験植物学	2
		生物機能情報系	構造生物学	②
			糖鎖工学	②
			タンパク機能学	2
			細胞機能学	2
			分子細胞制御学	2
		医薬生命系	幹細胞生物学	②
			免疫学	②
			薬理学	②
			人体と病態	2
			生化学検査学	2
			創薬科学	2
		生物工学系	応用微生物学	②
			遺伝子工学	②
			生体利用機能学	2
			バイオテクノロジー入門	2
		環境科学系	生命環境解析学	②
環境毒性学	②			
環境分析化学	2			

		バイオ環境工学	2
	食品科学系	食品分析学	②
		食品生化学	2
		機能性食品科学	2
	実験演習系	物理学実験	①
		生物学基礎実習	①
		分析化学実習	①
		微生物学実習	①
		分子生物学実習	①
		生化学実習	①
		生命科学データベース論・演習	①
		生体物質機能解析実習	①
		薬理学実習	①
	ゼミ系	基礎演習 I	①
		基礎演習 II	①
		研究基礎演習	①
		卒業研究	⑥
	総合研究コア群	生命科学特別演習 I	2
		生命科学特別演習 II	2
		生命科学キャリア支援講座	2
		生命科学キャリア支援演習	2
	先端研究コア群	先端生命科学実習 I	2
		先端生命科学実習 II	2
		先端生命科学概論	2
		先端生命科学英語読解	2
	教育スペシャリストコア群	理科教育法 I	2
		理科教育法 II	2
		理科教育法 III	2
		理科教育法 IV	2
		生命科学理科教育演習	2
教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2
		人間力と心理	2
		心理と社会	2
		実践の思想	2
		哲学から学ぶ	2
		歴史に学ぶ	2
		人文地理学	2
	社会科学系	日本の政治	2
		法学入門	2

	日本国憲法	2
	経済学入門	2
	企業経営	2
	社会の仕組み	2
	マーケティング	2
	産業社会と知的財産	2
	国際理解概論	2
自然・科学技術系	産業技術史	2
	地学	2
	地学実験	2
	科学技術教養R	2
	科学技術教養A	2
	科学技術教養M	2
	科学技術教養E	2
	科学技術教養C	2
	科学技術教養T	2
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1
	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1

	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	2
	地域貢献実践演習	2
	共通基礎系	大学教養入門
大学教養実践		2
就職実践基礎		1
教養特別系	教養特別講義 I	2
	教養特別講義 II	2
	教養特別講義 III	2
	教養特別講義 IV	2
	教養特別講義 V	2
外国人留学生対象科目	日本事情F I	2
	日本事情F II	2
	日本語読解F I	1
	日本語読解F II	1
	日本語文法F I	1
	日本語文法F II	1
	日本語表現作文F I	1
	日本語表現作文F II	1
	日本語総合F I	1
	日本語総合F II	1
	専門日本語F I	1
	専門日本語F II	1
	日本語会話F I	1
	日本語会話F II	1
帰国学生対象科目	日本事情R I	2
	日本事情R II	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	64単位	—	32単位以上	96単位以上
教養科目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	65単位	—	59単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ロ 住環境デザイン学科

区分		授業科目	単位数		
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2	
			微積分 I	4	
			微積分 II	4	
			線形代数 I	2	
			線形代数 II	2	
			工業数学 I	2	
			工業数学 II	2	
			代数学	2	
			幾何学 I	2	
			幾何学 II	2	
			解析学	2	
			統計学	2	
			科学系	物理学基礎演習	2
				物理学	2
			基礎力学演習	①	
			力学	②	
			化学	2	
			生物学	2	
		実験系	理工学基礎実験	②	
			物理学実験	2	
			化学実験	2	
		情報系	統計情報処理	①	
		専門コア群	共通系	住環境倫理	②
				建築法規	②
				住環境デザイン概論	②
				デザイン方法論	②
				図形科学	②
			福祉住環境学	②	
			コミュニティプランニング	②	

		住環境マネジメント	2
		居住安全計画	2
	環境デザイン系	環境設備計画A	2
		住環境工学A	②
		住環境工学B	②
		住環境設備	②
		環境設備計画B	2
		住環境材料学	②
		構造デザイン論	②
		ランドスケープデザイン論	2
		構造力学 I	②
		構造力学 II	②
		建築一般構造学	②
		住宅生産学	②
	空間デザイン系	住生活学	②
		建築計画学	2
		地域・都市計画学	2
		近代デザイン史	2
		日本建築史	2
		西洋建築史	2
		インテリアデザイン論	2
		建築デザイン論	2
少人数教育群	演習系	空間表現演習A	2
		空間表現演習B	2
		造形演習	2
		基礎設計演習	②
		設計演習 I	②
		設計演習 II	②
		設計演習 III	3
		インテリアデザイン演習	2
		環境工学演習	2
		デザイン方法演習	3
		サステイナブルデザイン演習	3
	ゼミ系	ゼミA	①
		ゼミB	①
		ゼミC	①
		スタジオ	②
		卒業研究	⑥
教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2

	人間力と心理	2
	心理と社会	2
	実践の思想	2
	哲学から学ぶ	2
	歴史に学ぶ	2
	人文地理学	2
社会科学系	日本の政治	2
	法学入門	2
	日本国憲法	2
	経済学入門	2
	企業経営	2
	社会の仕組み	2
	マーケティング	2
	産業社会と知的財産	2
	国際理解概論	2
自然・科学技術系	産業技術史	2
	地学	2
	地学実験	2
	科学技術教養V	2
	科学技術教養A	2
	科学技術教養M	2
	科学技術教養E	2
	科学技術教養C	2
	科学技術教養T	2
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1

	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義 I	2
	教養特別講義 II	2
	教養特別講義 III	2
	教養特別講義 IV	2
	教養特別講義 V	2
外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2
	日本事情 F II	2
	日本語読解 F I	1
	日本語読解 F II	1
	日本語文法 F I	1
	日本語文法 F II	1
	日本語表現作文 F I	1
	日本語表現作文 F II	1
	日本語総合 F I	1
	日本語総合 F II	1
	専門日本語 F I	1
	専門日本語 F II	1
	日本語会話 F I	1
	日本語会話 F II	1
帰国学生対象科目	日本事情 R I	2

	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	44単位	53単位以上		97単位以上
教養科目	1単位	—	26単位以上	27単位以上
計	45単位	79単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

ハ 建築学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	専門基礎群	数学系	
		基礎数学演習	2
		微積分Ⅰ	4
		微積分Ⅱ	4
		線形代数Ⅰ	2
		線形代数Ⅱ	2
		工業数学Ⅰ	2
		工業数学Ⅱ	2
		代数学	2
		幾何学Ⅰ	2
		幾何学Ⅱ	2
		解析学	2
		統計学	2
		科学系	
		物理学Ⅰ	2
		物理学Ⅱ	2
		基礎力学演習	1
		力学Ⅰ	2
		力学Ⅱ	2
	実験系		
理工学基礎実験	②		
物理学実験	2		
情報系	情報メディアデザイン	2	
専門コア群	共通系	図学	②

		建築概論	②
		建築法規	②
		建築倫理	2
		建築情報処理基礎	2
		建築情報処理応用	2
		測量	2
		地球環境論	2
		建築総合演習	①
		建築マネジメント	2
		まちづくり論	2
		建築実務実践	2
	計画・環境系	建築計画基礎	②
		都市地域デザイン	②
		西洋建築史	2
		建築計画各論	②
		福祉すまい環境	②
		建築環境工学Ⅰ	②
		建築環境工学Ⅱ	②
		建築設備学	②
		日本建築史	2
		近代建築史	2
		建築環境工学Ⅲ	2
		材料デザイン	2
		現代作品論	2
	構造・生産系	構造力学・構造基礎	②
		構造力学Ⅰ	③
		構造力学Ⅱ	③
		建築材料	②
		建築施工	②
		鉄筋コンクリート構造	②
		構造設計	2
		鋼構造	②
		構造力学Ⅲ	2
		地盤工学	2
		耐震工学・振動学	2
少人数教育群	実験実習系	建築基礎演習A	②
		建築基礎演習B	②
		建築設計製図A	②
		建築設計製図B	②

		建築設計演習A	2
		建築設計演習B	2
		建築環境工学演習	2
		構造実験	2
	ゼミ系	建築ゼミⅠ	①
		建築ゼミⅡ	①
		建築ゼミⅢ	③
		卒業研究	⑥
教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2
		人間力と心理	2
		心理と社会	2
		実践の思想	2
		哲学から学ぶ	2
		歴史に学ぶ	2
		人文地理学	2
	社会科学系	日本の政治	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		経済学入門	2
		企業経営	2
		社会の仕組み	2
		マーケティング	2
		産業社会と知的財産	2
		国際理解概論	2
		自然・科学技術系	産業技術史
	地学		2
	地学実験		2
	科学技術教養V		2
	科学技術教養R		2
	科学技術教養M		2
	科学技術教養E		2
	科学技術教養C		2
	科学技術教養T		2
	英語系	基礎英語Ⅰa	1
		基礎英語Ⅰb	1
		基礎英語Ⅱa	1
		基礎英語Ⅱb	1
		実践英語Ⅰa	1
実践英語Ⅰb		1	

	実践英語Ⅱa	1
	実践英語Ⅱb	1
	英語基礎会話Ⅰ	1
	英語基礎会話Ⅱ	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現Ⅰ	1
	コミュニケーションⅠ	1
	コミュニケーションⅡ	1
数理・情報系	情報リテラシーⅠ	①
キャリアデザイン系	キャリアデザインⅠ	1
	キャリアデザインⅡ	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1

		日本語表現作文F I	1
		日本語表現作文F II	1
		日本語総合F I	1
		日本語総合F II	1
		専門日本語F I	1
		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
	帰国学生対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	56単位	40単位以上		96単位以上
教養科目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	57単位	67単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

二 機械工学科

区分			授業科目	単位数
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2
			微積分 I	4
			微積分 II	4
			線形代数 I	4
			線形代数 II	2
			工業数学 I	2
			工業数学 II	2
			統計学	2
			代数学	2
			幾何学 I	2
			幾何学 II	2
			解析学	2

		応用数学 I	2
		応用数学 II	2
	科学系	基礎力学演習	1
		力学 I	2
		力学 II	2
		物理学 I	2
		物理学 II	2
	実験系	理工学基礎実験	①
		物理学実験	①
	情報系	統計情報処理	1
		プログラミングベーシック	①
		プログラミングアドバンス	1
専門コア群	共通系	機械工学概論	②
		機械力学 I	②
		機械力学 II	②
		制御工学 I	②
		制御工学 II	2
		流体力学 I	②
		流体力学 II	②
		材料力学 I	②
		材料力学 II	②
		熱工学 I	②
		熱工学 II	②
		機械製作法	②
		生産加工学	②
		生産工学	②
		機械設計学 I	②
		機械設計学 II	②
		機械材料学 I	②
		機械材料学 II	2
		技術者倫理	②
		機械工学演習 I	②
		機械工学演習 II	2
	発展系	エネルギー変換工学	2
		ライフサイクル工学	2
		流体力学	2
		振動工学	2
		弾性力学	2
		ロボット工学	2

		知能工学	2	
		航空宇宙工学	2	
		計測工学	2	
		インダストリアルデザイン	2	
		生体医用工学	2	
		機械と色彩	2	
		テクニカルドローイング	1	
		ものづくりの工学	2	
		デジタルエンジニアリング	2	
		品質工学	2	
	少人数教育群	実験実習系	基礎機械工作実習	②
			応用機械工作実習	2
			機械工学実験	2
			機械製図Ⅰ	②
			機械製図Ⅱ	②
			基礎機械設計	②
			応用機械設計	2
		ゼミ系	機械創成基礎演習Ⅰ	①
			機械創成基礎演習Ⅱ	①
			機械創成応用演習	②
	研究基礎演習		①	
	卒業研究		⑥	
教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2	
		人間力と心理	2	
		心理と社会	2	
		実践の思想	2	
		哲学から学ぶ	2	
		歴史に学ぶ	2	
		人文地理学	2	
	社会科学系	日本の政治	2	
		法学入門	2	
		日本国憲法	2	
		経済学入門	2	
		企業経営	2	
		社会の仕組み	2	
		マーケティング	2	
		産業社会と知的財産	2	
	国際理解概論	2		
	自然・科学技術系	産業技術史	2	

	地学	2
	地学実験	2
	科学技術教養V	2
	科学技術教養R	2
	科学技術教養A	2
	科学技術教養E	2
	科学技術教養C	2
	科学技術教養T	2
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1
	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	2
	地域貢献実践演習	2

	共通基礎系	大学教養入門	2
		大学教養実践	2
		就職実践基礎	1
	教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
		教養特別講義Ⅱ	2
		教養特別講義Ⅲ	2
		教養特別講義Ⅳ	2
		教養特別講義Ⅴ	2
	外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
		日本事情FⅡ	2
		日本語読解FⅠ	1
		日本語読解FⅡ	1
		日本語文法FⅠ	1
		日本語文法FⅡ	1
		日本語表現作文FⅠ	1
		日本語表現作文FⅡ	1
		日本語総合FⅠ	1
		日本語総合FⅡ	1
		専門日本語FⅠ	1
		専門日本語FⅡ	1
		日本語会話FⅠ	1
		日本語会話FⅡ	1
	帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
		日本事情RⅡ	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
専門日本語R		1	
日本語会話R		1	

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	49単位	47単位以上		96単位以上
教養科目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	50単位	74単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

ホ 電気電子工学科

区分			授業科目	単位数
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2
			微積分 I	4
			微積分 II	4
			線形代数 I	2
			線形代数 II	2
			電気数学 I	2
			電気数学 II	2
			代数学	2
			幾何学 I	2
			幾何学 II	2
			解析学	2
			応用数学 I	2
			応用数学 II	2
		科学系	物理の基礎	3
			物理学 I	2
			物理学 II	2
			理工学基礎実験	①
			物理学実験	2
		情報系	統計情報処理	1
	Cプログラミング		①	
	専門コア群	共通系	電気情報工学概論	②
			フーリエ解析	2
			確率統計	2
			電磁気学 I	②
			電磁気学 II	2
			電磁界理論	2
			電気回路 I	②
			電気回路 II	2
			論理回路基礎	2
			電子回路基礎	2
			電気電子計測	2
			品質管理	2
電気回路CAD			2	
技術者への道			2	
技術者倫理			2	
電気系			電気機器 I	2
	電気機器 II	2		

		電気エネルギー工学	2
		電力工学	2
		電力伝送	2
		電気設備工学	2
		パワーエレクトロニクス	2
		電機設計製図	2
		電気法規及び施設管理	2
		電気工学演習	1
	電子系	ロボット工学概論	2
		電子材料	2
		電子デバイス工学	2
		論理回路	2
		電子回路	2
		IoTデバイス	2
		制御システム	2
	通信系	情報理論	2
		通信システム	2
		光エレクトロニクス	2
		通信工学Ⅰ	2
		通信工学Ⅱ	2
		通信ネットワーク	2
		電波法規	2
	情報系	アドバンストプログラミング	1
		コンピュータシステムⅠ	2
		コンピュータシステムⅡ	2
		コンピュータ解析	2
		アルゴリズムとデータ構造	2
		グラフ理論	2
		人工知能	2
		IoTプロセッシング	2
		情報工学演習	1
	演習実習系	電気情報基礎実験	②
		電気系実験Ⅰ	2
		情報系実験Ⅰ	2
		電気情報創成演習	②
		電気系実験Ⅱ	3
		情報系実験Ⅱ	3
	ゼミ系	基礎ゼミナール	①
		卒業研究基礎	①

		卒業研究	⑥
教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2
		人間力と心理	2
		心理と社会	2
		実践の思想	2
		哲学から学ぶ	2
		歴史に学ぶ	2
		人文地理学	2
	社会科学系	日本の政治	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		経済学入門	2
		企業経営	2
		社会の仕組み	2
		マーケティング	2
		産業社会と知的財産	2
		国際理解概論	2
	自然・科学技術系	産業技術史	2
		地学	2
		地学実験	2
		科学技術教養V	2
		科学技術教養R	2
		科学技術教養A	2
		科学技術教養M	2
		科学技術教養C	2
		科学技術教養T	2
	英語系	基礎英語 I a	1
		基礎英語 I b	1
		基礎英語 II a	1
		基礎英語 II b	1
		実践英語 I a	1
		実践英語 I b	1
		実践英語 II a	1
		実践英語 II b	1
		英語基礎会話 I	1
英語基礎会話 II		1	
技術英語		2	
科学英語		2	
外国語系	海外語学研修	2	

日本語系	日本語読解	1
	日本語表現Ⅰ	1
	コミュニケーションⅠ	1
	コミュニケーションⅡ	1
数理・情報系	情報リテラシーⅠ	①
キャリアデザイン系	キャリアデザインⅠ	1
	キャリアデザインⅡ	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1

		日本語会話F II	1
帰国学生対象科目		日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	20単位	76単位以上		96単位以上
教養科目	1単位	—	27単位以上	28単位以上
計	21単位	103単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

～ 都市環境工学科

区分			授業科目	単位数
専門科目	専門基礎群	数学系	基礎数学演習	2
			微積分 I	4
			微積分 II	4
			線形代数 I	2
			線形代数 II	2
			工業数学 I	2
			工業数学 II	2
			代数学	2
			幾何学 I	2
			幾何学 II	2
			解析学	2
			科学系	理工学基礎
		物理学		2
		化学		2
		生物学		2
		地質学		2
		基礎力学演習		1
		力学 I		2
		力学 II	2	

専門コア群	実験・演習系	理工学基礎実験	①
		物理学実験	①
	情報系	統計情報処理	1
	建設系	構造力学基礎・演習	③
		構造力学 I	2
		構造力学 II	2
		地盤力学 I・演習	③
		地盤力学 II	2
		建設構造材料学	2
		水理学 I・演習	③
		水理学 II	2
	環境計画系	自然・都市環境論	2
		地球環境学	2
		環境衛生工学 I	2
		環境衛生工学 II	2
		リサイクル工学	2
		計画システム	2
		都市計画学	2
		環境地盤工学	2
	専門応用系	鋼構造学	2
		コンクリート構造学	2
		建設施工学	2
		交通・道路工学	2
		流域・沿岸域工学	2
		構造物メンテナンス	2
		防災・耐震工学	2
		空間情報学・演習	3
		コンストラクションマネジメント入門	2
		シビックデザイン	2
	倫理法規系	技術者倫理	2
		建設環境法規	2
	建築系	建築・都市計画入門	2
		建築設計製図基礎	1
建築設計製図 I		1	
建築設計製図 II		1	
建築設計製図 III		1	
測量・実験系	測量学 I	②	
	測量学実習 I	①	
	測量学 II	②	

	少人数教育群		測量学実習Ⅱ	①
			建設工学実験	2
			環境工学実験	2
		専門情報系	CAD実習	①
		専門演習系	構造力学Ⅰ演習	1
			コンクリート構造学演習	1
			地盤力学Ⅱ演習	1
			水理学Ⅱ演習	1
			計画システム演習	1
		総合演習系	実践日本語演習	1
			都市環境基礎演習	1
			都市環境総合演習Ⅰ	1
			都市環境総合演習Ⅱ	1
			都市環境数理総合演習	1
			都市建設設計製図	1
			環境計画設計製図	1
		ゼミ系	都市環境基礎ゼミⅠ	①
			都市環境基礎ゼミⅡ	①
			都市環境ゼミナール	①
			卒業研究	⑥
教養科目	人文科学系		文学から学ぶ	2
			人間力と心理	2
			心理と社会	2
			実践の思想	2
			哲学から学ぶ	2
			歴史に学ぶ	2
			人文地理学	2
	社会科学系		日本の政治	2
			法学入門	2
			日本国憲法	2
			経済学入門	2
			企業経営	2
			社会の仕組み	2
			マーケティング	2
			産業社会と知的財産	2
			国際理解概論	2
	自然・科学技術系		産業技術史	2
			地学	2
			地学実験	2

	科学技術教養V	2
	科学技術教養R	2
	科学技術教養A	2
	科学技術教養M	2
	科学技術教養E	2
	科学技術教養T	2
英語系	基礎英語 I a	1
	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	英語基礎会話 I	1
	英語基礎会話 II	1
	技術英語	2
	科学英語	2
外国語系	海外語学研修	2
日本語系	日本語読解	1
	日本語表現 I	1
	コミュニケーション I	1
	コミュニケーション II	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	インターンシップ	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1
	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2

	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義 I	2
	教養特別講義 II	2
	教養特別講義 III	2
	教養特別講義 IV	2
	教養特別講義 V	2
外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2
	日本事情 F II	2
	日本語読解 F I	1
	日本語読解 F II	1
	日本語文法 F I	1
	日本語文法 F II	1
	日本語表現作文 F I	1
	日本語表現作文 F II	1
	日本語総合 F I	1
	日本語総合 F II	1
	専門日本語 F I	1
	専門日本語 F II	1
	日本語会話 F I	1
	日本語会話 F II	1
帰国学生対象科目	日本事情 R I	2
	日本事情 R II	2
	日本語読解 R	1
	日本語文法 R	1
	日本語表現作文 R	1
	日本語総合 R	1
	専門日本語 R	1
	日本語会話 R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	28単位	69単位以上		97単位以上
教養科目	1単位	—	26単位以上	27単位以上
計	29単位	95単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

2 国際学部
国際学科

区分			授業科目	単位数		
専門科目	協働学習プロジェクト科目	文化構想領域	プロジェクト科目	表象と感性プロジェクト	2	
				歴史学プロジェクト	2	
				地理学プロジェクト	2	
				比較文化プロジェクト	2	
				人間存在論プロジェクト	2	
				都市と周縁プロジェクト	2	
				国際社会と日本語プロジェクト	2	
			基幹科目	表象文化論	2	
				地域と歴史	2	
				環境と社会	2	
				思想と文化	2	
				テクノロジーと人間	2	
				異文化の理解	2	
				多文化社会と日本語	2	
				接続科目	英語圏異文化交流論	2
					英語圏比較文化論	2
					中国語と生活文化	2
					中国語圏の言語文化	2
					スペインの言語と文化	2
					ラテンアメリカの言語と文化	2
					インドネシア語と生活文化	2
					インドネシア語と現代文化	2
			国際共生領域	プロジェクト科目	地域研究プロジェクト（英語と諸地域）	2
					地域研究プロジェクト（東アジア世界）	2
					地域研究プロジェクト（スペイン語と諸地域）	2
					地域研究プロジェクト（東南アジア世界）	2
					海外特別プロジェクト I	2
				基幹科目	グローバルスタディーズ（英語と諸地域）	2
		グローバルスタディーズ（東アジア世界）			2	
		グローバルスタディーズ（スペイン語と諸地域）			2	
		グローバルスタディーズ（東南アジア世界）			2	
		接続科目		英語で考える環境問題	2	
				英語で考える社会問題	2	
				中国語を通して見る世界	2	
				中国語圏の地域と共生	2	
				スペインから世界を見る	2	

		ラテンアメリカから世界を見る	2
		インドネシア語で世界を知る	2
		マレー語圏の地域を知る	2
社会協創 領域	プロジェクト科目	言語コミュニケーションプロジェクト	2
		メディアと現代社会プロジェクト	2
		マイノリティ研究プロジェクト	2
		地域研究・国際政治プロジェクト	2
		地域とビジネスプロジェクト	2
		国際貢献・ボランティアプロジェクト	2
		海外特別プロジェクト II	2
		基幹科目	ことばと社会
	メディア文化論		2
	ジェンダーとマイノリティ		2
	比較政治学		2
	国際ビジネス論		2
	国際貢献論		2
	接続科目	Studies in Media and Communication	2
		Studies in Hospitality and Tourism	2
		中国語で読み解く地域社会	2
		中国語圏から社会を考える	2
		スペイン語を通して学ぶヨーロッパ社会	2
		スペイン語を通して学ぶラテンアメリカ社会	2
		インドネシア語で考える現代社会	2
マレー語で考える国際社会		2	
実習・演習科目	課題解決型ワークショップ	2	
	ホスピタリティ実習演習	2	
	海外インターンシップ	2	
	海外実習	2	
	体験型特別実習	2	
文化社 会科目	地域文化科目	世界を学ぶ	②
		日本を学ぶ	②
		エリアスタディーズ 北アメリカ	2
		エリアスタディーズ ラテンアメリカ	2
		エリアスタディーズ 東アジア	2
		エリアスタディーズ 西アジア・南アジア	2
		エリアスタディーズ 東南アジア	2
		エリアスタディーズ アフリカ	2
		エリアスタディーズ ヨーロッパ	2
		エリアスタディーズ オセアニア	2

一般学芸科目	共同体論	2
	多文化共生論	2
	風土と地理	2
	国際関係論	2
	国際社会と経済	2
	メディアリテラシー論	2
	現代社会論	2
	地域と観光	2
	生物と環境	2
	ナショナリズム論	2
	視覚文化論	2
	Studies in Popular Culture	2
	Studies in Language and Society	2
言語学芸科目	音声学	2
	英語学概論	2
	言語学	2
	日本語史概説	2
	英語意味論・語用論	2
	日本語音韻論	2
	英語構造論	2
	日本語語彙論	2
	日本語文法論	2
	日本の文学	2
	中国の文学	2
	英語圏の文学	2
エアライン・ホスピタリティ 科目	ホテルビジネス論	2
	ホスピタリティ基礎論	2
	ホスピタリティスキル論	2
	エアラインサービス論	2
	エアラインビジネス論	2
学芸員科目	ミュージアムへの招待	2
	ミュージアムコレクション論	2
	博物館資料保存論	2
	ディスプレイ論	2
	生涯学習論	2
	ミュージアムマネジメント論	2
	博物館情報・メディア論	2
	博物館教育論	2
	博物館実習	3

日本語教員科目	日本語教授法 I	2		
	日本語教授法 II	2		
	日本語教授法 III	2		
	日本語教育実習演習	3		
英語基礎科目	Speaking & Writing a	1		
	Reading a	①		
	TOEIC a	1		
	Communicative English Grammar	1		
	Speaking & Writing b	1		
	Reading b	①		
	TOEIC b	1		
	Drama	1		
	Japanese Society and Culture	①		
	Academic Reading & Listening	1		
	Academic Writing Workshop	1		
	Debate	1		
	Presentation	1		
	地域言語 科目	英語	Topic Studies I a	1
Topic Studies I b			1	
Discussion a			1	
Topic Studies II a			1	
Discussion b			1	
Topic Studies II b			1	
Advanced Academic Writing Workshop a			2	
Lecture a			2	
Film Making			2	
Business English a			2	
Topic Studies III a			2	
Advanced Academic Writing Workshop b			2	
Lecture b			2	
Business English b			2	
Topic Studies III b			2	
Comprehensive Studies a			2	
Comprehensive Studies b			2	
諸言語			諸言語輪講	①
中国語			中国語で読み解く I	①
		中国語で表現する I	①	
	中国語で会話する I	①		
	中国語で読み解く II	1		

		中国語で表現するⅡ	1
		中国語で会話するⅡ	1
		中国語で読み解くⅢ	1
		中国語で表現するⅢ	1
		中国語で会話するⅢ	1
		中国語プレゼンテーション	2
	スペイン語	スペイン語文法Ⅰ	①
		スペイン語表現	①
		スペイン語会話Ⅰ	①
		スペイン語文法Ⅱ	1
		スペイン語読解	1
		スペイン語会話Ⅱ	1
		スペイン語圏社会講読（南欧）	1
		スペイン語圏社会講読（ラテンアメリカ）	1
		スペイン語文章構成	1
		スペイン語プレゼンテーション	2
	インドネシア語・マレー語	インドネシア語文法	①
		インドネシア語表現Ⅰ	①
		インドネシア語会話Ⅰ	①
		総合インドネシア語	1
		インドネシア語表現Ⅱ	1
		インドネシア語会話Ⅱ	1
		総合マレー語	1
		実践インドネシア語	1
		旅行インドネシア語	1
		インドネシア語・マレー語プレゼンテーション	2
ゼミ・卒業研究		初年次ゼミナール	②
		基礎ゼミナール	②
		基礎演習Ⅰ	②
		基礎演習Ⅱ	②
		文化演習Ⅰ	②
		文化演習Ⅱ	②
		卒業研究Ⅰ	②
		卒業研究Ⅱ	②

教養科目	人文科学系	人間の探求	2
		文学から学ぶ	2
		歴史に学ぶ	2
		心理学	2
	社会科学系	法学入門	2
		世界の政治	2
		日本国憲法	2
		経済学入門	2
		経営学入門	2
	自然・科学技術系	住まいとデザイン	2
		食品機能学	2
		人体の構造と機能	2
		公衆衛生学	2
		科学技術教養	2
	英語系	基礎英語Ⅰa	①
		基礎英語Ⅱa	①
	外国語系	韓国語Ⅰ	1
		韓国語Ⅱa	1
		韓国語Ⅱb	1
		韓国語Ⅲa	1
		韓国語Ⅲb	1
	日本語系	日本語表現Ⅰ	1
		日本語表現Ⅱ	1
		コミュニケーションⅠ	1
	数理・情報系	情報リテラシーⅠ	①
		情報リテラシーⅡ	①
	キャリアデザイン系	キャリアデザインⅠ	①
		キャリアデザインⅡ	①
		エンプロイメントデザインⅠ	1
		エンプロイメントデザインⅡ	1
		インターンシップ	2
		ビジネス実務	2
	スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
		スポーツ科学実習Ⅱ	1
		スポーツと健康	2
	地域志向系	地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2

	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	数的能力開発Ⅰ	1
	就職実践基礎	1
	時事問題Ⅰ	2
	時事問題Ⅱ	2
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目	24単位	29単位以上 ①協働学習プロジェクト科目26 単位以上 (文化構想領域、国際共生領 域、社会協創領域において選択 したプロジェクト科目1科目と対 応する基幹科目1科目、および接 続科目2科目の合計4科目8単位 以上、実習演習科目2単位以上) ②文化社会科目3単位以上 (中国語、スペイン語、インド ネシア語・マレー語のうち、い ずれかの言語から3単位)	29単位以上 ①地域文化科目、一般学芸科 目および言語学芸科目から22 単位以上 ②地域言語科目から7単位以上 (ただし、「English Language Honors Track」は 地域文化科目、一般学芸科目 および言語学芸科目から16単 位以上、英語基礎科目から6単 位以上、地域言語科目のうち 英語科目から7単位以上)	92単位以上
		10単位以上		
教養科目	6単位	—	26単位以上 (人文科学系、社会科学系、 自然・科学技術系、地域志向 系、教養特別系から16単位以 上 外国語系、日本語系、キャリ アデザイン系、スポーツ系、 共通基礎系から10単位以上)	32単位以上
計	30単位	29単位以上	65単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

3 経営学部
経営学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	専門基礎科目群	経営学入門	②	
		経営管理論	2	
		地域産業論	2	
		ビジネス情報処理 I	②	
		ビジネス情報処理 II	②	
		ICTビジネス入門	②	
		情報倫理	2	
		情報と職業	2	
		マーケティング入門	2	
		消費者心理学	2	
		簿記入門	④	
		財務諸表論入門	2	
		経済学入門	2	
		ミクロ経済学	2	
		マクロ経済学	2	
		経営統計学	2	
		市場調査入門	2	
		マネジメントサイエンス	2	
		マネジメント群	経営組織論	2
			経営戦略論	2
	人的資源管理論		2	
	組織行動論		2	
	中小企業論		2	
	現代企業論		2	
	イノベーション論		2	
	日本経営史		2	
	外国経営史		2	
	国際経営論 I		2	
	国際経営論 II	2		
	ICTビジネス群	情報科学	2	
		プログラミング I	2	
		プログラミング II	2	
		経営情報システム I	2	
経営情報システム II		2		
情報ネットワークとセキュリティ		2		
コンピュータデータ分析		2		

	コンピュータサイエンス	2
	プロダクトデザイン I	2
	プロダクトデザイン II	2
	ビジネスシミュレーション	2
	流通情報システム	2
マーケティング群	消費者行動論	2
	マーケティング戦略論	2
	メディアと社会	2
	メディア戦略論	2
	ブランド論	2
	リテールマーケティング	2
	サービスマーケティング	2
	データサイエンス I	2
	データサイエンス II	2
	マーケティングリサーチ I	2
	マーケティングリサーチ II	2
会計ファイナンス群	商業簿記	2
	工業簿記	2
	財務会計論 I	2
	財務会計論 II	2
	連結会計論	2
	管理会計論 I	2
	管理会計論 II	2
	会計情報分析論	2
	ファイナンス I	2
	ファイナンス II	2
	コーポレート・ファイナンス I	2
	コーポレート・ファイナンス II	2
応用・実践科目群	ベンチャービジネス論	2
	ビジネスプランニング	2
	知的財産管理論	2
	企業分析(経営戦略ケース分析)	2
	ICTビジネス演習A	2
	ICTビジネス演習B	2
	ICTビジネス演習C	2
	マーケティングリサーチ演習A	2
	マーケティングリサーチ演習B	2
	マーケティング演習A	2
	マーケティング演習B	2

		調査実践演習 I	2
		調査実践演習 II	2
		中小企業会計論	2
		企業分析(財務戦略ケース分析)	2
		経営学特講 I	2
		経営学特講 II	2
		経営学特講 III	2
	法律科目群	民法	2
		会社法	2
		労働法	2
		金融商品取引法	2
	演習・卒業研究	基礎演習	②
		専門基礎演習	②
		専門演習 I	④
		専門演習 II	④
		卒業研究	④
教養科目	人文科学系	心理学 I	2
		心理学 II	2
		哲学 I	2
		哲学 II	2
		倫理学	2
		日本の歴史	2
		世界の歴史	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
	社会科学系	社会学 I	2
		社会学 II	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		日本の政治	2
		世界の政治	2
	自然・科学技術系	住まいとデザイン	2
		自然地理学	2
		環境と現代社会	2
		公衆衛生学	2
		産業技術史	2
		科学技術教養	2
	英語系外国語	基礎英語 I a	1

	基礎英語 I b	1
	基礎英語 II a	1
	基礎英語 II b	1
	実践英語 I a	1
	実践英語 I b	1
	実践英語 II a	1
	実践英語 II b	1
	ビジネスイングリッシュ I	1
	ビジネスイングリッシュ II	1
	英語コミュニケーション I	1
	英語コミュニケーション II	1
	アドバンスト英語 I	1
	アドバンスト英語 II	1
	アドバンスト英語 III	1
外国語系	海外語学研修	2
	ビジネス中国語基礎a	1
	ビジネス中国語基礎b	1
	ビジネス中国語基礎c	1
	ビジネス中国語基礎d	1
	中国語を聞くa	1
	中国語を聞くb	1
	中国語を話すa	1
	中国語を話すb	1
日本語系	日本語表現 I	1
	日本語表現 II	1
	コミュニケーション I	1
数理・情報系	数学基礎 I	1
	数学基礎 II	1
	情報技術演習	1
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	①
	キャリアデザイン II	1
	キャリアデザイン III	1
	エンプロイメントデザイン I	1
	エンプロイメントデザイン II	1
	インターンシップ	2
	ビジネス実務	2
	職業能力開発	2
スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
	スポーツ科学実習 II	1

	生涯スポーツ実習	1
	スポーツと健康	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	数的能力開発Ⅰ	1
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2
	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分		必修科目	選択科目		計
専門科目		28単位	マネジメント コース	58単位以上（マネジメント群 12単位以上、ICTビジネス 群2単位以上、マーケティング 群2単位以上、会計ファイ ナンス群2単位以上）	86単位以上
			ICTビジネス コース	58単位以上（ICTビジネス 群12単位以上、マネジメント 群2単位以上、マーケティング 群2単位以上、会計ファイ ナンス群2単位以上）	
			マーケティング コース	58単位以上（マーケティング 群12単位以上、マネジメント 群2単位以上、ICTビジネ ス群2単位以上、会計ファイ ナンス群2単位以上）	
			会計ファイナンス コース	58単位以上（会計ファイナン ス群12単位以上、マネジメン ト群2単位以上、ICTビジ ネス群2単位以上、マーケテ ィング群2単位以上）	
教養科目	英語系外国語、外国 語系、日本語系、数 理・情報系、スポー ツ系	—	12単位以上 (選択必修科目4単位以上を含む英語系外国語ま たは外国語系科目8単位以上を含む)		38単位以上
	人文科学系、社会科 学系、自然・科学技 術系、地域志向系、 共通基礎系、教養特 別系	—	—	20単位以上 (人文科学系・社会科学系な らびに自然・科学技術系各2 単位以上を含む)	
	キャリアデザイン系	1単位	—	2単位以上	
	教養科目に定める卒 業に必要な単位数を 超えて修得した科目	—	—	3単位以上	
計		29単位	95単位以上		124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

4 薬学部

薬学科

区分		授業科目		単位数
専門科目	基礎	薬剤師になるために	必	1.5
		化学	選必	1
		物理学	選必	1
		生物学	選必	1
	物理・化学系	有機化学Ⅰ	選必	1
		有機化学Ⅱ	選必	1
		物理化学Ⅰ	選必	1
		物理化学Ⅱ	選必	1
		薬品分析学	選必	1
		臨床分析学	選必	1
		機器分析学Ⅰ	選必	1
		機器分析学Ⅱ	選必	1
		生薬学	選必	1
		天然物化学	選必	1
		医薬品化学Ⅰ	選必	1
		医薬品化学Ⅱ	選必	1
	生物系	生化学Ⅰ	選必	1
		生化学Ⅱ	選必	1
		生理解剖学Ⅰ	選必	1
		生理解剖学Ⅱ	選必	1
		生体情報伝達学	選必	1
		微生物学	選必	1
		免疫学	選必	1
		分子細胞生物学Ⅰ	選必	1
		分子細胞生物学Ⅱ	選必	1
	細胞生物学	選必	1	
	衛生系	環境衛生学	選必	1
		公衆衛生学	選必	1
		毒性学	選必	1
		食品衛生学	選必	1
		保健衛生学	選必	1
	医療系	薬理学Ⅰ	選必	1
		薬理学Ⅱ	選必	1
化学療法論		選必	1	
精神神経疾患治療学		選必	1	
循環器疾患治療学		選必	1	

	消化器・血液疾患治療学	選必	1
	感染症治療学	選必	1
	内分泌・代謝性疾患治療学	選必	1
	免疫疾患治療学	選必	1
	腎・生殖器疾患治療学	選必	1
	悪性腫瘍治療学・緩和医療	選必	1
	病態生化学	選必	1
	病態生理学	選必	1
	物理薬剤学	選必	1
	生物薬剤学	選必	1
	薬物動態学	選必	1
	統計学	選必	1
	臨床薬物動態学	選必	1
	製剤学	選必	1
	漢方処方学	選必	1
	臨床栄養学	選必	1
	放射線生物学	選必	1
	社会薬学	選必	1
	医薬品情報学	選必	1
	薬事関連法規	選必	1
	セルフメディケーション論	選必	1
	症候学	選必	1
	医薬品開発論	選必	1
実習・演習	早期体験学習	必	3
	基盤実習	必	3
	化学系薬学実習	必	3
	生物・衛生系薬学実習	必	3
	医療系薬学実習	必	3
	プレファーマシー実習	必	4
	フィジカルアセスメント実習	必	1
	薬学臨床実習	必	20
	基盤演習Ⅰ(物理・化学計算)	必	1.5
	基盤演習Ⅱ(生物学)	必	1.5
	基盤演習Ⅲ(化学)	必	1.5
	物理・化学系薬学演習	必	2
	生物・薬理系薬学演習	必	2
	衛生・医療系薬学演習	必	2
	実践薬学	必	5
	DI演習	必	1.5

		薬学臨床実習事後演習	必	2
		総合薬学演習	必	5
	薬学研究 I		必	4
	薬学研究 II		必	5
基礎科目	外国語	文章表現法	選	1.5
		英語 I a	選	1.5
		英語 I b	選	1.5
		英語 I C	選	1.5
		英語 I d	選	1.5
		英語 II a	選	1.5
		英語 II b	選	1.5
		薬学英语	必	1.5
		医療英会話	必	1.5
		海外語学研修	選	2
	体育	スポーツ科学	選	1.5
	外国人留学生対象科目	日本事情F I	選	2
		日本事情F II	選	2
		日本語読解F I	選	1
		日本語読解F II	選	1
		日本語文法F I	選	1
		日本語文法F II	選	1
		日本語表現作文F I	選	1
		日本語表現作文F II	選	1
		日本語総合F I	選	1
		日本語総合F II	選	1
		専門日本語F I	選	1
		専門日本語F II	選	1
		日本語会話F I	選	1
		日本語会話F II	選	1
	帰国学生対象科目	日本事情R I	選	2
		日本事情R II	選	2
日本語読解R		選	1	
日本語文法R		選	1	
日本語表現作文R		選	1	
日本語総合R		選	1	
専門日本語R		選	1	
日本語会話R		選	1	
教養科目	人文系	コミュニケーション論	選	1.5
		心理学	選	1.5

	哲学	選	1.5
	文学	選	1.5
	臨床心理学	必	1.5
	発達心理学	必	1.5
社会系	ボランティア活動論	選	1.5
	日本国憲法	選	1.5
	法学入門	選	1.5
	経済学	選	1.5
	女性学	選	1.5
	教育学	選	1.5
	観光学	選	1.5
自然系	生命倫理学	必	1.5
	数学	必	1.5
	論理学	選	1.5
地域志向系	地域と私	選	2
	北河内を知る	選	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	選	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	選	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	選	2
	地域貢献実践演習	選	2
教養特別	教養特別講義 I	選	2
	教養特別講義 II	選	2
	教養特別講義 III	選	2
	教養特別講義 IV	選	2
	教養特別講義 V	選	2
キャリア形成科目	スタートアップゼミ	必	1
	キャリア形成 I	必	2
	キャリア形成 II	選必	2
	キャリア形成 III	選必	2
	キャリア形成 IV	必	2
	患者安全	必	2
	患者コミュニケーション	必	2
	カルテ読解演習	必	3
	セルフメディケーション演習	必	1.5
	クリニカルパス演習	必	1.5
	グローバルコミュニケーション(中国語)	選必	1.5
	グローバルコミュニケーション(韓国語)	選必	1.5
	グローバルコミュニケーション(スペイン語)	選必	1.5
	グローバルコミュニケーション(インドネシア語)	選必	1.5

	天然薬用資源学	選	1.5
	薬事・衛生行政	選	1.5
	医療経済学	選	1.5
	応用薬学実習	選	1.5
	医薬品開発演習	選	1.5
	薬局経営	選	1.5
	アドバンスト臨床薬学	選	1.5

備考

1 卒業に必要な単位数

区分			計
専門科目	必修科目	74.5単位	129.5単位以上
	選択必修科目	55単位以上	
基礎科目	必修科目	3単位	13.5単位以上
	選択科目	10.5単位以上	
教養科目	必修科目	6単位	18単位以上
	選択科目	12単位以上	
キャリア形成科目	必修科目	15単位	26単位以上
	選択必修科目	5単位以上	
	選択科目	6単位以上	
計			187単位以上

- 2 「必」の授業科目は必修科目、「選必」の授業科目は選択必修科目、「選」の授業科目は選択科目を示す。
- 3 専門科目の「総合薬学演習」には、最終試験を含む。

5 法学部

法律学科

区分	分野	授業科目	単位数	コース別履修区分			
				法学 特修	企業 法務	地域 政策	スポーツ 法政策
専門科目	基礎法学	法学概論	2	○	○	○	○
		法哲学総論	2	□	□	□	□
		法哲学各論	2	□	□	□	□
		法思想史	2	□			□
		法社会学	2	□		□	
		近世日本の法文化	2	□			
		日本の人権の歴史	2	□		□	□
		家族と地域の法社会史	2			□	□
		日本女性史	2		□	□	
		祭りと地域の法社会史	2			□	
		西洋の人権の歴史	2	□		□	□
		西洋の裁判の歴史	2	□			
		西洋女性史	2			□	
		英米法	2		□		
	憲法・行政法	憲法概論	2	□	□	□	□
		憲法Ⅰ(基本的人権)	2	□	□		
		憲法Ⅱ(統治機構)	2	□	□		
		行政法総論	2	□	□	□	□
		行政法各論	2	□	□	□	□
		地方自治法	2	□	□	□	□
		租税法Ⅰ	2	□	□	□	
		租税法Ⅱ	2	□	□	□	
	刑事法	刑事法概論	2	□	□	□	□
		刑法総論	2	□	□	□	□
		刑法各論	2	□	□	□	□
		経済刑法	2	□	□		
		刑事政策	2	□		□	□
		現代社会と刑事法	2	□		□	□
		刑事訴訟法	2	□	□	□	
	民事法	民事法概論	2	□	□	□	□
		民法総則	2	□	□	□	□
		法人法概説	2	□	□	□	
		物権法	2	□	□		
不動産取引法		2	□	□			

	債権総論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	債権各論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	不法行為法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	親族法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	相続法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	消費者と法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際私法総論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	国際私法各論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
	民事訴訟法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	倒産法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	民事保全・執行法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
商事法・経済法	商法総論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	会社法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	有価証券法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	独占禁止法	2		<input type="checkbox"/>		
	金融商品取引法	2		<input type="checkbox"/>		
	保険法	2		<input type="checkbox"/>		
	知的財産法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	国際取引法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
社会法	労働保護法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	労働組合法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	社会保障法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	環境法	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
国際法	国際社会と法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際法の基礎理論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際人権法	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際組織法	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
政治学・国際政治	政治学概論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	世界の政治と社会	2			<input type="checkbox"/>	
	近代日本政治史	2			<input type="checkbox"/>	
	日本外交史	2			<input type="checkbox"/>	
	西洋政治思想史	2			<input type="checkbox"/>	
	国際関係史	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際関係論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	グローバル社会論	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	日本政治論	2			<input type="checkbox"/>	
	市民社会論	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
政治過程論	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
行政学・政策	公共政策の基礎	2	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

学・政策実務	行政学	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	政治と政策	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地方自治論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域防犯政策	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	住民協働論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	福祉政策論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	国際ボランティア論	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	金融論	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	財政学	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	地方財政論	2			<input type="checkbox"/>	
	法情報学	2				
	裁判制度特別講義	2				
	地域調査入門	2			<input type="checkbox"/>	
言語	法学部生のための日本語	2				<input type="checkbox"/>
	法律英語	2	<input type="checkbox"/>			
スポーツ法政策	スポーツと法律	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	スポーツ文化論	2				<input type="checkbox"/>
	地域とスポーツ	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	スポーツマネジメント	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	グローバル社会とスポーツ	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法律学特修特別講義	実定法特別講義Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>			
	実定法特別講義Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>			
	実定法上級講義	2	<input type="checkbox"/>			
	憲法応用講義	2	<input type="checkbox"/>			
	行政法応用講義	2	<input type="checkbox"/>			
	民法応用講義Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	民法応用講義Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	商法応用講義	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	民事訴訟法応用講義	2	<input type="checkbox"/>			
	刑法応用講義Ⅰ	2	<input type="checkbox"/>			
	刑法応用講義Ⅱ	2	<input type="checkbox"/>			
刑事訴訟法応用講義	2	<input type="checkbox"/>				
企業法務特別講義	企業法務特別講義Ⅰ(金融法実務)	2		<input type="checkbox"/>		
	企業法務特別講義Ⅱ(貿易実務)	2		<input type="checkbox"/>		
	企業法務特別講義Ⅲ(不動産取引実務)	2		<input type="checkbox"/>		
地域政策特別講義	ボランティアと法律	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域政策応用講義Ⅰ(警察行政)	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域政策応用講義Ⅱ(地方政策論)	2			<input type="checkbox"/>	
	地域政策応用講義Ⅲ(地方財政論)	2			<input type="checkbox"/>	

	スポーツ法政策 特別講義	スポーツ政策論	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		スポーツビジネスと法	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		フィットネストレーニングの理論と実際	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		ヘルスエクササイズの理論と実際	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		スポーツ医学の理論と実際	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		体力測定とスポーツ相談	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	外国人留学生対 象科目	日本の法事情F I	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		日本の法事情F II	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		日本の法事情F III	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		日本の法事情F IV	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		日本の法事情F V	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		日本の法事情F VI	2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	専門キャリア特 別講義	法政キャリア特別講義 I	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		法政キャリア特別講義 II	2					
		法政キャリア特別講義 III	2					
		法政キャリア特別講義 IV	2					
		法政キャリア特別講義 V	2					
		法政キャリア特別講義 VI	2					
		法政キャリア特別講義 VII	2					
	演習・卒業研究	法学基礎演習 I	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		法学基礎演習 II	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		プレ専門演習	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		専門演習 I	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		専門演習 II	4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		卒業研究	4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	教養科目	人文科学系	文学から学ぶ	2				
			心理学 I	2				
心理学 II			2					
哲学 I			2					
哲学 II			2					
日本の歴史			2					
世界の歴史			2					
人文地理学			2					
地誌学			2					
国語学			2					
社会科学系			経済学入門	2				
		教養経済学	2					
		経営学入門	2					
		会計学	2					

	社会学 I	2
	社会学 II	2
	社会調査の方法	2
自然・科学技術系	教養数学	2
	教養物理	2
	教養化学	2
	教養生物	2
	自然地理学	2
英語系	基礎英語 I a	①
	基礎英語 I b	①
	基礎英語 II a	①
	基礎英語 II b	①
	実践英語 I b	1
	実践英語 II b	1
	英会話 I	1
	英会話 II	1
	時事英語 I	1
	時事英語 II	1
外国語系	海外語学研修	2
	教養中国語 I	1
	教養中国語 II	1
日本語系	日本語表現 I	1
	日本語表現 II	1
	コミュニケーション I	1
数理・情報系	情報リテラシー I	①
	情報リテラシー II	1
	応用情報処理	2
キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	①
	キャリアデザイン II	①
	キャリアデザイン III	1
	エンプロイメントデザイン I	1
	エンプロイメントデザイン II	1
	インターンシップ	2
	ビジネス実務	2
スポーツ系	スポーツ科学概論	2
	スポーツ科学実習 I a	1
	スポーツ科学実習 I b	1
	スポーツ科学実習 II a	1
	スポーツ科学実習 II b	

	◎スポーツ指導者入門	2
	◎スポーツトレーニングの基礎	2
	◎発育発達論	2
	◎スポーツ心理学	2
	◎スポーツ栄養学	2
	◎スポーツ医学の基礎	2
	◎スポーツの歴史	2
	◎スポーツ教育学	2
	◎スポーツプログラミング	2
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクト I	2
	摂南大学PBLプロジェクト II	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	数的能力開発 I	Ⅱ
	数的能力開発 II	Ⅱ
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義 I	2
	教養特別講義 II	2
	教養特別講義 III	2
	教養特別講義 IV	2
	教養特別講義 V	2
外国人留学生対象科目	日本事情F I	2
	日本事情F II	2
	日本語読解F I	1
	日本語読解F II	1
	日本語文法F I	1
	日本語文法F II	1
	日本語表現作文F I	1
	日本語表現作文F II	1
	日本語総合F I	1
	日本語総合F II	1
	専門日本語F I	1
	専門日本語F II	1
	日本語会話F I	1
	日本語会話F II	1

		日本語会話FIII	1
		日本語会話FIV	1
		日本語会話FV	1
		日本語会話FVI	1
		日本語会話FVII	1
		日本語会話FVIII	1
	帰国学生対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分		法律学特修 コース	企業法務 コース	地域政策 コース	スポーツ法 政策コース
専門科目	必修科目	18単位			
	選択必修科目	44単位以上	40単位以上	40単位以上	38単位以上
	選択科目	24単位以上	28単位以上	28単位以上	30単位以上
	合計	86単位以上			
教養科目	必修科目	7単位			
	選択必修科目	英語系、スポーツ系または数理・情報系	2単位以上		
		日本語系、キャリアデザイン系または共通基礎系	3単位以上		
	選択科目	人文科学系	6単位以上		
		社会科学系	6単位以上		
		自然・科学技術系 スポーツ系(科目名称の前に◎を付した科目)	6単位以上 ただし自然・科学技術系2単位以上を含む		
		小計(上記4系統を含む)	26単位以上		
	合計	38単位以上			
総計	124単位以上				

2 専門科目のコース別履修区分の表示において、○は必修科目、□は選択必修科目、その他は

選択科目を示す。また、教養科目の単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

- 3 各コースの所定単位数を超えて修得した専門科目の選択必修科目の単位数は、専門科目の選択科目の単位数として算入する。
- 4 教養科目の選択必修科目の修得単位数のうち、英語系または数理・情報系の所定の単位数を超えて修得した単位数は、選択科目(人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、スポーツ系を除く)の修得単位数として算入することができる。

6 経済学部
経済学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	基礎科目群	経済学入門(エコノミックリテラシー)	②
		地域経済入門	②
		観光学入門	②
		国際経済学入門	②
		会計学入門	2
		日本経済史	2
		日本経済論	2
		経営学	2
		経済地理	2
		ミクロ経済学Ⅰ	②
		ミクロ経済学Ⅱ	2
		マクロ経済学Ⅰ	②
		マクロ経済学Ⅱ	2
		社会経済学Ⅰ	②
		社会経済学Ⅱ	2
		統計学	②
		統計学演習	2
		経済データサイエンス入門	2
		労働経済学	2
		経済思想史	2
		世界経済史	2
		簿記原理Ⅰ	2
		簿記原理Ⅱ	2
		財政学	2
		金融論	2
	ゲーム理論	2	
	計量経済学	2	
	管理会計	2	
	地域経済群	◎公共政策論	2
		◎関西経済論	2
		◎地方財政論	2
		地域金融論	2
		文化政策論	2
地方自治論		2	
地域保健医療		2	
日本産業史		2	

	中小企業論	2
	地域経済実践演習	2
観光経済群	◇観光経済論	2
	◇観光人材論	2
	◇観光マーケティング論	2
	観光産業政策論	2
	観光資源論	2
	観光ビジネス英語	2
	航空産業論	2
	レジャー産業論	2
	宿泊産業論	2
	観光経済実践演習	2
	国際経済群	△貿易論
△国際投資論		2
△開発経済学		2
国際協力論		2
国際経済の新動向		2
地域統合論		2
農業・資源経済学		2
国際金融論		2
グローバルマーケティング		2
国際経済実践演習		2
アドバンスト科目群		摂南経済ゲストレクチャー
	地球環境経済	2
	産業組織論	2
	ファイナンシャル・プランニング	2
	現代ファイナンス論	2
	交通経済論	2
	サービス産業論	2
	公共経済学	2
	公益会計論	2
	社会保障論	2
	世界観光事情	2
	民法	2
	商法	2
	会社法	2
	行政法	2
	労働法	2
	経済学特別講義 I	2

		経済学特別講義Ⅱ	2
		経済学特別講義Ⅲ	2
	演習・卒業研究	基礎演習	④
		専門演習Ⅰ	④
		専門演習Ⅱ	④
		卒業研究	④
教養科目	人文科学系	心理学Ⅰ	2
		心理学Ⅱ	2
		哲学Ⅰ	2
		哲学Ⅱ	2
		日本の歴史	2
		世界の歴史	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
	社会科学系	社会学	2
		法学入門	2
		日本国憲法	2
		日本の政治	2
		世界の政治	2
	自然・科学技術系	自然地理学	2
		教養生物	2
		公衆衛生学	2
		科学技術教養	2
	英語系	基礎英語Ⅰa	1
		基礎英語Ⅱa	1
		実践英語Ⅰa	1
		実践英語Ⅱa	1
		ビジネスイングリッシュⅠ	1
		ビジネスイングリッシュⅡ	1
		英語基礎会話Ⅰ	①
		英語基礎会話Ⅱ	①
	外国語系	海外語学研修	2
	日本語系	日本語表現Ⅰ	1
		日本語表現Ⅱ	1
	数理・情報系	数学基礎Ⅰ	1
		数学基礎Ⅱ	1
		情報リテラシーⅠ	①
		情報リテラシーⅡ	①
	キャリアデザイン系	キャリアデザインⅠ	①

	キャリアデザインⅡ	1
	キャリアデザインⅢ	1
	エンプロイメントデザインⅠ	1
	エンプロイメントデザインⅡ	1
	インターンシップ	2
	ビジネス実務	2
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1
	スポーツ科学実習Ⅱ	1
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通基礎系	大学教養入門	2
	大学教養実践	2
	数的能力開発Ⅰ	1
	就職実践基礎	1
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	2
	日本事情RⅡ	2

	日本語読解R	1
	日本語文法R	1
	日本語表現作文R	1
	日本語総合R	1
	専門日本語R	1
	日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分		必修科目	選択必修科目	選択科目	計
専門科目		38単位	8単位以上	40単位以上	86単位以上
教養科目	英語系、外国語系、日本語系、数理・情報系、スポーツ系	4単位	—	8単位以上	12単位以上
	人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、教養特別系	—	—	22単位以上	22単位以上
	キャリアデザイン系、共通基礎系	1単位	—	3単位以上	4単位以上
計		43単位	8単位以上	73単位以上	124単位以上

2 専門科目のうち、授業科目の前に◎を付した科目は「地域経済コース」を選択した者の必修科目、◇を付した科目は「観光経済コース」を選択した者の必修科目、△を付した科目は「国際経済コース」を選択した者の必修科目とする。

3 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。

7 看護学部
看護学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	専門基礎	人体の構造と機能Ⅰ	①
		人体の構造と機能Ⅱ	①
		人体の構造と機能Ⅲ	①
		代謝栄養学	①
		病理学総論	①
		感染と防御	①
		薬理学総論	①
		薬物治療学	①
		病院薬学演習	①
		カウンセリング論	2
		疾病・治療論Ⅰ	①
		疾病・治療論Ⅱ	①
		疾病・治療論Ⅲ	①
		疾病・治療論Ⅳ	①
		疾病・治療論Ⅴ	①
		疾病・治療論Ⅵ	①
		疫学	①
		保健医療福祉行政論	②
		公衆衛生学	①
		家族看護学	①
		医療経済論	2
		看護関係法規	①
		社会福祉論	1
	基礎看護学	看護学概論	②
		看護対人関係論	①
		基礎看護技術Ⅰ	②
		基礎看護技術Ⅱ	②
		フィジカルアセスメント	①
		看護過程論	①
		看護管理学	①
		基礎看護学実習Ⅰ	①
		基礎看護学実習Ⅱ	②
	成人看護学	成人看護学概論	②
		成人看護学援助論Ⅰ(急性)	①
		成人看護学援助論Ⅰ(慢性)	①
		成人看護学援助論Ⅱ(急性)	①

	成人看護学援助論Ⅱ(慢性)	①
	成人看護学実習(急性)	③
	成人看護学実習(慢性)	③
老年看護学	老年看護学概論	①
	老年看護学援助論Ⅰ	①
	老年看護学援助論Ⅱ	①
	老年看護学実習Ⅰ	①
	老年看護学実習Ⅱ	①
	老年看護学実習Ⅲ	②
小児看護学	小児看護学概論	①
	小児看護学援助論Ⅰ	①
	小児看護学援助論Ⅱ	①
	小児看護学実習	②
母性看護学	母性看護学概論	①
	母性看護学援助論Ⅰ	①
	母性看護学援助論Ⅱ	①
	母性看護学実習	②
精神看護学	精神看護学概論	①
	精神看護学援助論Ⅰ	①
	精神看護学援助論Ⅱ	①
	精神看護学実習	②
在宅看護学	在宅看護学概論	①
	在宅看護学援助論Ⅰ	②
	在宅看護学援助論Ⅱ	①
	在宅看護学実習	②
看護の統合と	公衆衛生看護学概論	②
	看護倫理	①
	看護教育学	1
	国際看護学	1
	海外医療セミナー	1
	災害看護論	1
	看護の探求	1
	看護研究Ⅰ	②
	看護研究Ⅱ	②
	総合看護学演習	①
	統合看護学実習	②
公衆衛生看護学(保健師課程)	学校保健	1
	産業保健	1
	保健統計学	1

		公衆衛生看護学活動論 I	2
		公衆衛生看護学活動論 II	2
		公衆衛生看護学演習 I	1
		公衆衛生看護学演習 II	1
		公衆衛生看護学実習 I	1
		公衆衛生看護学実習 II	3
	助産学((助産師課程)	周産期医学	1
		助産学概論	2
		助産診断・技術学 I	2
		助産診断・技術学 II	2
		助産診断・技術学 III	2
		助産技術学演習 I	1
		助産技術学演習 II	1
		助産管理論	1
		助産学実習	11
教養科目	人文科学系	倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		生命倫理	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2
		心理学	2
		文化人類学	2
		教育学	2
	社会科学系	ボランティア活動論	2
		経済学入門	2
		日本の政治	2
		法学入門	2
		経営学入門	2
		女性学	2
		観光学	2
		日本国憲法	2
		自然・科学技術系	生物・化学の基礎
	教養数学		2
	生物と環境		2
	地学		2
	地学実験		2
	英語系	英語 I	①
		英語 II	①

	英語Ⅲ	①
	英語Ⅳ	1
	英語Ⅴ	1
外国語系	中国語	1
	韓国語	1
日本語系	日本語表現法	①
数理・情報系	情報リテラシーⅠ	①
	情報リテラシーⅡ	1
	統計の基礎	①
キャリアデザイン系	キャリアデザイン	①
	キャリア入門	①
	患者安全	①
	患者コミュニケーション	①
	臨床医療演習	1
	先端医療演習	1
	地域医療実践演習	1
スポーツ系	スポーツ科学Ⅰ	①
	スポーツ科学Ⅱ	1
地域志向系	地域と私	2
	北河内を知る	2
	ソーシャル・イノベーション実務総論	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2
	地域貢献実践演習	2
共通 基礎系	大学教養入門	②
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
	教養特別講義Ⅱ	2
	教養特別講義Ⅲ	2
	教養特別講義Ⅳ	2
	教養特別講義Ⅴ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1

		日本語総合F II	1
		専門日本語F I	1
		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
	帰国学生対象	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	84単位	7単位以上 (専門基礎から3単位以上を含む)	91単位以上
教養科目	13単位	23単位以上 (人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系から、各系2単位以上を含む16単位以上。英語系、外国語系、数理・情報系、スポーツ系から3単位以上。キャリアデザイン系から2単位以上を含む。)	36単位以上
計	97単位	30単位以上	127単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

8 農学部

イ 農業生産学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	共通群	農学概論	②	
		農学基礎演習	①	
		グローバル農業演習	2	
		スマート農業演習	1	
		農業気象学	2	
		森林生態学	2	
		農業知的財産	2	
	専門コア群	基礎系	化学	2
			化学演習	1
			生物学	2
			生物学演習	1
			物理学	2
			生物統計学	2
		農業植物・栽培系	植物遺伝学	2
			作物機能形態学	2
			植物生理学	2
			植物育種学	②
			作物学	②
			野菜花卉園芸学	②
			植物育種方法論	2
			資源作物学	2
			果樹園芸学	2
			耕地生態学	2
			施設園芸学	2
		農業生物・環境系	植物病理学	②
			応用昆虫学	②
			土壌学	②
			植物感染機構学	2
	昆虫生理生態学		2	
	植物無機栄養学		2	
	多様性生物学		2	
	土壌微生物学		2	
	植物病害管理学		2	
害虫防除論	2			
雑草管理学	2			
実験・実習系	化学実験	②		

		生物学実験	②
		物理学実験	2
		農場実習	1
		農業生産学基礎実験 I	②
		農業生産学基礎実験 II	②
		農業生産学専門実験	②
		農業生産学実習 I	②
		農業生産学実習 II	②
専門総合群	応用生物系	分子からみた植物の働き	2
		ゲノムと生命	2
		生物の多様性と進化	2
		動物とくらし	2
		微生物とくらし	2
		海洋生物とくらし	2
	食品栄養系	食品学入門	2
		食品の安全性	2
		旬の食材と薬膳	2
		栄養とスポーツ	2
		栄養と健康	2
		病気の予防と食生活	2
	食農ビジネス系	食と農の倫理を学ぶ	2
		食と農の経済を学ぶ	2
		食と農の共生を考える	2
		フードシステムを学ぶ	2
		農業の多様性を学ぶ	2
		食と農の歴史を学ぶ	2
	ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	①
		農業生産学研究	①
		卒業研究	⑥
教養科目	共通系	大学教養入門	②
	語学系	日本語表現法	1
		基礎英語 I a	1
		基礎英語 I b	1
		基礎英語 II a	1
		基礎英語 II b	1
		実践英語 I	1
		実践英語 II	1
		英語基礎会話a	1
		英語基礎会話b	1

	中国語Ⅰ	1
	中国語Ⅱ	1
	海外語学研修	2
情報系	情報リテラシーⅠ	①
	情報リテラシーⅡ	1
体育系	スポーツ科学Ⅰ	1
	スポーツ科学Ⅱ	1
人文系	心理学	2
	倫理学	2
	哲学から学ぶ	2
	地誌学	2
	人文地理学	2
	文学から学ぶ	2
	文化人類学	2
	女性学	2
社会系	ボランティア活動論	2
	経済学入門	2
	日本の政治	2
	法学入門	2
	経営学入門	2
	観光学	2
	日本国憲法	2
自然系	教養数学	2
	生命倫理	②
	生物と環境	2
	地学	2
	地学実験	2
キャリア系	キャリアデザインⅠ	①
	キャリアデザインⅡ	1
	数的能力開発	1
	インターンシップ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1

		日本語総合F I	1
		日本語総合F II	1
		専門日本語F I	1
		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
	帰国学生対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	37単位	61単位以上 ①専門コア群30単位以上(基礎系6単位以上、農業植物・栽培系および農業生物・環境系から24単位以上を含む) ②専門総合群20単位以上(各系から4単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	6単位	20単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	43単位	81単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ロ 応用生物科学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	共通群	農学概論	②
		農学基礎演習	①
		グローバル農業演習	2
		スマート農業演習	1
		農業気象学	2
		森林生態学	2
		農業知的財産	2
専門コア群	基礎系	化学	2
		化学演習	1

		生物学	2
		生物学演習	1
		物理学	2
		生物統計学	2
	植物系	バイオテクノロジー	②
		生物系統学	2
		ゲノム分子生物学	②
		植物遺伝子工学	②
		ゲノム機能学	2
		植物分子生理学	2
		細胞生物学	②
	微生物系	生化学	②
		応用微生物学	②
		生態学	②
		微生物工学	2
		共生ウイルス学	②
		植物共生微生物学	2
	動物・海洋生物系	産業動物学	②
		動物機能科学	②
		生体防御学	2
		生物情報学	2
		バイオインフォマティクス演習	2
		海洋動物学	②
		海洋生物機能学	2
		海洋生物化学	2
		水圏生物利用学	2
		応用藻類学	2
	実験・実習系	化学実験	②
		生物学実験	②
		物理学実験	2
		応用生物科学基礎実験Ⅰ	②
		応用生物科学基礎実験Ⅱ	②
		応用生物科学専門実験Ⅰ	②
		応用生物科学専門実験Ⅱ	②
専門総合群	農業生産系	園芸の技術	2
		植物の病気	2
		植物の改良	2
		昆虫とくらし	2
		作物とエネルギー生産	2

		生きている土壌	2
	食品栄養系	食品学入門	2
		食品の安全性	2
		旬の食材と薬膳	2
		栄養とスポーツ	2
		栄養と健康	2
		病気の予防と食生活	2
	食農ビジネス系	食と農の倫理を学ぶ	2
		食と農の経済を学ぶ	2
		食と農の共生を考える	2
		フードシステムを学ぶ	2
		農業の多様性を学ぶ	2
		食と農の歴史を学ぶ	2
	ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	①
		応用生物科学研究	①
		卒業研究	⑥
教養科目	共通系	大学教養入門	②
	語学系	日本語表現法	1
		基礎英語 I a	1
		基礎英語 I b	1
		基礎英語 II a	1
		基礎英語 II b	1
		実践英語 I	1
		実践英語 II	1
		英語基礎会話a	1
		英語基礎会話b	1
		中国語 I	1
		中国語 II	1
		海外語学研修	2
		情報系	情報リテラシー I
	情報リテラシー II		1
	体育系	スポーツ科学 I	1
		スポーツ科学 II	1
	人文系	心理学	2
		倫理学	2
		哲学から学ぶ	2
		地誌学	2
		人文地理学	2
		文学から学ぶ	2

	文化人類学	2
	女性学	2
社会系	ボランティア活動論	2
	経済学入門	2
	日本の政治	2
	法学入門	2
	経営学入門	2
	観光学	2
	日本国憲法	2
	自然系	教養数学
生命倫理		②
生物と環境		2
地学		2
地学実験		2
キャリア系	キャリアデザインⅠ	①
	キャリアデザインⅡ	1
	数的能力開発	1
	インターンシップ	2
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1
	日本語表現作文FⅠ	1
	日本語表現作文FⅡ	1
	日本語総合FⅠ	1
	日本語総合FⅡ	1
	専門日本語FⅠ	1
	専門日本語FⅡ	1
	日本語会話FⅠ	1
	日本語会話FⅡ	1
	帰国学生対象科目	日本事情RⅠ
日本事情RⅡ		2
日本語読解R		1
日本語文法R		1
日本語表現作文R		1
日本語総合R		1
専門日本語R		1

	日本語会話R	1
--	--------	---

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	45単位	53単位以上 ①専門コア群22単位以上(基礎系6単位以上、植物系、微生物系および動物・海洋生物系から16単位以上を含む) ②専門総合群20単位以上(各系から4単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	6単位	20単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	51単位	73単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ハ 食品栄養学科

区分		授業科目	単位数	
専門科目	共通群	農学概論	②	
		農学基礎演習	①	
		グローバル農業演習	2	
		スマート農業演習	1	
		農業気象学	2	
		森林生態学	2	
		農業知的財産	2	
	専門コア群	基礎系	生物学	②
			生物学演習	1
			化学	②
			化学演習	1
		社会・環境と健康	公衆衛生学	②
			健康管理概論	②
			医療福祉論	2
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学	②
			臨床医学概論	2
			生化学	②
			微生物学	②
			分子生物学	2
			臨床病態学	2
運動生理学	②			
薬理学	2			

	解剖生理学実習	①
	生化学実験	①
	微生物学実験	1
食べ物と健康	食品学総論	②
	食品学各論	②
	食品衛生学	②
	食品加工学	2
	調理学	②
	食品学実験 I	①
	食品学実験 II	①
	食品衛生学実験	①
	食品加工学実習	1
	調理学実習 I	①
	調理学実習 II	①
	調理学実習 III	1
基礎栄養学	基礎栄養学	②
	基礎栄養学実習	①
応用栄養学	応用栄養学 I	②
	応用栄養学 II	②
	応用栄養学 III	2
	応用栄養学実習	①
栄養教育論	栄養教育論 I	②
	栄養教育論 II	②
	栄養教育論 III	2
	栄養教育論実習	①
臨床栄養学	臨床栄養学 I	②
	臨床栄養学 II	2
	臨床栄養学 III	2
	臨床栄養学 IV	2
	栄養薬理学	2
	臨床栄養学実習 I	①
	臨床栄養学実習 II	1
	臨床栄養学実習 III	1
公衆栄養学	公衆栄養学 I	②
	公衆栄養学 II	2
	公衆栄養学実習	①
給食経営管理論	給食経営管理論 I	②
	給食経営管理論 II	2
	給食経営管理実習	①

	総合演習	臨地実習指導(演習)	1	
		管理栄養士総合演習	1	
		臨地実習	給食運営実習(校外)	①
			臨地実習Ⅰ(給食経営管理論)	1
			臨地実習Ⅱ(公衆栄養学)	1
			臨地実習Ⅲ(臨床栄養学)	2
	臨地実習Ⅳ(臨床栄養学)		3	
	専門総合群	農業生産系	園芸の技術	2
			植物の病気	2
			植物の改良	2
			昆虫とくらし	2
			作物とエネルギー生産	2
			生きている土壌	2
		応用生物系	分子からみた植物の働き	2
			ゲノムと生命	2
			生物の多様性と進化	2
			動物とくらし	2
			微生物とくらし	2
			海洋生物とくらし	2
		食農ビジネス系	食と農の倫理を学ぶ	2
			食と農の経済を学ぶ	2
			食と農の共生を考える	2
			フードシステムを学ぶ	2
			農業の多様性を学ぶ	2
			食と農の歴史を学ぶ	2
		ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	①
			食品栄養学研究	1
卒業研究			⑥	
教養科目	共通系	大学教養入門	②	
	語学系	日本語表現法	1	
		基礎英語Ⅰa	1	
		基礎英語Ⅰb	1	
		基礎英語Ⅱa	1	
		基礎英語Ⅱb	1	
		実践英語Ⅰ	1	
		実践英語Ⅱ	1	
		英語基礎会話a	1	
		英語基礎会話b	1	
		中国語Ⅰ	1	

	中国語Ⅱ	1
	海外語学研修	2
情報系	情報リテラシーⅠ	①
	情報リテラシーⅡ	1
体育系	スポーツ科学Ⅰ	1
	スポーツ科学Ⅱ	1
人文系	心理学	2
	倫理学	2
	哲学から学ぶ	2
	地誌学	2
	人文地理学	2
	文学から学ぶ	2
	文化人類学	2
	女性学	2
社会系	ボランティア活動論	2
	経済学入門	2
	日本の政治	2
	法学入門	2
	経営学入門	2
	観光学	2
	日本国憲法	2
自然系	教養数学	2
	生命倫理	②
	生物と環境	2
	地学	2
	地学実験	2
キャリア系	キャリアデザインⅠ	①
	キャリアデザインⅡ	1
	数的能力開発	1
	インターンシップ	2
	臨床医療演習	1
	臨床医療実践演習	1
	セルフメディケーション演習	1
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	2
	日本事情FⅡ	2
	日本語読解FⅠ	1
	日本語読解FⅡ	1
	日本語文法FⅠ	1
	日本語文法FⅡ	1

		日本語表現作文F I	1
		日本語表現作文F II	1
		日本語総合F I	1
		日本語総合F II	1
		専門日本語F I	1
		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
	帰国学生対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	64単位	34単位以上 ①専門コア群16単位以上 ②専門総合群12単位以上(各系から4単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	6単位	20単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	70単位	54単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、他は選択科目を示す。

ニ 食農ビジネス学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	共通群	農学概論	②
		農学基礎演習	①
		グローバル農業演習	2
		スマート農業演習	1
		農業気象学	2
		森林生態学	2
		農業知的財産	2
専門コア群	基礎系	食農ビジネス学概論	②

	食と農の倫理	②
	基礎経済学	②
	アグロ・エコロジー論	②
	基礎統計学	②
	食と農の近現代史	②
	ミクロ経済学	②
	マクロ経済学	②
	農業簿記・会計学	2
	社会調査論	2
	食農ビジネス最前線	2
農業経済・経営・政策系	農業経営学	②
	食料・農業経済学	②
	食料・農業・農村政策論	②
	農業経営管理論	②
	農村社会学	2
	6次産業経営論	2
	地域マネジメント論	2
	食農ビジネス実践論	◇
食品産業・流通系	フードシステム論	②
	食品産業論	②
	食料・農業市場論	②
	農畜産物流通論	2
	水産物流通論	2
	農水産物マーケティング論	2
	食品表示・認証論	2
	女性起業論	2
	食品産業経営戦略論	◇
食農共生・循環型農業系	食農共生論	②
	循環型農業論	②
	食農教育論	③
	協同組合論	2
	都市農業論	2
	非営利協同論	2
	有機農業論	◇
	農村コミュニティビジネス論	◇
国際農業系	比較農業論	②
	国際農業論	2
	農業開発論	2
	現代韓国農業論	2

	専門総合群	農業生産系	現代中国農業論	2
			園芸の技術	2
			植物の病気	2
			植物の改良	2
			昆虫とくらし	2
			作物とエネルギー生産	2
		生きている土壌	2	
		応用生物学	分子からみた植物の働き	2
			ゲノムと生命	2
			生物の多様化と進化	2
			動物とくらし	2
			微生物とくらし	2
			海洋生物とくらし	2
		食品栄養系	食品学入門	2
			食品の安全性	2
			旬の食材と薬膳	2
			栄養とスポーツ	2
			栄養と健康	2
			病気の予防と食生活	2
		ゼミ・卒業研究	基礎ゼミナール	①
			食農ビジネス学基礎演習Ⅰ	②
			食農ビジネス学基礎演習Ⅱ	②
			食農ビジネス学基礎演習Ⅲ	②
			食農ビジネス学研究Ⅰ	②
			食農ビジネス学研究Ⅱ	②
			卒業研究	⑥
		教養科目	共通系	大学教養入門
語学系	日本語表現法		1	
	基礎英語Ⅰa		1	
	基礎英語Ⅰb		1	
	基礎英語Ⅱa		1	
	基礎英語Ⅱb		1	
	実践英語Ⅰ		1	
	実践英語Ⅱ		1	
	英語基礎会話a		1	
	英語基礎会話b		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	海外語学研修		2	

情報系	情報リテラシー I	①
	情報リテラシー II	1
体育系	スポーツ科学 I	1
	スポーツ科学 II	1
人文系	心理学	2
	倫理学	2
	哲学から学ぶ	2
	地誌学	2
	人文地理学	2
	文学から学ぶ	2
	文化人類学	2
	女性学	2
社会系	ボランティア活動論	2
	経済学入門	2
	日本の政治	2
	法学入門	2
	経営学入門	2
	観光学	2
	日本国憲法	2
自然系	教養数学	2
	生命倫理	②
	生物と環境	2
	地学	2
	地学実験	2
キャリア系	キャリアデザイン I	①
	キャリアデザイン II	1
	数的能力開発	1
	インターンシップ	2
外国人留学生対象科目	日本事情F I	2
	日本事情F II	2
	日本語読解F I	1
	日本語読解F II	1
	日本語文法F I	1
	日本語文法F II	1
	日本語表現作文F I	1
	日本語表現作文F II	1
	日本語総合F I	1
	日本語総合F II	1
	専門日本語F I	1

		専門日本語F II	1
		日本語会話F I	1
		日本語会話F II	1
	帰国学生対象科目	日本事情R I	2
		日本事情R II	2
		日本語読解R	1
		日本語文法R	1
		日本語表現作文R	1
		日本語総合R	1
		専門日本語R	1
		日本語会話R	1

備考

1 卒業に必要な単位数

区分	必修科目	選択科目	計
専門科目	42単位	56単位以上 ①専門コア群26単位以上(選択必修科目Aから2単位、選択必修科目B科目から10単位以上を含む) ②専門総合群20単位以上(各系から4単位以上を含む)を含む	98単位以上
教養科目	6単位	20単位以上 (語学系6単位以上、人文系2単位以上、社会系2単位以上、自然系2単位以上を含む)	26単位以上
計	48単位	76単位以上	124単位以上

2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、◇で囲んだ授業科目は選択必修科目A、□で囲んだ授業科目は選択必修科目B、他は選択科目を示す。

別表第2 教職課程の設置により開設する授業科目および単位数

授業科目	単位数
職業指導	4
職業指導 I	2
職業指導 II	2
理科教育法 I	2
理科教育法 II	2
理科教育法 III	2
理科教育法 IV	2
工業科教育法 I	2
工業科教育法 II	2
数学科教育法 I	2
数学科教育法 II	2
数学科教育法 III	2
数学科教育法 IV	2
英語科教育法 I	2
英語科教育法 II	2
英語科教育法 III	2
英語科教育法 IV	2
商業科教育法	4
情報科教育法	4
社会科教育法 I (地歴分野)	2
社会科教育法 II (地歴分野)	2
社会科教育法 III (公民分野)	2
社会科教育法 IV (公民分野)	2
農業科教育法 I	2
農業科教育法 II	2
学校栄養指導論 I	2
学校栄養指導論 II	2
教育原理	2
教師論	2
教育経営論	2
教育社会学	2
教育心理学	2
特別支援教育論	2
教育課程論	2
道徳教育論	2
特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	2
教育方法論	2

生徒指導論(進路指導を含む)	2
教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	2
教育実習Ⅰ	1
教育実習Ⅱ	2
教育実習Ⅲ	4
栄養教育実習Ⅰ	1
栄養教育実習Ⅱ	1
教職実践演習(中・高)	2
教職実践演習(栄養教諭)	2
地域連携教育活動Ⅰ	2
地域連携教育活動Ⅱ	2

別表第2の2 教育職員免許状の種類および免許教科

1 中学校教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
社会	法学部法律学科 経済学部経済学科
数学	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
理科	理工学部生命科学科 農学部 農業生産学科 応用生物科学科
英語	国際学部国際学科

2 高等学校教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
公民	法学部法律学科 経済学部経済学科
数学	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
理科	理工学部生命科学科

	農学部 農業生産学科 応用生物科学科
情報	経営学部経営学科
工業	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 都市環境工学科
商業	経営学部経営学科
農業	農学部農業生産学科
英語	国際学部国際学科

3 栄養教諭一種免許状

免許教科	学部、学科等
栄養教諭	農学部食品栄養学科

別表第3

学費

1 各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

学部		科目・年次	金額				
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次
理工学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	1,290,000	1,290,000	1,290,000	1,290,000	—	—
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
国際学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	980,000	980,000	980,000	980,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
経営学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	920,000	920,000	920,000	920,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
薬学部	入学金	450,000	—	—	—	—	—
	授業料	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000	1,760,000
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
法学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	900,000	900,000	900,000	900,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
経済学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—

	授業料	920,000	920,000	920,000	920,000	—	—
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—
看護学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,550,000	—	—
	教育充実費	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
農学部	入学金	250,000	—	—	—	—	—
	授業料						
	農業生産	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	応用生物科	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	食品栄養	1,300,000	1,300,000	1,300,000	1,300,000	—	—
	食農ビジネス	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	—	—
	教育充実費						
	農業生産	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
	応用生物科	100,000	200,000	200,000	200,000	—	—
	食品栄養	130,000	230,000	230,000	230,000	—	—
食農ビジネス	50,000	150,000	150,000	150,000	—	—	

2 履修に特別の経費を要する場合は、これを当該課程の履修者から徴取することがある。その場合の金額および納期は、別に定める。

3 学費の額は、経済情勢の変動によっては改定することがある。

別表第4

研究料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	410,000	年額
国際学部	310,000	〃
経営学部	315,000	〃
薬学部	660,000	〃
法学部	315,000	〃
経済学部	315,000	〃
看護学部	550,000	〃
農学部	410,000	〃

別表第5

履修料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	20,000	1単位あたり
国際学部	15,000	
経営学部		

薬学部	25,000
法学部	15,000
経済学部	
看護学部	25,000
農学部	20,000

別表第6

在籍料

(単位：円)

学部	前期	後期
理工学部	60,000	60,000
国際学部		
経営学部		
薬学部		
法学部		
経済学部		
看護学部		
農学部		

2. 変更事項を記載した書類

I 変更の事由

- 1) 外国語学部外国語学科の学生募集を停止し、新たに国際学部国際学科を設置する。
- 2) 経営学部経営情報学科の学生募集を停止し、経営学部経営学科の収容定員を増員する。
これに伴い、関連事項を改める。

II 主な変更点

- (1) 各条文の外国語学部および経営学部経営情報学科の関連事項を削除するとともに、国際学部を追加する。
- (2) 付則に第 55 項を追加し、改正学則の「施行年月日」を加える。
- (3) 国際学部の教育課程表を追加するとともに、経営学部の教育課程表を改編する。

3. 変更部分の新旧対照表

変更後	変更前																						
<p>○摂南大学学則</p> <p>第1条 現行どおり</p> <p>(学部、学科および教育研究上の目的)</p> <p>第2条 本大学に、つぎの学部および学科を置く。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">学部</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">学科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">現行どおり</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(削除)</td> </tr> <tr> <td>国際学部</td> <td>国際学科</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>経営学科 (削除)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">現行どおり</td> </tr> </tbody> </table> <p>2～7 現行どおり</p> <p>8 (削除)</p> <p><u>国際学部国際学科は、グローバル化・ボーダーレス化が進む世界における様々な課題について解決策を見出し、果敢に行動できる人材を育成する。世界の国や地域の歴史・地理・社会・文化などの基礎知識を基に、豊かな教養と広い視野を身につけ、多様な価値観を客観的に理解して判断・発信できるグローバルリテラシーを修得した、国際社会で活躍できる知的専門職業人を養成することを目的とする。</u></p> <p>9 現行どおり</p> <p>10 (削除)</p> <p>10 現行どおり</p> <p>11 現行どおり</p> <p>12 現行どおり</p> <p>13 現行どおり</p> <p>14 現行どおり</p> <p>15 現行どおり</p> <p>16 現行どおり</p> <p>17 現行どおり</p> <p>第2条の2 現行どおり</p>	学部	学科	現行どおり		(削除)		国際学部	国際学科	経営学部	経営学科 (削除)	現行どおり		<p>○摂南大学学則</p> <p>第1条 省略</p> <p>(学部、学科および教育研究上の目的)</p> <p>第2条 本大学に、つぎの学部および学科を置く。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">学部</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">学科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">現行どおり</td> </tr> <tr> <td>外国語学部</td> <td>外国語学科</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>経営学科 経営情報学科</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">現行どおり</td> </tr> </tbody> </table> <p>2～7 省略</p> <p>8 <u>外国語学部外国語学科は、外国語と日本語によるコミュニケーション能力および異文化と日本の文化に対する理解を涵養し、人間力・実践力・統合力を身につけた、異文化接触の現場で活躍できる知的専門職業人を養成することを目的とする。</u></p> <p>9 省略</p> <p>10 <u>経営学部経営情報学科は、企業経営に関する情報の収集、分析、活用のための知識と技能を身につけるとともに、幅広い教養を合わせ持ち、自律的・主体的に企業経営の一翼を担うことのできる実行力ある知的専門職業人を養成することを目的とする。</u></p> <p>11 省略</p> <p>12 省略</p> <p>13 省略</p> <p>14 省略</p> <p>15 省略</p> <p>16 省略</p> <p>17 省略</p> <p>18 省略</p> <p>第2条の2 省略</p>	学部	学科	現行どおり		外国語学部	外国語学科	経営学部	経営学科 経営情報学科	現行どおり	
学部	学科																						
現行どおり																							
(削除)																							
国際学部	国際学科																						
経営学部	経営学科 (削除)																						
現行どおり																							
学部	学科																						
現行どおり																							
外国語学部	外国語学科																						
経営学部	経営学科 経営情報学科																						
現行どおり																							

変更後					変更前				
(収容定員) 第3条 本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。					(収容定員) 第3条 本大学の収容定員は、つぎのとおりとする。				
学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
現行どおり					省略				
(削除)					外国語学部	外国語学科	220名	5名	890名
国際学部	国際学科	250名	5名	1,010名					
経営学部	経営学科	280名	6名	1,132名	経営学部	経営学科	170名	4名	688名
	(削除)					経営情報学科	100名	4名	408名
	(削除)					計	270名	8名	1,096名
現行どおり					省略				
第4条～第11条 現行どおり					第4条～第11条 省略				
(就業年限)					(就業年限)				
第12条 本大学の修業年限は、つぎのとおりとする。					第12条 本大学の修業年限は、つぎのとおりとする。				
理工学部 4年					理工学部 4年				
(削除)					外国語学部 4年				
国際学部 4年					経営学部 4年				
経営学部 4年					薬学部 6年				
薬学部 6年					法学部 4年				
法学部 4年					経済学部 4年				
経済学部 4年					看護学部 4年				
看護学部 4年					農学部 4年				
農学部 4年					(在学年限)				
(在学年限)					第13条 学生は、つぎの年数を超えて在学することができない。				
第13条 学生は、つぎの年数を超えて在学することができない。					理工学部 8年				
理工学部 8年					(削除)				
(削除)					国際学部 8年				
国際学部 8年					経営学部 8年				
経営学部 8年					薬学部 12年				
薬学部 12年					法学部 8年				
法学部 8年					経済学部 8年				
経済学部 8年					看護学部 8年				
看護学部 8年					農学部 8年				
農学部 8年					2 省略				
2 現行どおり					第14条～第28条 省略				
第14条～第28条 現行どおり					(卒業)				
(卒業)					第29条 本大学に第12条に定める修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。				
第29条 本大学に第12条に定める修業年限以上在学し、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。					理工学部 124単位以上				
理工学部 124単位以上					(削除)				
(削除)					外国語学部 124単位以上				

変更後

変更前

(削除)

2 外国語学部
外国語学科

区分			授業科目	単位数
専門科目	英語プロフェッショナルコース・国際キャリアコース(英語専攻)	専攻言語科目(英語)	○ ボキャブラリー&文法-a	1
			○ ボキャブラリー&文法-b	1
○ スピーキング&ライティング I a			1	
○ スピーキング&ライティング I b			1	
○ リーディング I a			1	
○ リーディング I b			1	
○ スキルズトレーニング a			1	
○ スキルズトレーニング b			1	
○ ドラマ			1	
○ プレゼンテーション			1	
○ トピックスタディーズ I a			1	
○ トピックスタディーズ I b			1	
英語プロフェッショナルコース				
	※ Practical English Conversation	1		
	※ Academic Reading	1		
	※ Academic Writing	1		
	○ Global Issues	1		
	○ English for TOEFL	1		
	※ English for Global Communication a	1		
	※ English for Global Communication b	1		
	※ Comprehensive English a	1		
	※ Comprehensive English b	1		
	※ English Writing Workshop a	1		
	※ English Writing Workshop b	1		
	※ English Lecture I a	2		
	※ English Lecture I b	2		
	○ English Lecture II a	2		
	○ English Lecture II b	2		
	○ Debate & Presentation a	1		
○ Debate & Presentation b	1			
○ Oral Communication a	2			
○ Oral Communication b	2			
○ Advanced English a	2			
○ Advanced English b	2			
攻	国際キャリアコース(英語専攻)		◎ スピーキング&ライティング II a	1
			◎ スピーキング&ライティング II b	1
			◎ リーディング II a	1
			◎ リーディング II b	1

変更後	変更前			
			◎ メディアイングリッシュ a	1
			◎ メディアイングリッシュ b	1
			◎ ESP(English for Specific Purposes)a	1
			◎ ESP(English for Specific Purposes)b	1
			トピックスタディーズⅡa	1
			トピックスタディーズⅡb	1
			◎ スピーキング&ライティングⅢa	1
			◎ スピーキング&ライティングⅢb	1
			◎ リーディングⅢa	1
			◎ リーディングⅢb	1
			カレントイングリッシュ a	1
			カレントイングリッシュ b	1
			ビジネスイングリッシュ a	1
			ビジネスイングリッシュ b	1
	国際キャリアコース(中国語専攻)	専攻言語科目(中国語)	○ 中国語を聞くⅠa	1
			○ 中国語を聞くⅠb	1
			○ 中国語を読むⅠa	1
			○ 中国語を読むⅠb	1
			○ 中国語を書くⅠa	1
			○ 中国語を書くⅠb	1
			○ 中国語を話すⅠa	1
			○ 中国語を話すⅠb	1
			○ ビジネス中国語 a	1
			○ ビジネス中国語 b	1
			映像中国語 a	1
			映像中国語 b	1
			○ 中国語を聞くⅡa	1
			○ 中国語を聞くⅡb	1
			○ 中国語を読むⅡa	1
			○ 中国語を読むⅡb	1
			○ 中国語を書くⅡa	1
			○ 中国語を書くⅡb	1
			○ 中国語を話すⅡa	1
			○ 中国語を話すⅡb	1
メディア中国語 a	1			
メディア中国語 b	1			
観光中国語 a	1			
観光中国語 b	1			
貿易中国語 a	1			
貿易中国語 b	1			
○ 中国語プレゼンテーション a	1			

変更後		変更前					
				○ 中国語プレゼンテーション b	1		
				中国語コミュニケーション a	1		
				中国語コミュニケーション b	1		
				国際キャリアコース(スペイン語専攻)	専攻言語科目(スペイン語)	○ スペイン語入門 A	1
						○ スペイン語入門 B	1
						○ スペイン語入門 C	1
						○ スペイン語基礎 A	1
						○ スペイン語基礎 B	1
						○ スペイン語基礎 C	1
						○ スペイン語オラル I	1
						○ スペイン語オラル II	1
						○ スペイン語応用 I	1
						○ スペイン語応用 II	1
						○ スペイン語総合 A	1
						○ スペイン語総合 B	1
						スペイン語トピックス	1
						映画のスペイン語 I	1
						○ スペイン語オラル III	1
						○ スペイン語オラル IV	1
						○ スペイン語文章構成 I	1
						○ スペイン語文章構成 II	1
						○ メディアのスペイン語 I	1
						○ メディアのスペイン語 II	1
						○ スペイン語オラル V	1
						スペイン語オラル VI	1
						○ スペイン語文章構成 III	1
						スペイン語文章構成 IV	1
						スペイン語通訳 I	1
						スペイン語通訳 II	1
						映画のスペイン語 II	1
						メディアのスペイン語 III	1
				スペイン語プレゼンテーション I	1		
スペイン語プレゼンテーション II	1						
国際キャリアコース(インドネシア・マレー語専攻)	専攻言語科目(インドネシア・マレー語)	○ インドネシア語入門 a(1)	1				
		○ インドネシア語入門 a(2)	1				
		○ インドネシア語入門 b(1)	1				
		○ インドネシア語入門 b(2)	1				
		○ インドネシア語コムニカシ I a	1				
		○ インドネシア語コムニカシ I b	1				
インドネシア語ボキャブラリー a	1						
インドネシア語ボキャブラリー b	1						

変更後	変更前					
			インドネシア語表現法	1		
			初級検定インドネシア語	1		
			○ 総合インドネシア語 a(1)	1		
			○ 総合インドネシア語 a(2)	1		
			○ 総合インドネシア語 b(1)	1		
			○ 総合インドネシア語 b(2)	1		
			○ インドネシア語コムニカシⅡa	1		
			○ インドネシア語コムニカシⅡb	1		
			旅行インドネシア語	1		
			○ 基礎マレー語 a	1		
			○ 基礎マレー語 b	1		
			中級検定インドネシア語	1		
			○ 実践インドネシア・マレー語 a	1		
			○ 実践インドネシア・マレー語 b	1		
			○ インドネシア語コムニカシⅢa	1		
			○ インドネシア語コムニカシⅢb	1		
			○ 時事インドネシア・マレー語	1		
			ビジネスインドネシア語	1		
			上級検定インドネシア語	1		
			○ プレゼンテーションインドネシア・マレー語	1		
			スペシャリストインドネシア・マレー語	1		
			インドネシア・マレー語学研究	1		
			文化・社会科目	世界を知る	英語圏概論	☒
					中国語圏概論	☒
	スペイン語圏概論	☒				
	インドネシア・マレー語圏概論	☒				
	エリアスタディーズ(日本)	☒				
	エリアスタディーズ(東アジア)	☒				
	エリアスタディーズ(東南アジア)	☒				
	エリアスタディーズ(ヨーロッパ)	☒				
	エリアスタディーズ(アフリカ)	☒				
	エリアスタディーズ(北アメリカ)	☒				
	エリアスタディーズ(ラテンアメリカ)	☒				
	エリアスタディーズ(オセアニア)	☒				
言語のしくみ	音声学	2				
	英語学概論	2				
	言語学	2				
	日本語史概説	2				
	英語意味論・語用論	2				
	日本語音韻論	2				
	英語構造論	2				

変更後

変更前

				日本語彙論	2	
				中国語文字論	2	
				日本語文法論	2	
				中国語彙論	2	
		世界の歴史		日本史学	2	
				中国史学	2	
				ヨーロッパ史学	2	
				日米文化交流史	2	
				東南アジア史学	2	
				社会文化史	2	
		世界の文化と多様性		風土と地理	2	
				日本文学	2	
				異文化接触論	2	
				日米比較文化	2	
				中国文学	2	
				芸能文化論	2	
				英米文学	2	
				神話論	2	
		現代の社会		現代社会論	2	
				国際社会論	2	
				哲学と倫理	2	
				現代学術論	2	
		特別資格科目	学芸員科目	ミュージアムへの招待	2	
					ミュージアムコレクション論	2
					博物館資料保存論	2
					ディスプレイ論	2
					生涯学習論	2
					ミュージアムマネジメント論	2
					博物館情報・メディア論	2
					博物館教育論	2
					博物館実習	3
				科目	日本語教員	日本語教授法Ⅰ
			日本語教授法Ⅱ			2
			日本語教授法Ⅲ			2
			日本語教育実習演習			3
		ラム科目	パッケージプログラム	異文化ビジネス論	2	
					ビジネス心理学	2
					グローバル経済論	2
					地域と国際ビジネス	2
					グローバルマーケティング論	2
					グローバル企業研究	2

変更後	変更前		
		ビジネスコミュニケーション論	2
		国際協力論	2
		国際関係論	2
		ボランティア論	2
		国際平和論	2
		国際機構論	2
		社会開発論	2
		ことばと意味	2
		異文化コミュニケーション論	2
		翻訳文化論	2
		日本語表現論	2
		語学教育工学	2
		外国語翻訳法	2
		外国語通訳法	2
		ホスピタリティ論	2
		ホテルビジネス論	2
		エアラインビジネス論	2
		エコツーリズム論	2
		イベント企画論	2
		アーバンツーリズム論	2
		メディア文化論	2
		マスコミ論	2
		メディアリテラシー論	2
		クリエイティブビジネス論	2
		ビジュアルデザイン論	2
		地域環境論	2
		暮らしの中の文化	2
		グローバル社会と日本	2
		共同体論	2
		多文化共生論	2
	実習・演習科目	パッケージプログラム演習	2
		ホスピタリティ・インターンシップ	2
		海外インターンシップ	2
		海外ワークキャンプ	2
		海外実習	2
		体験型特別実習 A	2
		体験型特別実習 B	2
		海外留学	☆ 海外留学事前演習
	※ 海外留学特別研修 I a		1
	海外留学特別研修 I b		1
	海外留学特別研修 I c		1

変更後	変更前			
			海外留学特別研修Ⅱa	1
			海外留学特別研修Ⅱb	1
			海外留学特別研修Ⅱc	1
			海外留学特別研修Ⅲa	1
			海外留学特別研修Ⅲb	1
			海外留学特別研修Ⅲc	1
			海外留学特別研修Ⅳa	1
			海外留学特別研修Ⅳb	1
			海外留学特別研修Ⅳc	1
			海外留学特別研修Ⅴa	1
			海外留学特別研修Ⅴb	1
			海外留学特別研修Ⅴc	1
			海外留学特別研修Ⅵa	1
			海外留学特別研修Ⅵb	1
			海外留学特別研修Ⅵc	1
			海外留学特別研修Ⅶa	1
			海外留学特別研修Ⅶb	1
			海外留学特別研修Ⅶc	1
			海外留学特別研倒Ⅷa	1
			海外留学特別研倒Ⅷb	1
			海外留学特別研倒Ⅷc	1
			海外留学特別研修Ⅸa	1
			海外留学特別研修Ⅸb	1
		海外留学特別研修Ⅸc	1	
		海外留学特別研修Ⅹa	1	
		海外留学特別研修Ⅹb	1	
		海外留学特別研修Ⅹc	1	
		ゼミ・卒業研究	初年次ゼミナール	②
			基礎ゼミナール	②
			基礎演習Ⅰ	②
			基礎演習Ⅱ	②
			文化演習Ⅰ	②
			文化演習Ⅱ	②
		卒業研究Ⅰ	②	
		卒業研究Ⅱ	②	
	人文科学系	人間の探求	2	
		芸術論	2	
		文化人類学	2	
		心理学	2	
	社会科学系	世界の政治	2	
		法学入門	2	

変更後

変更前

	日本国憲法	2
	経済学入門	2
	経営学入門	2
自然・科学技術系	住まいとデザイン	2
	食品機能学	2
	人体の構造と機能	2
	自然科学の理解	2
	ものづくり研究の世界	2
	生物と環境	2
	英語系	基礎英語Ⅰa
基礎英語Ⅱa		①
実践英語Ⅰb		Ⅱ
実践英語Ⅱb		1
外国語系	中国語Ⅰ	Ⅱ
	中国語Ⅱ	1
	中国語Ⅲ	2
	中国語Ⅳ	2
	スペイン語Ⅰ	Ⅱ
	スペイン語Ⅱ	1
	スペイン語Ⅲ	2
	スペイン語Ⅳ	2
	インドネシア語Ⅰ	Ⅱ
	インドネシア語Ⅱ	1
	インドネシア語Ⅲ	2
	インドネシア語Ⅳ	2
	フランス語Ⅰ	Ⅱ
	フランス語Ⅱ	1
	フランス語Ⅲ	2
	フランス語Ⅳ	2
	韓国語Ⅰ	Ⅱ
	韓国語Ⅱ	1
	韓国語Ⅲ	2
	韓国語Ⅳ	2
系 日 本 語	日本語表現Ⅰ	1
	日本語表現Ⅱ	1
	コミュニケーションⅠ	1
情報・数理系	情報リテラシーⅠ	①
	情報リテラシーⅡ	①
インディアナ系	キャリアデザインⅠ	①
	キャリアデザインⅡ	①
	エンプロイメントデザインⅠ	1

変更後	変更前		
		エンプロイメントデザインⅡ	1
		インターンシップ	2
		ビジネス実務	2
	ツ ス ポ ー ト	スポーツ科学実習Ⅰ	1
		スポーツ科学実習Ⅱ	1
		スポーツと健康	2
	地 域 志 向 系	地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学 PBL プロジェクトⅠ	2
		摂南大学 PBL プロジェクトⅡ	2
		地域貢献実践演習	2
	共 通 基 礎 系	大学教養入門	2
		大学教養実践	2
		数的能力開発Ⅰ	1
		就職実践基礎	1
		時事問題Ⅰ	2
		時事問題Ⅱ	2
	教 養 特 別 系	教養特別講義Ⅰ	2
		教養特別講義Ⅱ	2
		教養特別講義Ⅲ	2
		教養特別講義Ⅳ	2
		教養特別講義Ⅴ	2
	外 国 人 留 学 生 対 象 科 目	日本事情 FⅠ	2
		日本事情 FⅡ	2
		日本語読解 FⅠ	1
		日本語読解 FⅡ	1
		日本語文法 FⅠ	1
		日本語文法 FⅡ	1
		日本語表現作文 FⅠ	1
		日本語表現作文 FⅡ	1
		日本語総合 FⅠ	1
		日本語総合 FⅡ	1
専門日本語 FⅠ		1	
専門日本語 FⅡ		1	
日本語会話 FⅠ		1	
日本語会話 FⅡ		1	
象 科 目 帰 国 学 生 対	日本事情 RⅠ	2	
	日本事情 RⅡ	2	
	日本語読解 R	1	
	日本語文法 R	1	

変更後		変更前			
		日本語表現作文 R		1	
		日本語総合 R		1	
		専門日本語 R		1	
		日本語会話 R		1	
備考					
1 卒業に必要な単位数					
	区分	英語プロフェッショナルコース		国際キャリアコース	
専門科目	必修科目	16 単位			
	選択必修科目	29 単位以上		28 単位以上	
	選択科目	41 単位以上		42 単位以上	
	小計	86 単位以上			
教養科目	必修科目	6 単位			
	選択必修科目	英語系、外国語系科目 1 単位以上			
	選択科目	英語系、外国語系、 数理・情報系、スポーツ系、共通基礎	5 単位以上 ただし、英語系、外国語系科目 1 単位を含む		
		人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、教養特別系	16 単位以上		
	キャリアデザイン系、日本語系	3 単位以上			
	教養科目に定める卒業に必要な単位数を超えて修得した科目	7 単位以上			
	小計	38 単位以上			
計	124 単位以上				
2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。					
3 授業科目の前に、○を付した授業科目は当該専攻言語を選択した者の選択必修科目、※を付した授業科目は「英語プロフェッショナルコース」を選択した者の選択必修科目、◎を付した授業科目は「国際キャリアコース(英語専攻)」を選択した者の選択必修科目、☆を付した授業科目は摂南大学学生海外留学規定により留学する者の必修科目を示す。					
4 上記 2、3 に該当しない授業科目は、選択科目を示す。					

変更後

変更前

2 国際学部
国際学科

区分		授業科目	単位数		
専門科目	協働学習プロジェクト科目	文化構想領域 プロジェクト科目	表象と感性プロジェクト	2	
			歴史学プロジェクト	2	
			地理学プロジェクト	2	
			比較文化プロジェクト	2	
			人間存在論プロジェクト	2	
			都市と周縁プロジェクト	2	
			国際社会と日本語プロジェクト	2	
		基幹科目	表象文化論	2	
			地域と歴史	2	
			環境と社会	2	
			思想と文化	2	
			テクノロジーと人間	2	
			異文化の理解	2	
			多文化社会と日本語	2	
		接続科目	英語圏異文化交流論	2	
			英語圏比較文化論	2	
			中国語と生活文化	2	
			中国語圏の言語文化	2	
			スペインの言語と文化	2	
			ラテンアメリカの言語と文化	2	
			インドネシア語と生活文化	2	
			インドネシア語と現代文化	2	
		国際共生領域	目プロジェクト科	地域研究プロジェクト（英語と諸地域）	2
				地域研究プロジェクト（東アジア世界）	2
				地域研究プロジェクト（スペイン語と諸地域）	2
				地域研究プロジェクト（東南アジア世界）	2
				海外特別プロジェクト I	2
	基幹科目		グローバルスタディーズ（英語と諸地域）	2	
			グローバルスタディーズ（東アジア世界）	2	
			グローバルスタディーズ（スペイン語と諸地域）	2	
			グローバルスタディーズ（東南アジア世界）	2	
	接続科目		英語で考える環境問題	2	
			英語で考える社会問題	2	
			中国語を通して見る世界	2	
			中国語圏の地域と共生	2	
			スペインから世界を見る	2	
ラテンアメリカから世界を見る			2		
インドネシア語で世界を知る			2		

変更後				変更前			
文化社会科目	社会協創領域	プロジェクト科目	マレー語圏の地域を知る	2			
			言語コミュニケーションプロジェクト	2			
			メディアと現代社会プロジェクト	2			
			マイノリティ研究プロジェクト	2			
			地域研究・国際政治プロジェクト	2			
			地域とビジネスプロジェクト	2			
			国際貢献・ボランティアプロジェクト	2			
		海外特別プロジェクトII	2				
		基幹科目	ことばと社会	2			
			メディア文化論	2			
			ジェンダーとマイノリティ	2			
			比較政治学	2			
			国際ビジネス論	2			
			国際貢献論	2			
		接続科目	Studies in Media and Communication	2			
			Studies in Hospitality and Tourism	2			
			中国語で読み解く地域社会	2			
			中国語圏から社会を考える	2			
			スペイン語を通して学ぶヨーロッパ社会	2			
			スペイン語を通して学ぶラテンアメリカ社会	2			
			インドネシア語で考える現代社会	2			
	マレー語で考える国際社会		2				
	実習・演習科目	課題解決型ワークショップ	2				
		ホスピタリティ実習演習	2				
		海外インターンシップ	2				
		海外実習	2				
		体験型特別実習	2				
	地域文化科目	世界を学ぶ	②				
		日本を学ぶ	②				
		エリアスタディーズ 北アメリカ	2				
		エリアスタディーズ ラテンアメリカ	2				
		エリアスタディーズ 東アジア	2				
		エリアスタディーズ 西アジア・南アジア	2				
エリアスタディーズ 東南アジア		2					
エリアスタディーズ アフリカ		2					
エリアスタディーズ ヨーロッパ		2					
エリアスタディーズ オセアニア		2					
目 一般学芸科		共同体論	2				
		多文化共生論	2				
		風土と地理	2				
		国際関係論	2				

変更後				変更前			
			国際社会と経済	2			
			メディアリテラシー論	2			
			現代社会論	2			
			地域と観光	2			
			生物と環境	2			
			ナショナリズム論	2			
			視覚文化論	2			
			Studies in Popular Culture	2			
			Studies in Language and Society	2			
		言語学 芸科目	音声学	2			
			英語学概論	2			
			言語学	2			
			日本語史概説	2			
			英語意味論・語用論	2			
			日本語音韻論	2			
			英語構造論	2			
			日本語語彙論	2			
			日本語文法論	2			
			日本の文学	2			
			中国の文学	2			
			英語圏の文学	2			
	目 ス ピ タ リ テ ィ 科		エア ライ ン ・ ホ	ホテルビジネス論	2		
		ホスピタリティ基礎論		2			
		ホスピタリティスキル論		2			
		エアラインサービス論		2			
		エアラインビジネス論		2			
	学 芸 員 科 目		ミュージアムへの招待	2			
			ミュージアムコレクション論	2			
			博物館資料保存論	2			
			ディスプレイ論	2			
			生涯学習論	2			
			ミュージアムマネジメント論	2			
			博物館情報・メディア論	2			
			博物館教育論	2			
			博物館実習	3			
	科 日 目 本 語 教 員		日本語教授法Ⅰ	2			
			日本語教授法Ⅱ	2			
			日本語教授法Ⅲ	2			
			日本語教育実習演習	3			
	礎 科 目	英 語 基	Speaking & Writing a	1			
				Reading a	①		

変更後				変更前				
			TOEIC a	1				
			Communicative English Grammar	1				
			Speaking & Writing b	1				
			Reading b	①				
			TOEIC b	1				
			Drama	1				
			Japanese Society and Culture	①				
			Academic Reading & Listening	1				
			Academic Writing Workshop	1				
			Debate	1				
			Presentation	1				
	地域言語科目	英語	Topic Studies I a	1				
			Topic Studies I b	1				
			Discussion a	1				
			Topic Studies II a	1				
			Discussion b	1				
			Topic Studies II b	1				
			Advanced Academic Writing Workshop a	2				
			Lecture a	2				
			Film Making	2				
			Business English a	2				
			Topic Studies III a	2				
			Advanced Academic Writing Workshop b	2				
			Lecture b	2				
			Business English b	2				
			Topic Studies III b	2				
			Comprehensive Studies a	2				
			Comprehensive Studies b	2				
			諸言語	諸言語輪講	①			
			中国語	中国語で読み解く I	①			
		中国語で表現する I		①				
	中国語で会話する I	①						
	中国語で読み解く II	1						
	中国語で表現する II	1						
	中国語で会話する II	1						
	中国語で読み解く III	1						
	中国語で表現する III	1						
	中国語で会話する III	1						
	中国語プレゼンテーション	2						
	スペイン語	スペイン語文法 I	①					
		スペイン語表現	①					

変更後				変更前			
教養科目	言語系	スペイン語	スペイン語会話Ⅰ	①			
			スペイン語文法Ⅱ	1			
			スペイン語読解	1			
			スペイン語会話Ⅱ	1			
			スペイン語圏社会講読（南欧）	1			
			スペイン語圏社会講読（ラテンアメリカ）	1			
			スペイン語文章構成	1			
			スペイン語プレゼンテーション	2			
			インドネシア語・マレー語	インドネシア語文法	①		
		インドネシア語表現Ⅰ		①			
		インドネシア語会話Ⅰ		①			
		総合インドネシア語		1			
		インドネシア語表現Ⅱ		1			
		インドネシア語会話Ⅱ		1			
		総合マレー語		1			
		実践インドネシア語		1			
		旅行インドネシア語		1			
		インドネシア語・マレー語プレゼンテーション		2			
		ゼミ・卒業研究	初年次ゼミナール	②			
	基礎ゼミナール		②				
	基礎演習Ⅰ		②				
	基礎演習Ⅱ		②				
	文化演習Ⅰ		②				
	文化演習Ⅱ		②				
	卒業研究Ⅰ		②				
	卒業研究Ⅱ		②				
	人文科学系	人間の探求	2				
		文学から学ぶ	2				
		歴史に学ぶ	2				
		心理学	2				
	社会科学系	法学入門	2				
		世界の政治	2				
		日本国憲法	2				
経済学入門		2					
経営学入門		2					
系 自然・科学技術	住まいとデザイン	2					
	食品機能学	2					
	人体の構造と機能	2					
	公衆衛生学	2					
	科学技術教養	2					
系 語 英	基礎英語Ⅰa	①					

変更後			変更前		
		基礎英語Ⅱa	①		
外国語系		韓国語Ⅰ	1		
		韓国語Ⅱa	1		
		韓国語Ⅱb	1		
		韓国語Ⅲa	1		
		韓国語Ⅲb	1		
系 日 本 語		日本語表現Ⅰ	1		
		日本語表現Ⅱ	1		
		コミュニケーションⅠ	1		
系 情 理 数 報 ・		情報リテラシーⅠ	①		
		情報リテラシーⅡ	①		
系 キ ャ リ ア デ ザ イ ン		キャリアデザインⅠ	①		
		キャリアデザインⅡ	①		
		エンプロイメントデザインⅠ	1		
		エンプロイメントデザインⅡ	1		
		インターンシップ	2		
		ビジネス実務	2		
ツ 系 ポ ー		スポーツ科学実習Ⅰ	1		
		スポーツ科学実習Ⅱ	1		
		スポーツと健康	2		
地 域 志 向 系		地域と私	2		
		北河内を知る	2		
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2		
		摂南大学 PBL プロジェクトⅠ	2		
		摂南大学 PBL プロジェクトⅡ	2		
		地域貢献実践演習	2		
共 通 基 礎 系		大学教養入門	2		
		大学教養実践	2		
		数的能力開発Ⅰ	1		
		就職実践基礎	1		
		時事問題Ⅰ	2		
		時事問題Ⅱ	2		
教 養 特 別 系		教養特別講義Ⅰ	2		
		教養特別講義Ⅱ	2		
		教養特別講義Ⅲ	2		
		教養特別講義Ⅳ	2		
		教養特別講義Ⅴ	2		
生 外 対 国 象 人 科 留 目 学		日本事情 FⅠ	2		
		日本事情 FⅡ	2		
		日本語読解 FⅠ	1		
		日本語読解 FⅡ	1		

変更後				変更前			
		日本語文法 F I	1				
		日本語文法 F II	1				
		日本語表現作文 F I	1				
		日本語表現作文 F II	1				
		日本語総合 F I	1				
		日本語総合 F II	1				
		専門日本語 F I	1				
		専門日本語 F II	1				
		日本語会話 F I	1				
		日本語会話 F II	1				
	帰国学生対象科目	日本事情 R I	2				
		日本事情 R II	2				
		日本語読解 R	1				
		日本語文法 R	1				
		日本語表現作文 R	1				
		日本語総合 R	1				
		専門日本語 R	1				
		日本語会話 R	1				
備考							
1 卒業に必要な単位数							
区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計			
専門科目	24 単位	29 単位以上 ①協働学習プロジェクト科目 26 単位以上 (文化構想領域、国際共生領域、 社会協創領域において選択した プロジェクト科目 1 科目と対応 する基幹科目 1 科目、および接 続科目 2 科目の合計 4 科目 8 単 位以上、実習演習科目 2 単位以 上) ②文化社会科目 3 単位以上 (中国語、スペイン語、インド ネシア語・マレー語のうち、い ずれかの言語から 3 単位)	29 単位以上 ①地域文化科目、一般学芸科目 および言語学芸科目から 22 単 位以上 ②地域言語科目から 7 単位以上 (ただし、「English Language Honors Track」は地域文化科 目、一般学芸科目および言語学 芸科目から 16 単位以上、英語 基礎科目から 6 単位以上、地域 言語科目のうち英語科目から 7 単位以上)	92 単位以上			
教養科目	6 単位	—	26 単位以上 (人文科学系、社会科学系、自 然・科学技術系、地域志向系、 教養特別系から 16 単位以上 外国語系、日本語系、キャリア デザイン系、スポーツ系、共通	32 単位以上			

変更後					変更前																																																																													
			基礎系から 10 単位以上)																																																																															
計	30 単位	29 単位以上	65 単位以上	124 単位以上																																																																														
<p>2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。他は選択科目を示す。</p>																																																																																		
<p>3 経営学部 <u>経営学科</u></p>																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>授業科目</th> <th>単位数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">専門科目</td> <td rowspan="20">専門基礎科目群</td> <td>経営学入門</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>経営管理論</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>地域産業論</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ビジネス情報処理 I</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>ビジネス情報処理 II</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>ICT ビジネス入門</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>情報倫理</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>情報と職業</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>マーケティング入門</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>消費者心理学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>簿記入門</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>財務諸表論入門</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>経済学入門</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ミクロ経済学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>マクロ経済学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>経営統計学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>市場調査入門</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>マネジメントサイエンス</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">マネジメント群</td> <td rowspan="10">マネジメント群</td> <td>経営組織論</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>経営戦略論</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>人的資源管理論</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>組織行動論</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>中小企業論</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>現代企業論</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>イノベーション論</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日本経営史</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>外国経営史</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>国際経営論 I</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>国際経営論 II</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">ICTビジネス群</td> <td rowspan="5">ICTビジネス群</td> <td>情報科学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>プログラミング I</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>プログラミング II</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>経営情報システム I</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>経営情報システム II</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>						区分	授業科目	単位数	専門科目	専門基礎科目群	経営学入門	②	経営管理論	2	地域産業論	2	ビジネス情報処理 I	②	ビジネス情報処理 II	②	ICT ビジネス入門	②	情報倫理	2	情報と職業	2	マーケティング入門	2	消費者心理学	2	簿記入門	④	財務諸表論入門	2	経済学入門	2	ミクロ経済学	2	マクロ経済学	2	経営統計学	2	市場調査入門	2	マネジメントサイエンス	2	マネジメント群	マネジメント群	経営組織論	2	経営戦略論	2	人的資源管理論	2	組織行動論	2	中小企業論	2	現代企業論	2	イノベーション論	2	日本経営史	2	外国経営史	2	国際経営論 I	2	国際経営論 II	2	ICTビジネス群	ICTビジネス群	情報科学	2	プログラミング I	2	プログラミング II	2	経営情報システム I	2	経営情報システム II	2
区分	授業科目	単位数																																																																																
専門科目	専門基礎科目群	経営学入門	②																																																																															
		経営管理論	2																																																																															
		地域産業論	2																																																																															
		ビジネス情報処理 I	②																																																																															
		ビジネス情報処理 II	②																																																																															
		ICT ビジネス入門	②																																																																															
		情報倫理	2																																																																															
		情報と職業	2																																																																															
		マーケティング入門	2																																																																															
		消費者心理学	2																																																																															
		簿記入門	④																																																																															
		財務諸表論入門	2																																																																															
		経済学入門	2																																																																															
		ミクロ経済学	2																																																																															
		マクロ経済学	2																																																																															
		経営統計学	2																																																																															
		市場調査入門	2																																																																															
		マネジメントサイエンス	2																																																																															
		マネジメント群	マネジメント群	経営組織論	2																																																																													
				経営戦略論	2																																																																													
人的資源管理論	2																																																																																	
組織行動論	2																																																																																	
中小企業論	2																																																																																	
現代企業論	2																																																																																	
イノベーション論	2																																																																																	
日本経営史	2																																																																																	
外国経営史	2																																																																																	
国際経営論 I	2																																																																																	
国際経営論 II	2																																																																																	
ICTビジネス群	ICTビジネス群	情報科学	2																																																																															
		プログラミング I	2																																																																															
		プログラミング II	2																																																																															
		経営情報システム I	2																																																																															
		経営情報システム II	2																																																																															
<p>3 経営学部 <u>イ 経営学科</u></p>																																																																																		

変更後				変更前			
		情報ネットワークとセキュリティ	2				
		コンピュータデータ分析	2				
		コンピュータサイエンス	2				
		プロダクトデザイン I	2				
		プロダクトデザイン II	2				
		ビジネスシミュレーション	2				
		流通情報システム	2				
	マーケティング群	消費者行動論	2				
		マーケティング戦略論	2				
		メディアと社会	2				
		メディア戦略論	2				
		ブランド論	2				
		リテールマーケティング	2				
		サービスマーケティング	2				
		データサイエンス I	2				
		データサイエンス II	2				
		マーケティングリサーチ I	2				
		マーケティングリサーチ II	2				
		会計ファイナンス群	商業簿記				
	工業簿記		2				
	財務会計論 I		2				
	財務会計論 II		2				
	連結会計論		2				
	管理会計論 I		2				
	管理会計論 II		2				
	会計情報分析論		2				
	ファイナンス I		2				
	ファイナンス II		2				
	コーポレート・ファイナンス I		2				
	コーポレート・ファイナンス II		2				
	応用・実践科目群	ベンチャービジネス論	2				
		ビジネスプランニング	2				
		知的財産管理論	2				
		企業分析(経営戦略ケース分析)	2				
		ICT ビジネス演習 A	2				
		ICT ビジネス演習 B	2				
		ICT ビジネス演習 C	2				
		マーケティングリサーチ演習 A	2				
		マーケティングリサーチ演習 B	2				
		マーケティング演習 A	2				
マーケティング演習 B		2					

変更後				変更前			
教養科目		調査実践演習Ⅰ	2				
		調査実践演習Ⅱ	2				
		中小企業会計論	2				
		企業分析(財務戦略ケース分析)	2				
		経営学特講Ⅰ	2				
		経営学特講Ⅱ	2				
		経営学特講Ⅲ	2				
	法律科目群	民法	2				
		会社法	2				
		労働法	2				
		金融商品取引法	2				
	演習・卒業研究	基礎演習	②				
		専門基礎演習	②				
		専門演習Ⅰ	④				
		専門演習Ⅱ	④				
		卒業研究	④				
	人文科学系	心理学Ⅰ	2				
		心理学Ⅱ	2				
		哲学Ⅰ	2				
		哲学Ⅱ	2				
		倫理学	2				
		日本の歴史	2				
		世界の歴史	2				
		地誌学	2				
		人文地理学	2				
		文学から学ぶ	2				
	社会科学系	社会学Ⅰ	2				
社会学Ⅱ		2					
法学入門		2					
日本国憲法		2					
日本の政治		2					
世界の政治		2					
自然・科学技術系	住まいとデザイン	2					
	自然地理学	2					
	環境と現代社会	2					
	公衆衛生学	2					
	産業技術史	2					
	科学技術教養	2					
外国語系	基礎英語Ⅰa	1					
	基礎英語Ⅰb	1					
	基礎英語Ⅱa	1					

変更後				変更前			
		基礎英語Ⅱb	①				
		実践英語Ⅰa	①				
		実践英語Ⅰb	①				
		実践英語Ⅱa	①				
		実践英語Ⅱb	①				
		ビジネスイングリッシュⅠ	1				
		ビジネスイングリッシュⅡ	1				
		英語コミュニケーションⅠ	1				
		英語コミュニケーションⅡ	1				
		アドバンスト英語Ⅰ	1				
		アドバンスト英語Ⅱ	1				
		アドバンスト英語Ⅲ	1				
	外国語系	海外語学研修	2				
		ビジネス中国語基礎 a	1				
		ビジネス中国語基礎 b	1				
		ビジネス中国語基礎 c	1				
		ビジネス中国語基礎 d	1				
		中国語を聞く a	1				
		中国語を聞く b	1				
		中国語を話す a	1				
		中国語を話す b	1				
	系 日 本 語	日本語表現Ⅰ	1				
		日本語表現Ⅱ	1				
		コミュニケーションⅠ	1				
	報 数 系 理 ・ 情	数学基礎Ⅰ	1				
		数学基礎Ⅱ	1				
		情報技術演習	1				
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン 系	キャリアデザインⅠ	①				
		キャリアデザインⅡ	1				
		キャリアデザインⅢ	1				
		エンプロイメントデザインⅠ	1				
		エンプロイメントデザインⅡ	1				
		インターンシップ	2				
		ビジネス実務	2				
		職業能力開発	2				
	ス ポ ー ツ 系	スポーツ科学実習Ⅰ	1				
		スポーツ科学実習Ⅱ	1				
		生涯スポーツ実習	1				
		スポーツと健康	2				
	向 地 系 域 志	地域と私	2				
		北河内を知る	2				

変更後				変更前			
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2				
		摂南大学 PBL プロジェクト I	2				
		摂南大学 PBL プロジェクト II	2				
		地域貢献実践演習	2				
	共通基礎系	大学教養入門	2				
		大学教養実践	2				
		数的能力開発 I	1				
		就職実践基礎	1				
	教養特別系	教養特別講義 I	2				
		教養特別講義 II	2				
		教養特別講義 III	2				
		教養特別講義 IV	2				
		教養特別講義 V	2				
	外国人留学生対象科目	日本事情 F I	2				
		日本事情 F II	2				
		日本語読解 F I	1				
		日本語読解 F II	1				
		日本語文法 F I	1				
		日本語文法 F II	1				
		日本語表現作文 F I	1				
		日本語表現作文 F II	1				
		日本語総合 F I	1				
		日本語総合 F II	1				
		専門日本語 F I	1				
		専門日本語 F II	1				
		日本語会話 F I	1				
		日本語会話 F II	1				
	帰国学生対象科目	日本事情 R I	2				
		日本事情 R II	2				
		日本語読解 R	1				
		日本語文法 R	1				
		日本語表現作文 R	1				
		日本語総合 R	1				
		専門日本語 R	1				
		日本語会話 R	1				

変更後

変更前

(削除)

区分		授業科目	単位数	
専門科目	専門基礎科目群	経営学Ⅰ	②	
		経営学Ⅱ	②	
		経営管理論	2	
		簿記入門	④	
		財務諸表論入門	2	
		マーケティング概論	2	
		経済学入門	2	
		ミクロ経済学	2	
		経営史	2	
		ビジネス情報処理Ⅰ	②	
		ビジネス情報処理Ⅱ	2	
		ICT 概論	2	
		情報倫理	2	
		経営統計学	2	
		市場調査入門	2	
		マネジメントサイエンス	2	
		企業経営群	経営組織論	2
			マーケティング戦略論	2
			経営戦略論	2
			人的資源管理論Ⅰ	2
人的資源管理論Ⅱ	2			
現代日本経営史	2			
生産管理論	2			
企業論	2			
CSR 経営論	2			
グローバル経営論	2			
マクロ経済学	2			
会計ファイナンス群	商業簿記	2		
	工業簿記	2		
	財務会計論Ⅰ	2		
	財務会計論Ⅱ	2		
	管理会計論Ⅰ	2		
	管理会計論Ⅱ	2		
	会計情報分析論	2		
	ファイナンスⅠ	2		
	ファイナンスⅡ	2		
	コーポレート・ファイナンスⅠ	2		
	コーポレート・ファイナンスⅡ	2		
応用実践科目	ベンチャービジネス論	2		

変更後	変更前				
			ビジネスプランニング	2	
			中小企業会計論	2	
			企業分析(経営戦略ケース分析)	2	
			企業分析(財務戦略ケース分析)	2	
			企業分析(経営組織ケース分析)	2	
			経営事例研究	2	
			経営学特講Ⅰ	2	
			経営学特講Ⅱ	2	
			経営学特講Ⅲ	2	
			法律科目群	民法	2
				会社法	2
				労働法	2
				金融商品取引法	2
			演習・卒業研究	基礎演習	②
				専門基礎演習	②
	演習Ⅰ	④			
	演習Ⅱ	④			
	卒業研究	④			
	教養科目	人文科学系	心理学Ⅰ	2	
			心理学Ⅱ	2	
			哲学Ⅰ	2	
			哲学Ⅱ	2	
			倫理学	2	
			日本の歴史	2	
			世界の歴史	2	
			地誌学	2	
			人文地理学	2	
			文学から学ぶ	2	
		社会科学系	社会学Ⅰ	2	
			社会学Ⅱ	2	
			法学入門	2	
			日本国憲法	2	
			日本の政治	2	
			世界の政治	2	
		自然・科学技術系	住まいとデザイン	2	
			自然地理学	2	
			環境と現代社会	2	
			公衆衛生学	2	
			産業技術史	2	
			科学技術教養	2	
			系 語 英	基礎英語Ⅰa	Ⅱ

変更後		変更前	
		基礎英語 I b	0
		基礎英語 II a	0
		基礎英語 II b	0
		実践英語 I a	0
		実践英語 I b	0
		実践英語 II a	0
		実践英語 II b	0
		ビジネスイングリッシュ I	1
		ビジネスイングリッシュ II	1
		英語コミュニケーション I	1
		英語コミュニケーション II	1
	外国語系	海外語学研修	2
		ビジネス中国語基礎 a	1
		ビジネス中国語基礎 b	1
		ビジネス中国語基礎 c	1
		ビジネス中国語基礎 d	1
		中国語を聞く a	1
		中国語を聞く b	1
		中国語を話す a	1
		中国語を話す b	1
	系 日本語	日本語表現 I	1
		日本語表現 II	1
		コミュニケーション I	1
	報系 数理・情報	数学基礎 I	1
		数学基礎 II	1
	キャリアデザイン系	キャリアデザイン I	①
		キャリアデザイン II	1
		キャリアデザイン III	1
		エンプロイメントデザイン I	1
		エンプロイメントデザイン II	1
		インターンシップ	2
		ビジネス実務	2
		職業能力開発	2
	スポーツ系	スポーツ科学実習 I	1
		スポーツ科学実習 II	1
		生涯スポーツ実習	1
		スポーツと健康	2
	地域志向系	地域と私	2
		北河内を知る	2
		ソーシャル・イノベーション実務総論	2
		摂南大学 PBL プロジェクト I	2

変更後	変更前		
		撰南大学 PBL プロジェクトⅡ	2
		地域貢献実践演習	2
	共通基礎系	大学教養入門	2
		大学教養実践	2
		数的能力開発Ⅰ	1
		就職実践基礎	1
	教養特別系	教養特別講義Ⅰ	2
		教養特別講義Ⅱ	2
		教養特別講義Ⅲ	2
		教養特別講義Ⅳ	2
		教養特別講義Ⅴ	2
	外国人留学生対象科目	日本事情 FⅠ	2
		日本事情 FⅡ	2
		日本語読解 FⅠ	1
		日本語読解 FⅡ	1
		日本語文法 FⅠ	1
		日本語文法 FⅡ	1
		日本語表現作文 FⅠ	1
		日本語表現作文 FⅡ	1
		日本語総合 FⅠ	1
		日本語総合 FⅡ	1
		専門日本語 FⅠ	1
		専門日本語 FⅡ	1
		日本語会話 FⅠ	1
		日本語会話 FⅡ	1
	帰国学生対象科目	日本事情 RⅠ	2
		日本事情 RⅡ	2
		日本語読解 R	1
		日本語文法 R	1
		日本語表現作文 R	1
	日本語総合 R	1	
	専門日本語 R	1	
	日本語会話 R	1	

変更後				
備考				
1 卒業に必要な単位数				
区分	必修科目	選択科目		計
専門科目	28 単位	マネジメントコース	58 単位以上 (マネジメント群 12 単位以上、ICT ビジネス群 2 単位以上、マーケティング群 2 単位以上、会計ファイナンス群 2 単位以上)	86 単位以上
		ICT ビジネスコース	58 単位以上 (ICT ビジネス群 12 単位以上、マネジメント群 2 単位以上、マーケティング群 2 単位以上、会計ファイナンス群 2 単位以上)	
		マーケティングコース	58 単位以上 (マーケティング群 12 単位以上、マネジメント群 2 単位以上、ICT ビジネス群 2 単位以上、会計ファイナンス群 2 単位以上)	
		会計ファイナンスコース	58 単位以上 (会計ファイナンス群 12 単位以上、マネジメント群 2 単位以上、ICT ビジネス群 2 単位以上、マーケティング群 2 単位以上)	
教養科目	英語系外国語、外国語系、日本語系、数理・情報系、スポーツ系	12 単位以上 (選択必修科目 4 単位以上を含む英語系外国語または外国語系科目 8 単位以上を含む)		38 単位以上
	人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、共通基礎系、教養特別系	20 単位以上 (人文科学系・社会科学系ならびに自然・科学技術系各 2 単位以上を含む)		
	キャリアデザイン系	1 単位		
	教養科目に定める卒業に必要な単位数を超えて修得した科目	—		
計	29 単位	95 単位以上		124 単位以上
2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。				

変更前					
備考					
1 卒業に必要な単位数					
区分	必修科目	選択必修科目	選択科目	計	
専門科目	26 単位	—	60 単位以上	86 単位以上	
教養科目	英語系、外国語系、日本語系、数理・情報系、スポーツ系	—	12 単位以上 (選択必修科目 4 単位以上を含む英語系または外国語系科目 8 単位以上を含む)	38 単位以上	
	人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、共通基礎系、教養特別系	—	20 単位以上 (人文科学系・社会科学系ならびに自然・科学技術系各 2 単位以上を含む)		
	キャリアデザイン系	1 単位	—		2 単位以上
	教養科目に定める卒業に必要な単位数を超えて修得した科目	—	—		3 単位以上
計	27 単位	—	97 単位以上	124 単位以上	
2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。					

変更後

変更前

(削除)

ロ 経営情報学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	専門基礎科目群	経営学Ⅰ	②
		経営学Ⅱ	②
		経営管理論	2
		簿記入門	4
		財務諸表論入門	2
		マーケティング概論	②
		経済学入門	2
		ミクロ経済学	2
		経営史	2
		ビジネス情報処理Ⅰ	②
		ビジネス情報処理Ⅱ	2
		ICT概論	②
		情報倫理	2
		経営統計学	2
		市場調査入門	2
		マネジメントサイエンス	2
		マーケティング群	消費者行動論
	リテールマーケティング		2
	流通情報システム論		2
	マーケティング戦略論		2
メディアと社会	2		
メディア戦略論	2		
市場調査法	2		
ビジネスデータ分析	2		
マーケティング情報解析	2		
ビジネスシミュレーション	2		
マーケティングサイエンス	2		
ビジネスIT群	プログラミングⅠ	2	
	プログラミングⅡ	2	
	情報ネットワーク	2	
	マルチメディア処理Ⅰ	2	
	コンピュータサイエンス	2	
	経営情報システムⅠ	2	
	経営情報システムⅡ	2	
	プロジェクトマネジメント	2	
	コンテンツビジネス	2	
	知的財産管理論	2	
情報と職業	2		
群科実用応 目 践	ベンチャービジネス論	2	

変更後

変更前

変更後	変更前				
			ビジネスプランニング	2	
			市場調査実習 I	2	
			市場調査実習 II	2	
			マーケティング演習	2	
			ネットワーク運用管理	2	
			マルチメディア処理 II	2	
			ビジネス IT 演習	2	
			経営事例研究	2	
			経営学特講 I	2	
			経営学特講 II	2	
			経営学特講 III	2	
			目 法 群 律 科	民法	2
				会社法	2
				労働法	2
			演習・卒業研究	基礎演習	②
	専門基礎演習	②			
	演習 I	④			
	演習 II	④			
	卒業研究	④			
	教養科目	人文科学系	心理学 I	2	
			心理学 II	2	
			哲学 I	2	
			哲学 II	2	
			倫理学	2	
			日本の歴史	2	
			世界の歴史	2	
			地誌学	2	
			人文地理学	2	
			文学から学ぶ	2	
		社会科学系	社会学 I	2	
			社会学 II	2	
			法学入門	2	
			日本国憲法	2	
			日本の政治	2	
			世界の政治	2	
		自然・科学技術系	住まいとデザイン	2	
			自然地理学	2	
			環境と現代社会	2	
			公衆衛生学	2	
			産業技術史	2	
			科学技術教養	2	

変更後		変更前		
	英語系	基礎英語 I a	0	
		基礎英語 I b	0	
		基礎英語 II a	0	
		基礎英語 II b	0	
		実践英語 I a	0	
		実践英語 I b	0	
		実践英語 II a	0	
		実践英語 II b	0	
		ビジネスイングリッシュ I	1	
		ビジネスイングリッシュ II	1	
		英語コミュニケーション I	1	
		英語コミュニケーション II	1	
		外国語系	海外語学研修	2
			ビジネス中国語基礎 a	1
	ビジネス中国語基礎 b		1	
	ビジネス中国語基礎 c		1	
	ビジネス中国語基礎 d		1	
	中国語を聞く a		1	
	中国語を聞く b		1	
	中国語を話す a		1	
	中国語を話す b	1		
	系 日 本 語	日本語表現 I	1	
		日本語表現 II	1	
		コミュニケーション I	1	
	情報系 数 理	数学基礎 I	1	
		数学基礎 II	1	
	キャリア デザ イン 系	キャリアデザイン I	①	
		キャリアデザイン II	1	
		キャリアデザイン III	1	
		エンプロイメントデザイン I	1	
		エンプロイメントデザイン II	1	
		インターンシップ	2	
		ビジネス実務	2	
		職業能力開発	2	
	ス ポ ー ツ 系	スポーツ科学実習 I	1	
		スポーツ科学実習 II	1	
		生涯スポーツ実習	1	
		スポーツと健康	2	
	向 地 系 域 志	地域と私	2	
		北河内を知る	2	
ソーシャル・イノベーション実務総論		2		

変更後		変更前				
			摂南大学 PBL プロジェクト I	2		
			摂南大学 PBL プロジェクト II	2		
			地域貢献実践演習	2		
		共通基礎系		大学教養入門	2	
				大学教養実践	2	
				数的能力開発 I	1	
				就職実践基礎	1	
		教養特別系		教養特別講義 I	2	
				教養特別講義 II	2	
				教養特別講義 III	2	
				教養特別講義 IV	2	
				教養特別講義 V	2	
		外国人留学生対象科目		日本事情 F I	2	
				日本事情 F II	2	
				日本語読解 F I	1	
				日本語読解 F II	1	
				日本語文法 F I	1	
				日本語文法 F II	1	
				日本語表現作文 F I	1	
				日本語表現作文 F II	1	
				日本語総合 F I	1	
				日本語総合 F II	1	
				専門日本語 F I	1	
				専門日本語 F II	1	
				日本語会話 F I	1	
				日本語会話 F II	1	
		帰国学生対象科目		日本事情 R I	2	
				日本事情 R II	2	
				日本語読解 R	1	
				日本語文法 R	1	
				日本語表現作文 R	1	
				日本語総合 R	1	
				専門日本語 R	1	
	日本語会話 R		1			
備考						
1 卒業に必要な単位						
区分		必修科目	選択必修科目	選択科目	計	
専門科目		26 単位	—	60 単位以上	86 単位以上	
教養科目	英語系、外国語系、日本語系、数理・情報	—	12 単位以上 (選択必修科目 4 単位以上を含む英語系)		38 単位以上	

変更後		変更前			
		報系、スポーツ系		または外国語系科目 8 単位以上を含む)	
		人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、共通基礎系、教養特別系	—	—	20 単位以上 (人文科学系・社会科学系ならびに自然・科学技術系各 2 単位以上を含む)
		キャリアデザイン系	1 単位	—	2 単位以上
		教養科目に定める卒業に必要な単位数を超えて修得した科目	—	—	3 単位以上
		計	27 単位	97 単位以上	124 単位以上
		2 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、他は選択科目を示す。			
4	薬学部 現行どおり	4 薬学部 省略			
5	法学部 現行どおり	5 法学部 省略			
6	経済学部 現行どおり	6 経済学部 省略			
7	看護学部 現行どおり	7 看護学部 省略			
8	農学部	8 農学部			
	イ～ニ 現行どおり	イ～ニ 省略			
別表第 2 教職課程の設置により開設する授業科目および単位数 現行どおり		別表第 2 教職課程の設置により開設する授業科目および単位数 省略			
別表第 2 の 2 教育職員免許状の種類および免許教科		別表第 2 の 2 教育職員免許状の種類および免許教科			
1 中学校教諭一種免許状		1 中学校教諭一種免許状			
免許教科	学部、学科等	免許教科	学部、学科等		
社会	現行どおり	社会	省略		
数学	現行どおり	数学	省略		
理科	現行どおり	理科	省略		
英語	(削除) 国際学部国際学科	英語	外国語学部外国語学科		
2 高等学校教諭一種免許状		2 高等学校教諭一種免許状			
免許教科	学部、学科等	免許教科	学部、学科等		
公民	現行どおり	公民	省略		
数学	現行どおり	数学	省略		
理科	現行どおり	理科	省略		
情報	経営学部経営学科	情報	経営学部経営情報学科		
工業	現行どおり	工業	省略		

変更後	
商業	経営学部 経営学科 (削除)
農業	現行どおり
英語	(削除) 国際学部国際学科

3 栄養教諭一種免許状 現行どおり

別表第3
学費

1 各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

学部	科目・年次	金額					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
理工学部		現行どおり					
		(削除)					
国際学部	入学金	250,000	=	=	=	=	=
	授業料	980,000	980,000	980,000	980,000	=	=
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	=	=
経営学部		現行どおり					
薬学部		現行どおり					
法学部		現行どおり					
経済学部		現行どおり					
看護学部		現行どおり					
農学部		現行どおり					

2 現行どおり

3 現行どおり

別表第4
研究料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	現行どおり	年額
	(削除)	
国際学部	310,000	//
経営学部	現行どおり	//
薬学部	現行どおり	//
法学部	現行どおり	//

変更前	
商業	経営学部 経営学科 経営情報学科
農業	省略
英語	外国語学部外国語学科

3 栄養教諭一種免許状 省略

別表第3
学費

1 各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

学部	科目・年次	金額					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
理工学部		省略					
外国語学部	入学金	250,000	=	=	=	=	=
	授業料	980,000	980,000	980,000	980,000	=	=
	教育充実費	50,000	150,000	150,000	150,000	=	=
経営学部		省略					
薬学部		省略					
法学部		省略					
経済学部		省略					
看護学部		省略					
農学部		省略					

2 省略

3 省略

別表第4
研究料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	省略	年額
外国語学部	310,000	//
経営学部	省略	//
薬学部	省略	//
法学部	省略	//

変更後

経済学部	現行どおり	〃
看護学部	現行どおり	〃
農学部	現行どおり	〃

別表第 5
履修料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	20,000	1 単位あたり
(削除) 国際学部	15,000	
経営学部		
薬学部	25,000	
法学部	15,000	
経済学部		
看護学部	25,000	
農学部	20,000	

別表第 6
在籍料

(単位：円)

学部	前期	後期
理工学部	60,000	60,000
(削除) 国際学部		
経営学部		
薬学部		
法学部		
経済学部		
看護学部		
農学部		

変更前

経済学部	省略	〃
看護学部	省略	〃
農学部	省略	〃

別表第 5
履修料

(単位：円)

学部	金額	備考
理工学部	20,000	1 単位あたり
外国語学部	15,000	
経営学部		
薬学部	25,000	
法学部	15,000	
経済学部		
看護学部	25,000	
農学部	20,000	

別表第 6
在籍料

(単位：円)

学部	前期	後期
理工学部	60,000	60,000
外国語学部		
経営学部		
薬学部		
法学部		
経済学部		
看護学部		
農学部		

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

ア)	学則変更（収容定員変更）の内容	P 2
	（1）国際学部	
	（2）経営学部	
イ)	学則変更（収容定員変更）の必要性	P 3
	（1）国際学部	
	（2）経営学部	
ウ)	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	P 6
	（ア） 教育課程の変更内容	P 6
	（1）国際学部	
	（2）経営学部	
	（イ） 教育方法及び履修指導方法の変更内容	P 7
	（1）国際学部	
	（2）経営学部	
	（ウ） 教員組織の変更内容	P 8
	（1）国際学部	
	（2）経営学部	
	（エ） 大学全体の施設・設備の変更内容	P10
	（1）国際学部	
	（2）経営学部	

ア) 学則変更（収容定員変更）の内容

令和4（2022）年4月1日より、本大学における学部学科の改組に伴い、以下の通り収容定員に係る学則変更を行う。

（1）国際学部

外国語学部外国語学科（入学定員220人、収容定員890人）の学生募集を停止し、新たに国際学部国際学科（入学定員250人、収容定員1,010人）を設置する。

（2）経営学部

経営学部経営情報学科（入学定員100人、収容定員408人）の学生募集を停止し、経営学部経営学科の1学科に改編のうえ、経営学科の入学定員を170人から280人（収容定員を688人から1,132人）に増員する。

編入学定員の変更も含めた入学定員、収容定員の変更予定は（表1）の通りである。

今般の収容定員に係る学則の変更により、大学全体の入学定員は2,295人から2,335人に、収容定員は9,724人から9,880人に変更する。

（表1）：今般の収容定員に係る学則変更する学部学科の入学定員・収容定員

学部	学科	現行		変更後			
		入学定員 (編入学定員)	収容定員	入学定員 (編入学定員)	増減	収容定員	増減
国際学部 (新設)	国際学科 (新設)	—	—	250人 (5)人	250人 (5)人	1,010人	1,010人
外国語学部 (廃止)	外国語学科 (廃止)	220人 (5)人	890人	—	▲220人 ▲(5)人	—	▲890人
経営学部	経営学科	170人 (4)人	688人	280人 (6)人	110人 (2)人	1,132人	444人
	経営情報学科 (廃止)	100人 (4)人	408人	—	▲100人 ▲(4)人	—	▲408人
合計 (学則変更する学部学科)		490人 (13)人	1,986人	530人 (11)人	40人 ▲(2)人	2,142人	156人
合計 (大学全体)		2,295人 (52)人	9,724人	2,335人 (50)人	40人 ▲(2)人	9,880人	156人

イ) 学則変更（収容定員変更）の必要性

今般の収容定員に係る学則変更は、新学部となる（１）国際学部の設置（外国語学部の学生募集停止）と、（２）経営学部の改編（経営学部経営情報学科の学生募集停止）によるものである。それぞれの学部学科の変更する必要性は、以下の通りである。

（１）国際学部

21世紀に入ってからの世界はグローバル化、ボーダーレス化のスピードを加速させている。2020年のコロナ禍により、一時的に国際的な人とモノの交流が停滞する状況になっているものの、長期的な方向性としては、グローバル化は我が国を含む地球全体の不可避の潮流として、世界はその結びつきと相互の影響をますます強めている。邦人が外国に居住し就労することがもはや特別なことではなくなっており、一方で我が国における外国人居住者の数も年々増加している。グローバル化が急速に進展する社会においては、外国語によるコミュニケーション能力は、従来のように一部の業種や職種に必要とされる能力ではなくなっており、多くの市民が生涯に渡って様々な場面で必要とされることが想定され、その能力の向上が課題となっている。産業・経済が急速に高度化し、世界のあらゆる分野においてボーダーレス化が進展している中、より実践的な外国語の能力、多様な人々の中でコミュニケーションを行う能力、また異文化に対する理解力を備えた人材の養成が求められている。また近年の我が国における観光分野、インバウンド領域における幅広いホスピタリティ業界を支える人材も不足が指摘されており、外国語能力、コミュニケーション能力、情報発信能力を備えた人材の養成が求められている。

本大学は昭和57（1982）年に国際言語文化学部を開設し、外国語を中心とした国際的な教育研究を行ってきた。その後平成17（2005）年に外国語学部に変更し、現在に至っている。令和4（2022）年に設置する国際学部は、外国語学部の教育課程、教員組織を基盤とし、学びの重心を外国語の学修から世界の社会や文化そのものへとシフトすることによる発展的な改組であり、教育研究の内容と養成人材像をさらに幅広く深化させるため、新たな学部の設置に至ったものである。

本大学では、現代の世界において求められる外国語能力やコミュニケーション能力等の多岐に渡る様々な能力を「グローバルリテラシー」と一語にまとめた上で、上述した社会的かつ世界規模での変化により、グローバルリテラシーを持った人材、専門職業人が社会から求められている現状認識に至った。

その社会的要請に応えるため、「グローバル化・ボーダーレス化が進む世界における様々な課題について解決策を見出し、果敢に行動できる人材を育成する。世界の国や地域の歴史・地理・社会・文化等の基礎知識を基に、豊かな教養と広い視野を身につけ、多様な価値観を客観的に理解して判断・発信できるグローバルリテラシーを修得した、国際社会で活躍できる知的専門職業人を養成すること」を目的とし、新たに国際学部を設置することとした。

収容定員については、外国語学部では 890 人としていたが、グローバルリテラシーを持った国際的な人材への社会的需要と、就学・志願ニーズ（表 2）に応えるため、国際学部においては収容定員を 1,010 人（120 人増員）とし、それに伴う学則変更を行うものである。

（表 2）：外国語学部（入学定員 220 人）の志願状況（過去 5 年間）・入学定員充足率

年度	志願者数	合格倍率	入学定員充足率
平成 28 年度	1,636 人	2.7	1.09
平成 29 年度	2,359 人	3.2	1.10
平成 30 年度	2,641 人	3.7	1.08
平成 31 年度	3,480 人	5.3	1.02
令和 2 年度	1,901 人	2.8	1.05

※志願者数は、一般・大学入試センター試験利用入試の数を示す

（2）経営学部

本大学は昭和 57（1982）年に経営情報学部を開設して以後、平成 22（2010）年の経営学部への名称変更並びに学科改編を経て、現在の経営学科及び経営情報学科の 2 学科での教育研究を行ってきた。令和 4（2022）年に改編する経営学部は、経営情報学科を学生募集停止（在学生がいなくなるのを待って廃止）するとともに、本学部を 1 学部 1 学科に改編することによるものである。

経営学部は、「企業を中心とする組織一般の運営に関する基礎的な理論と知識を身につけるとともに、幅広い教養を併せ持ち、自律的・主体的に企業経営の一翼を担うことのできる実行力ある知的専門職業人を養成すること」を目的としており、これまで産業界、官界の要請に十分応え得る多くの人材を輩出してきた。その中で経営学科及び経営情報学科の 2 学科体制の下、「経営」と「情報」を軸とした教育研究を実施してきたが、グローバル化や IT、インターネット等の急激な進展により、我が国の社会と経済、経営を取り巻く状況が大きく変化したことから、社会的要請に対応した教育研究を展開するため今般の改編に至った。その主な理由としては、経営情報学科では、企業経営に関する情報の収集、分析、活用のための知識と技能を身につけることを目的とし、「情報」に重点を置いた経営学の教育研究を行ってきたが、コンピュータとインターネットを中心とした情報技術の爆発的な発展により、もはや「情報」は、経済、学術等をはじめとする社会全体の基盤となっている。そのため、「経営学と情報学の知識・スキルを持った「経営」専門職業人の育成」を目指し、1 学科体制へ変更することとする。

収容定員については、経営学部ではこれまで 1,096 人としていたが、経営学を学んだ人材への社会的需要と、就学・志願ニーズ（表 3）に応えるため、改編後の経営学部においては収容定員を 1,132 人（36 人増員）とし、それに伴う学則変更を行うものである。

(表3) : 経営学部 (入学定員 270 人) の志願状況 (過去 5 年間) ・入学定員充足率

年度	経営学部 経営学科			経営学部 経営情報学科		
	志願者数	合格倍率	入学定員充足率	志願者数	合格倍率	入学定員充足率
平成 28 年度	2,225 人	4.2	1.02	954 人	2.6	1.02
平成 29 年度	2,704 人	3.8	1.07	1,041 人	2.8	1.19
平成 30 年度	4,356 人	5.3	1.29	1,583 人	5.2	1.14
平成 31 年度	4,994 人	9.5	0.92	1,846 人	6.3	0.91
令和 2 年度	2,760 人	3.8	1.00	1,137 人	2.8	1.14

※志願者数は、一般・大学入試センター試験利用入試の数を示す

ウ) 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容

(1) 国際学部

新たに設置する国際学部の教育課程は、既存の外国語学部を基盤としつつ新たな教育課程として、以下のように編成する。

教育課程は「専門科目」と「教養科目」で構成する。専門科目は「協働学習プロジェクト科目」と「文化社会科目」の2つに区分する。さらに「協働学習プロジェクト科目」は、「文化構想領域」「国際共生領域」「社会協創領域」の3領域と「実習・演習科目」に区分する。それぞれの領域は、「プロジェクト科目」「基幹科目」「接続科目」の3つの科目群から構成する。「文化社会科目」は、「地域文化科目」「一般学芸科目」「言語学芸科目」「エアライン・ホスピタリティ科目」「学芸員科目」「日本語教員科目」「英語基礎科目」「地域言語科目」の8科目区分で構成する。さらに「地域言語科目」は、「英語」「諸言語」「中国語」「スペイン語」「インドネシア語・マレー語」に区分する。4年間を通して展開するゼミ授業として、「ゼミ・卒業研究」の科目群を置く。上述した専門科目は、全て国際学部のみ履修科目であり、他学部への影響は生じない。

教養科目は、「人文科学系」「社会科学系」「自然・科学技術系」「英語系」「外国語系」「日本語系」「数理・情報系」「キャリアデザイン系」「スポーツ系」「地域志向系」「共通基礎系」「教養特別系」「外国人留学生対象科目」「帰国学生対象科目」の14分野に74科目を配置する。教養科目では、「基礎英語Ⅰa」(1単位)、「基礎英語Ⅱa」(1単位)、「情報リテラシーⅠ」(1単位)、「情報リテラシーⅡ」(1単位)、「キャリアデザインⅠ」(1単位)、「キャリアデザインⅡ」(1単位)の6単位を必修とする。選択科目として、「人文科学系」「社会科学系」「自然・科学技術系」「地域志向系」「教養特別系」から16単位以上、「外国語系」「日本語系」「キャリアデザイン系」「スポーツ系」「共通基礎系」から10単位以上を修得し、教養科目からは合計32単位以上を修得する。教養科目うち「キャリアデザイン系」「地域志向系」「共通基礎系」「教養特別系」「外国人留学生対象科目」「帰国学生対象科目」は本大学の他学部との共通科目となっている。

今般の国際学部の設置と同時に外国語学部の学生募集を停止することから、国際学部の設置による教育課程の面での他学部への影響は生じないことを確認している。

(2) 経営学部

経営学部の教育課程は、2学科から1学科への改編に伴い、以下の通り編成するが、基本的な教育課程の構成に変更はない。

教育課程は「専門科目」と「教養科目」で構成する。専門科目には「専門基礎科目群」「マネジメント群（改編前：経営学科「企業経営群」）」「ICTビジネス群（改編前：経営情報学科「ビジネスIT群」）」「マーケティング群」「会計ファイナンス群」「応用・実践科

目群」「法律科目群」「演習・卒業研究」の科目群を置く。教養科目には「人文科学系」「社会科学系」「自然・科学技術系」「英語系外国語」「外国語系」「日本語系」「数理・情報系」「キャリアデザイン系」「スポーツ系」「地域志向系」「共通基礎系」「教養特別系」「外国人留学生対象科目」「帰国学生対象科目」の科目群を置く。学則変更の前後において、専門科目では 57 科目から 91 科目へと 34 科目の増加、教養科目では 97 科目から 101 科目へと 4 科目の増加となっている。

今般の経営学部の改編に合わせ、教育課程のさらなる充実を図っており、同等以上の内容を担保している。原則全学共通である教養科目についても他学部への影響が生じないことを確認している。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

(1) 国際学部

国際学部の教育方法及び履修指導方法は、以下に示す通りである。収容定員に係る学則変更後においても、学生に対し適切かつ充実した教育と履修指導を実施する。本学部は外国語学部にも所属する全教員が移籍しその基盤に基づき設置する学部であることから、本学部の設置による他学部への教育方法や履修指導における影響は生じない。

(教育方法)

国際学部の授業は、講義科目、演習科目、実習科目で構成する。本学部の科目の多くが講義科目であるが、各プロジェクト科目については、講義と演習を隔週で組み合わせたストリーム型の授業を行う。演習科目は、一部の外国語科目及び 4 年間を通じたゼミナール科目を設定する。実習科目は、協働学習プロジェクト科目の「実習・演習科目」として「海外実習」や「体験型特別実習」等の 5 科目を配置する。本学部では、ゼミナール科目や言語科目等をはじめとして、少人数教育を実施する計画である。

国際学部の入学定員の設定は、社会的要請と最適な教育効果を考慮し、250 人とするものである。講義科目においては、選択科目が多いことから履修人数により変化はするものの、40 人～100 人の学生数での授業を実施する。80 人以上の大教室、中教室の授業では、マイク、スピーカー、板書が後方座席でも確実に見えるディスプレイの設置、授業の補助機器を確実に整備し、授業の質と効果を担保する。また、講義科目においても少人数グループに分け、アクティブラーニングである対話的学びや課題解決型の学びを多く取り入れる。演習科目、ゼミナール科目では、複数教員の配置も含め、学生をいくつかのグループに分けた、15 人～40 人程度の少人数の授業を実施する。機器の整備と並行し、学生からの授業アンケート調査や自己点検の実施により、授業が適切に実施されているかを常に確認する。

(履修指導方法)

国際学部では、入学時及び各学年が始まる前に、履修指導のオリエンテーションを実施し、授業科目の履修方法等を説明するほか、個別相談を受けながら、専任教員全員が指導にあたり、学生の目標に沿った履修指導を行う。また、授業の目的や内容の進め方、成績評価基準等はシラバスに明記し、学生自らの学習歴や学習意欲に合致した授業科目を選択できるよう履修指導体制を整備する。

(2) 経営学部

経営学部の講義科目及び演習科目、ゼミナール科目等の授業方法、1クラスあたりの学生数、履修指導方法等は、現行の教育方法を継承する。(表4)の通り収容定員の学則変更の前後で変更はない。収容定員は改編前の2学科体制時(1,096人)から改編後の1学科体制時(1,132人)より36人増員と、各科目のクラス数や必要専任教員数は1.03倍の微増となるが、経営情報学科の全ての体制が経営学科に引き継がれることからクラス編成に支障はなく、従前からの教育環境の水準を担保する。

(表4)：収容定員に係る学則変更の前後における経営学部のゼミナールの人数

		学則変更前	学則変更後	増減
経営学部 全体	収容定員	1,096人	1,132人	+36人
	ゼミナール数	84クラス	84クラス	増減なし
	学生数/ゼミナール	13.0人	13.5人	ほぼ増減なし
経営学部 経営学科	収容定員	688人	1,132人	+444人
	ゼミナール数	42クラス	84クラス	+42クラス
	学生数/ゼミナール	16.4人	13.5人	▲2.9人
経営学部 経営情報学科	収容定員	408人	—	▲408人
	ゼミナール数	42クラス	—	—
	学生数/ゼミナール	9.7人	—	—

(ウ) 教員組織の変更内容

今般の収容定員に係る学則変更を行う学部学科及び大学全体における大学設置基準上の必要教員数は充たしており、収容定員に係る学則変更の前後において、教員組織体制の低下はない。学則変更に係る学部学科の教員組織の変更内容は、以下の通りである。

(1) 国際学部

今般設置する国際学部では、37人の専任教員(うち教授14人)を配置する。職位別には、教授14人、准教授10人、講師13人で構成する。専任教員37人のうち22人

(59.5%)が博士学位を保有している。国際学部の専任教員は、学部設置と同時に学生募集を停止する外国語学部の専任教員37人全員が移籍のうえで就任する。収容定員の増員

(+120人)はあるものの、収容定員1,010人に対し専任教員37人の配置は、大学設置基準の必要専任教員数(14人)と対比して余裕を持った体制であり、教員組織の内容は同等に保たれている。国際学部の専任教員は、言語学、人文学等一部の教養科目において他学部の学生を担当しているが、教養科目の担当科目数の負担は、改組前からほぼ同水準となっている。よって、国際学部の設置による全学及び他学部への教員組織面での教学環境の低下は生じないと考えている。

(2) 経営学部

今般改編する経営学部では、26人の専任教員(うち教授11人)を配置する。職位別には、教授11人、准教授12人、講師3人で構成する。専任教員26人のうち17人(65.4%)が博士学位を保有している。経営学部の専任教員は、改編と同時に学生募集を停止する経営情報学科の専任教員12人全員が異動により就任する計画であり、若干の収容定員の増員(+36人)はあるものの、収容定員1,132人に対し専任教員26人の配置は、大学設置基準の必要専任教員数(17人)と対比して余裕を持った体制であり、教員組織の内容は同等に保たれている。経営学部全体では、教員組織は同水準となっており、(表5)の通り収容定員の学則変更の前後で専任教員1人あたりの学生数であるST比率(収容定員÷専任教員数)は42.2→43.5とほぼ同等となっている。経営学部の専任教員は、「経営学入門」等一部の教養科目を担当しているが、教養科目の担当科目数の負担は、改編前からほぼ同水準となっている。よって、経営学部の改編による全学及び他学部への教員組織面での教学環境の低下は生じないことを確認している。

(表5)：収容定員に係る学則変更の前後における経営学部の専任教員及びST比率

		学則変更前	学則変更後	増減
経営学部 全体	収容定員①	1,096人	1,132人	+36人
	専任教員数②	26人	26人	増減なし
	ST比率(①÷②)	42.2	43.5	1.3
経営学部 経営学科	収容定員①	688人	1,132人	+444人
	専任教員数②	14人	26人	+12人
	ST比率(①÷②)	49.1	43.5	▲5.6
経営学部 経営情報学科	収容定員①	408人	—	▲408人
	専任教員数②	12人	—	▲12人
	ST比率(①÷②)	34.0	—	—

※経営学部経営情報学科は、令和4年4月に学生募集を停止し、全ての学生が卒業した後に廃止する予定

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

本大学の全体の校地面積は 316,137.99 m² (寝屋川校地 135,018.48 m²、枚方校地 181,119.51 m²) であり、基準面積の 3.20 倍を有している。校舎面積は 130,603.79 m² (寝屋川校地 77,510.13 m²、枚方校地 53,093.66 m²) であり、基準面積 78,672.00 m² に対し 1.66 倍を有している。今般収容定員を増員 (+156 人) した場合でも、大学設置基準上必要な校地校舎面積は十分に確保している。

収容定員に係る学則変更を行う 2 学部は、本大学の寝屋川校地に設置する学部学科であり、本項では寝屋川校地における施設・設備について説明する。

5 学部 (理工学部、国際学部、経営学部、法学部、経済学部) を置く寝屋川校地の施設・設備は (表 6) の通りであり、快適に修学できる環境を整えている。

(表 6) : 寝屋川校地の主要施設概要

名称	構造	延床面積	主要施設
1 号館	SRC造・地上 9 階建	14,360.43 m ²	演習室、実験室、ゼミ室、研究室、教員室、事務室
2 号館	RC造・地上 2 階建	3,389.34 m ²	食堂、売店、ラーニングコモンズ、事務室
5 号館	RC造・地上 5 階建	6,518.55 m ²	講義室、語学学習施設、学生談話室、保健室、事務室
7 号館	SRC造・地上 8 階建	7,273.35 m ²	研究室、ゼミ室、実験室、模擬法廷、教員室、事務室、会議室
8 号館	RC造・S造・地上 6 階建	6,644.18 m ²	講義室、製図室、実験室、研究室、教員室、事務室
10 号館	SRC造・地上 7 階、 地下 1 階建	16,584.16 m ²	講義室、図書館、ラーニングコモンズ、情報処理学習施設、ゼミ室、CALL 教室、事務室
11 号館	SRC造・地上 12 階建	10,645.00 m ²	講義室、演習室、語学学習施設、研究室、ゼミ室、キャリアルーム、教員室、事務室
12 号館	SRC造・地上 9 階建	7,496.16 m ²	講義室、演習室、製図室、デザイン工房、研究室、実験室、教員室、事務室
13 号館	S造・地上 4 階建	4,429.86 m ²	食堂、多目的ホール、音楽練習場、部室

上述のほか、授業や課外活動等で使用する 6,020.55 m² の総合体育館、外国人留学生や下宿学生等のための 3,118.35 m² の宿所「国際会館」、計 5,427.4 m² の部室棟等を整備している。

今般の収容定員に係る学則変更にあたり校舎や教室の増設は特に計画していないが、現状の講義室、演習室等については余裕を持った運用を行っており、国際学部の設置と経営学部の改編に伴う増員分の収容定員も十分に収容、運用できることを確認している (【資料 1】)。運動場については、寝屋川校地において令和 2 (2020) 年 4 月より新たに人工芝グラウンド (35,718.36 m²) を整備し、体育の授業や課外活動で使用している。今後も継

続的に、学生の就学環境と学生生活の向上のため、利便性・安全性・快適性に配慮したキャンパス整備を推進していく。

今般の収容定員に係る学則変更を行う学部学科の具体的な施設・設備の使用状況、使用計画と収容能力は、以下の通りである。

(1) 国際学部

国際学部は、収容定員 1,010 人の学部として設置する。国際学部は外国語学部と同様に主に教員研究室を配置する 7 号館を校舎として使用するが、講義等は 300 人規模を収容できる 2 教室を含む 28 室を配置する 5 号館や情報処理室や語学・ゼミ室等 36 室を配置する 10 号館で行う。今般の収容定員に係る学則変更での増員は 120 人であり、現在の教室数において十分に収容可能であり、全ての授業科目の開講が可能であることを事前に確認している。国際学部の具体的な教室使用計画については【資料 1】で示す。

(2) 経営学部

経営学部は、収容定員 1,132 人の学部改編する。経営学部は主に 11 号館を校舎として使用しており、11 号館は講義室 25 室、演習室 7 室を配置している。今般の収容定員に係る学則変更での増員は 36 人であり、現在の教室数において十分に収容可能であり、全ての授業科目の開講が可能であることを事前に確認している。経営学部の具体的な教室使用計画については【資料 1】で示す。

【資料 1】 摂南大学寝屋川校地の教室使用実績（令和 2 年度）

以上

学則の変更の趣旨等を記載した書類

資料目次

添付資料Ⅰ 収容定員に係る学則変更を行う学部学科の教育課程等の概要

(1) 国際学部国際学科

(2) 経営学部経営学科

添付資料Ⅱ

【資料1】 摂南大学寝屋川校地の教室使用実績（令和2年度）

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要																
(国際学部 国際学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	文化構想領域 プロジェクト科目	表象と感性プロジェクト	2前	2		○					1					※演習
		歴史学プロジェクト	2前	2		○				1						※演習
		地理学プロジェクト	2前	2		○					1					※演習
		比較文化プロジェクト	2前	2		○				1						※演習
		人間存在論プロジェクト	2前	2		○				1						※演習
		都市と周縁プロジェクト	2前	2		○				1						※演習
		国際社会と日本語プロジェクト	2前	2		○				1						※演習
	小計(7科目)	—	0	14	0	—			4	1	2	0	0	0	—	
	基幹科目	表象文化論	2前	2		○					1					
		地域と歴史	2前	2		○				1						
		環境と社会	2前	2		○					1					
		思想と文化	2前	2		○				1						
		テクノロジーと人間	2前	2		○				1						
		異文化の理解	2前	2		○				1						
		多文化社会と日本語	2前	2		○									兼1	
	小計(7科目)	—	0	14	0	—			3	1	2	0	0	兼1	—	
	接続科目	英語圏異文化交流論	2前	2		○						1				
		英語圏比較文化論	2前	2		○				1						
		中国語と生活文化	2前	2		○				1						
		中国語圏の言語文化	2前	2		○				1						
		スペインの言語と文化	2前	2		○						1				
		ラテンアメリカの言語と文化	2前	2		○				1						
		インドネシア語と生活文化	2前	2		○					1					
		インドネシア語と現代文化	2前	2		○				1						
	小計(8科目)	—	0	16	0	—			5	1	2	0	0	0	—	
	国際共生領域 プロジェクト科目	地域研究プロジェクト(英語と諸地域)	2後	2		○				2						※演習
		地域研究プロジェクト(東アジア世界)	2後	2		○					1					※演習
地域研究プロジェクト(スペイン語と諸地域)		2後	2		○					1					※演習	
地域研究プロジェクト(東南アジア世界)		2後	2		○				1						※演習	
海外特別プロジェクトI		2後	2		○				2	1					※オムニバス、演習、メディア	
小計(5科目)	—	0	10	0	—			5	2	1	0	0	0	—		
基幹科目	グローバルスタディーズ(英語と諸地域)	2後	2		○					2						
	グローバルスタディーズ(東アジア世界)	2後	2		○				1							
	グローバルスタディーズ(スペイン語と諸地域)	2後	2		○						1					
	グローバルスタディーズ(東南アジア世界)	2後	2		○				1							
小計(4科目)	—	0	8	0	—			2	0	3	0	0	0	—		
接続科目	英語で考える環境問題	2後	2		○									兼1		
	英語で考える社会問題	2後	2		○									兼1		
	中国語を通して見る世界	2後	2		○									兼1		
	中国語圏の地域と共生	2後	2		○				1							
	スペインから世界を見る	2後	2		○						1					
	ラテンアメリカから世界を見る	2後	2		○				1							
	インドネシア語で世界を知る	2後	2		○					1						
	マレー語圏の地域を知る	2後	2		○				1							
小計(8科目)	—	0	16	0	—			3	1	1	0	0	兼2	—		
社会協創領域 プロジェクト科目	言語コミュニケーションプロジェクト	3前	2		○						1				※演習	
	メディアと現代社会プロジェクト	3前	2		○						1				※演習	
	マイノリティ研究プロジェクト	3前	2		○				1						※演習	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	社会協創領域 プロジェクト科目	地域研究・国際政治プロジェクト	3前	2			○				1					※演習	
		地域とビジネスプロジェクト	3前	2			○				1					※演習	
		国際貢献・ボランティアプロジェクト	3前	2			○				1					※演習	
		海外特別プロジェクトII	3前	2			○				3					※オムニバス、演習、メディア	
		小計(7科目)	—	0	14	0					4	1	2	0	0	0	—
	基幹科目	ことばと社会	3前	2			○						1				
		メディア文化論	3前	2			○						1				
		ジェンダーとマイノリティ	3前	2			○									兼1	
		比較政治学	3前	2			○					1					
		国際ビジネス論	3前	2			○				1						
		国際貢献論	3前	2			○				1						
		小計(6科目)	—	0	12	0					2	1	2	0	0	兼1	—
	接続科目	Studies in Media and Communication	3前	2			○									兼1	
		Studies in Hospitality and Tourism	3前	2			○					1					
		中国語で読み解く地域社会	3前	2			○						1				兼1
		中国語圏から社会を考える	3前	2			○							1			
		スペイン語を通して学ぶヨーロッパ社会	3前	2			○						1				
		スペイン語を通して学ぶラテンアメリカ社会	3前	2			○					1					
		インドネシア語で考える現代社会	3前	2			○				1						
		マレー語で考える国際社会	3前	2			○				1						
	小計(8科目)	—	0	16	0					2	2	2	0	0	兼2	—	
	実習・演習科目	課題解決型ワークショップ	3後	2					○			1	1				兼1
		ホスピタリティ実習演習	3前又は後	2				○									兼1
		海外インターンシップ	1・2・3・4前又は後	2					○		1						集中
		海外実習	1・2・3・4前又は後	2					○		1						集中
		体験型特別実習	1・2・3・4前又は後	2					○		1						集中
小計(5科目)	—	0	10	0					3	1	1	0	0	兼1	—		
文化社会科目	地域文化科目	世界を学ぶ	1前	2			○				1	1			兼1	※演習	
		日本を学ぶ	1後	2			○				2	1				※演習	
		エリアスタディーズ 北アメリカ	1前	2			○				1						
		エリアスタディーズ ラテンアメリカ	1前	2			○				1						
		エリアスタディーズ 東アジア	1前	2			○					1	1			オムニバス	
		エリアスタディーズ 西アジア・南アジア	1前	2			○								兼1		
		エリアスタディーズ 東南アジア	1後	2			○				1						
		エリアスタディーズ アフリカ	1後	2			○								兼1		
		エリアスタディーズ ヨーロッパ	1後	2			○								兼1		
		エリアスタディーズ オセアニア	1後	2			○					1					
	小計(10科目)	—	4	16	0					5	3	2	0	0	兼3	—	
	一般学芸科目	共同体論	1前	2			○									兼1	
		多文化共生論	1前	2			○						1				
風土と地理		1前	2			○						1					
国際関係論		1後	2			○				1							
国際社会と経済		2後	2			○					1						
メディアリテラシー論		2後	2			○				1							
現代社会論		2後	2			○				1							
地域と観光		2後	2			○						1					
生物と環境		3後	2			○						1					
ナショナルリズム論		3後	2			○					1						
視覚文化論		3後	2			○						1					
Studies in Popular Culture		3後	2			○						1					
Studies in Language and Society		3後	2			○						1					
小計(13科目)	—	0	26	0					3	2	5	0	0	兼1	—		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 文化社会科目 言語学芸科目	音声学	1前		2		○			1							
	英語学概論	1前		2		○				1						
	言語学	1後		2		○				1						
	日本語史概説	1後		2		○			1							
	英語意味論・語用論	2前		2		○				1						
	日本語音韻論	2前		2		○			1							
	英語構造論	2後		2		○					1					
	日本語語彙論	3前		2		○					1					
	日本語文法論	3後		2		○					1					
	日本の文学	2後		2		○					1					
	中国の文学	2後		2		○									兼1	
	英語圏の文学	3後		2		○				1						
小計(12科目)		—	0	24	0	—			2	2	3	0	0	兼1	—	
ピエタ ライ ティ イン 科・ホ ス	ホテルビジネス論	2前		2		○									兼1	
	ホスピタリティ基礎論	2後		2		○									兼1	
	ホスピタリティスキル論	3前		2		○									兼1	
	エアラインサービス論	2後		2		○									兼1	
	エアラインビジネス論	3前		2		○									兼1	
小計(5科目)		—	0	10	0	—		0	0	0	0	0	兼2	—		
学芸員 科目	ミュージアムへの招待	1後		2		○					1					
	ミュージアムコレクション論	2前		2		○					1					
	博物館資料保存論	2前		2		○				1						
	ディスプレイ論	2後		2		○									兼1	
	生涯学習論	3前		2		○									兼1	
	ミュージアムマネジメント論	3前		2		○				1						
	博物館情報・メディア論	3後		2		○									兼1	
	博物館教育論	3後		2		○									兼1	
	博物館実習	4前又は後		3				○		1	1				共同・集中	
小計(9科目)		—	0	19	0	—		0	1	1	0	0	兼4	—		
日本語 教員 科目	日本語教授法Ⅰ	3前		2		○			1							
	日本語教授法Ⅱ	3後		2		○									兼1	
	日本語教授法Ⅲ	3後		2		○									兼1	
	日本語教育実習演習	4前・後		3				○	1							
小計(4科目)		—	0	9	0	—		1	0	0	0	0	兼2	—		
英語 基礎 科目	Speaking & Writing a	1前		1		○				1	2				兼7	
	Reading a	1前	1			○			4	2	1					
	TOEIC a	1前		1		○									兼5	
	Communicative English Grammar	1前		1		○			4	4	2					
	Speaking & Writing b	1後		1		○				1	2				兼7	
	Reading b	1後	1			○			4	2	1					
	TOEIC b	1後		1		○									兼5	
	Drama	1後		1				○	2	2	1					
	Japanese Society and Culture	2前	1			○			1	3	3					
	Academic Reading & Listening	2前		1		○			2	2	1					
	Academic Writing Workshop	2前		1		○			3	1	1					
	Debate	2後		1		○			3	1	1					
	Presentation	2後		1		○			1	1	3					
小計(13科目)		—	3	10	0	—		5	5	6	0	0	兼10	—		
地域 言語 科目	Topic Studies I a	1前		1				○		2					兼	
	Topic Studies I b	1後		1				○		2					兼3	
	Discussion a	2前		1		○				1	1				兼4	
	Topic Studies II a	2前		1		○			1						兼4	
	Discussion b	2後		1		○				1	1				兼4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目 文化社会科目 地域言語科目	英語 Topic Studies IIb	2後		1		○			1						兼4		
	Advanced Academic Writing Workshop a	3前		2		○			2								
	Lecture a	3前		2		○					3						
	Film Making	3前		2			○			1							
	Business English a	3前		2		○			1	1	1						
	Topic Studies IIIa	3前		2		○				1						兼2	
	Advanced Academic Writing Workshop b	3後		2		○			2								
	Lecture b	3後		2		○					3						
	Business English b	3後		2		○			1	1	1						
	Topic Studies IIIb	3後		2		○				1						兼2	
	Comprehensive Studies a	4前		2		○			1								
	Comprehensive Studies b	4後		2		○			1								
	小計(17科目)	—		0	28	0	—		4	4	4	0	0		兼11	—	
	諸言語 諸言語輪講	1前		1			○			1	2						オムニバス
	小計(1科目)	—		1	0	0	—		1	2	0	0	0		0	—	
	中国語 中国語で読み解くⅠ	1後			1		○					1				兼1	
	中国語で表現するⅠ	1後			1		○			1						兼1	
中国語で会話するⅠ	1後			1		○					1						
中国語で読み解くⅡ	2前			1		○											
中国語で表現するⅡ	2前			1		○			1								
中国語で会話するⅡ	2前			1		○									兼1		
中国語で読み解くⅢ	2後			1		○					1						
中国語で表現するⅢ	2後			1		○			1								
中国語で会話するⅢ	2後			1		○			1								
中国語プレゼンテーション	3前			2		○									兼1		
小計(10科目)	—		0	11	0	—		2	0	1	0	0		兼4	—		
スペイン語 スペイン語文法Ⅰ	1後			1		○			1						兼1		
スペイン語表現	1後			1		○					1				兼1		
スペイン語会話Ⅰ	1後			1		○									兼2		
スペイン語文法Ⅱ	2前			1		○									兼1		
スペイン語読解	2前			1		○				1							
スペイン語会話Ⅱ	2前			1		○									兼1		
スペイン語圏社会講読(南欧)	2後			1		○									兼1		
スペイン語圏社会講読(ラテンアメリカ)	2後			1		○			1								
スペイン語文章構成	2後			1		○									兼1		
スペイン語プレゼンテーション	3前			2		○			1								
小計(10科目)	—		0	11	0	—		1	1	1	0	0		兼4	—		
インドネシア語・マレー語 インドネシア語文法	1後			1		○			1						兼1		
インドネシア語表現Ⅰ	1後			1		○				1					兼2		
インドネシア語会話Ⅰ	1後			1		○											
総合インドネシア語	2前			1		○			1								
インドネシア語表現Ⅱ	2前			1		○				1							
インドネシア語会話Ⅱ	2前			1		○									兼1		
総合マレー語	2後			1		○			1								
実践インドネシア語	2後			1		○				1							
旅行インドネシア語	2後			1		○									兼1		
インドネシア語・マレー語プレゼンテーション	3前			2		○			1								
小計(10科目)	—		0	11	0	—		2	1	0	0	0		兼2	—		
ゼミ・卒業研 初年次ゼミナール	1前		2				○		6	3	7						
基礎ゼミナール	1後		2				○		7	6	3						
基礎演習Ⅰ	2前		2				○		6	6	4						
基礎演習Ⅱ	2後		2				○		4	4	8						
文化演習Ⅰ	3前		2				○		14	10	12						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門科目	ゼミ・卒業	文化演習Ⅱ	3後	2				○			14	10	12					
		卒業研究Ⅰ	4前又は後	2				○			14	10	12					
		卒業研究Ⅱ	4前又は後	2				○			14	10	12					
		小計(8科目)	—	16	0	0		—			14	10	12	0	0	0	—	
教養科目	人文科学系	人間の探究	1前		2			○									兼1	オムニバス
		文学から学ぶ	1前		2			○		1	1	1					兼1	
		歴史に学ぶ	1後		2			○									兼1	
		心理学	2前		2			○									兼1	
		小計(4科目)	—	0	8	0		—		1	1	1	0	0	0	兼3	—	
	社会科学系	法学入門	1前		2			○									兼1	—
		世界の政治	1前		2			○			1						兼1	
		日本国憲法	1後		2			○									兼1	
		経済学入門	2前		2			○									兼1	
		経営学入門	2後		2			○									兼1	
	小計(5科目)	—	0	10	0		—		0	1	0	0	0	0	兼4	—		
	自然・科学技術系	住まいとデザイン	1前		2			○									兼2	—
		食品機能学	1後		2			○									兼1	
		人体の構造と機能	2前		2			○									兼1	
		公衆衛生学	2前		2			○									兼1	
		科学技術教養	3前又は後		2			○									兼1	
	小計(5科目)	—	0	10	0		—		0	0	0	0	0	0	兼6	—		
	英語系	基礎英語Ⅰa	1前	1				○									兼6	—
		基礎英語Ⅱa	1後	1				○									兼6	
		小計(2科目)	—	2	0	0		—		0	0	0	0	0	0	兼6		
外国語系	韓国語Ⅰ	1後		1			○			1						兼1	—	
	韓国語Ⅱa	2前		1			○									兼1		
	韓国語Ⅱb	2前		1			○									兼1		
	韓国語Ⅲa	2後		1			○									兼1		
	韓国語Ⅲb	2後		1			○									兼1		
	小計(5科目)	—	0	5	0		—		0	1	0	0	0	0	兼2			
日本語系	日本語表現Ⅰ	1前		1			○									兼3	—	
	日本語表現Ⅱ	1後		1			○									兼3		
	コミュニケーションⅠ	2前		1			○									兼2		
	小計(3科目)	—	0	3	0		—		0	0	0	0	0	0	兼5			
情報系	情報リテラシーⅠ	1前	1				○									兼2	—	
	情報リテラシーⅡ	1後	1				○									兼2		
	小計(2科目)	—	2	0	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2			
キャリアデザイン系	キャリアデザインⅠ	1前	1				○									兼5	—	
	キャリアデザインⅡ	1後	1				○									兼1 共同		
	エンプロイメントデザインⅠ	1後		1			○									兼3 共同		
	エンプロイメントデザインⅡ	2前		1			○									兼2 共同		
	インターンシップ	3通		2				○								兼2		
	ビジネス実務	3後		2			○									兼1		
小計(6科目)	—	2	6	0		—		0	0	0	0	0	0	兼6				
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1前		1				○								兼1	—	
	スポーツ科学実習Ⅱ	1後		1				○								兼1		
	スポーツと健康	2前		2			○									兼1		
	小計(3科目)	—	0	4	0		—		0	0	0	0	0	0	兼2			
地域志向系	地域と私	1前		2			○									兼1	集中	
	北河内を知る	1後		2			○									兼1		
	ソーシャル・イノベーション実務総論	1後		2			○									兼1		
	摂南大学PBLプロジェクトⅠ	2通		2				○		1						兼9		
	摂南大学PBLプロジェクトⅡ	2通		2				○		1						兼9		
	小計(6科目)	—		12			—		1	1	1					兼9		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	地域志	地域貢献実践演習	3通		2			○							兼1	集中
		小計(6科目)	—	0	12	0		—		1	0	1	0	0	兼13	—
	共通基礎系	大学教養入門	1前		2			○				1			兼1	共同
		大学教養実践	1後		2			○							兼1	共同
		数的能力開発 I	2後		1			○							兼2	
		就職実践基礎	2後		1			○							兼2	
		時事問題 I	2前		2			○							兼4	
		時事問題 II	2後		2			○							兼3	
		小計(6科目)	—	0	10	0		—		0	0	1	0	0	兼7	—
	教養特別系	教養特別講義 I	1・2・3・4前又は後		2			○							兼13	
		教養特別講義 II	1・2・3・4前又は後		2			○							兼13	
		教養特別講義 III	1・2・3・4前又は後		2			○							兼13	
		教養特別講義 IV	1・2・3・4前又は後		2			○							兼13	
		教養特別講義 V	1・2・3・4前又は後		2			○							兼13	
		小計(5科目)	—	0	10	0		—		0	0	0	0	0	兼13	—
	外国人留学生対象科目	日本事情F I	1・2・3・4前		2			○		1						
		日本事情F II	1・2・3・4後		2			○		1						
		日本語読解F I	1・2・3・4前		1			○							兼1	
		日本語読解F II	1・2・3・4後		1			○							兼1	
		日本語文法F I	1・2・3・4前		1			○							兼1	
日本語文法F II		1・2・3・4後		1			○							兼1		
日本語表現作文F I		1・2・3・4前		1			○							兼1		
日本語表現作文F II		1・2・3・4後		1			○							兼1		
日本語総合F I		1・2・3・4前		1			○							兼1		
日本語総合F II		1・2・3・4後		1			○							兼1		
専門日本語F I		1・2・3・4前		1			○							兼1		
専門日本語F II		1・2・3・4後		1			○							兼1		
日本語会話F I		1・2・3・4前		1			○							兼1		
日本語会話F II		1・2・3・4後		1			○							兼1		
小計(14科目)		—	0	16	0		—		1	0	0	0	0	兼5	—	
帰国学生対象科目	日本事情R I	1・2・3・4前		2			○		1							
	日本事情R II	1・2・3・4後		2			○		1							
	日本語読解R	1・2・3・4前		1			○							兼1		
	日本語文法R	1・2・3・4後		1			○							兼1		
	日本語表現作文R	1・2・3・4前		1			○							兼1		
	日本語総合R	1・2・3・4後		1			○							兼1		
	専門日本語R	1・2・3・4前		1			○							兼1		
	日本語会話R	1・2・3・4後		1			○							兼1		
	小計(8科目)	—	0	10	0		—		1	0	0	0	0	兼4	—	
教職課程の設置により開設する授業科目	英語科教育法 I	3前			2		○		1							
	英語科教育法 II	3後			2		○		1							
	英語科教育法 III	3前			2		○		1							
	英語科教育法 IV	3後			2		○		1							
	教育原理	2前又は後			2		○				1					
	教師論	1前			2		○							兼1		
	教育経営論	3前又は後			2		○							兼1		
	教育社会学	3前又は後			2		○							兼1		
	教育心理学	1前又は後			2		○							兼1		
	特別支援教育論	3前又は後			2		○							兼1		
	教育課程論	2前又は後			2		○							兼1		
	道徳教育論	3前又は後			2		○				1					
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	1前又は後			2		○							兼1		
	教育方法論	2前又は後			2		○							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教職課程の設置により開設	生徒指導論(進路指導を含む)	2前又は後			2	○									兼1	
	教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	3前又は後			2	○									兼1	
	教育実習Ⅰ	3前又は後			1					1					兼4	
	教育実習Ⅱ	4通			2					1					兼4	
	教育実習Ⅲ	4通			4					1					兼4	
	教職実践演習(中・高)	4後			2		○			1					兼4	
	地域連携教育活動Ⅰ	2前又は後			2					1					兼4	
	地域連携教育活動Ⅱ	2前又は後			2					1					兼4	
小計(22科目)		—	0	0	45	—			2	0	1	0	0	兼4	—	
合計(283科目)			—	30	409	45	—		14	10	13	0	0	兼95	—	
学位又は称号		学士(文学)		学位又は学科の分野			文学関係									
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
<p>本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、専門科目92単位以上〔必修科目24単位、選択必修科目29単位以上(注1)、選択科目29単位以上(注2)、選択必修科目・選択科目から10単位以上〕、教養科目32単位以上〔必修科目6単位、選択科目26単位以上(注3)〕の合計124単位以上を修得し、かつ入学時からの累積GPAが1.3以上であること。</p> <p>(注1)〔専門科目の選択必修科目〕 1 協働学習プロジェクト科目26単位以上(文化構想領域、国際共生領域、社会協創領域の各領域において、選択したプロジェクト科目1科目と対応する基幹科目1科目、および接続科目2科目の合計4科目8単位以上、実習演習科目2単位以上)を修得。 2 文化社会科目3単位以上(中国語、スペイン語、インドネシア語・マレー語のうち、いずれかの言語から3単位)を修得。</p> <p>(注2)〔専門科目の選択科目〕 地域文化科目、一般学芸科目および言語学芸科目から22単位以上、地域言語科目から7単位以上を修得。 ただし、「English Language Honors Track」は地域文化科目、一般学芸科目および言語学芸科目から16単位以上、英語基礎科目から6単位以上、地域言語科目のうち英語科目から7単位以上を修得。</p> <p>(注3)〔教養科目の選択科目〕 人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、教養特別系から16単位以上、外国語系、日本語系、キャリアデザイン系、スポーツ系、共通基礎系から10単位以上を修得。</p> <p>〔履修科目の登録の上限：48単位(年間)〕</p>						1 学年の学期区分		2期								
						1 学期の授業期間		15週								
						1 時限の授業時間		90分								

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要																		
(経営学部 経営学科)																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手				
専門科目	専門基礎科目群	経営学入門	1前	2			○			1								
		経営管理論	2前		2			○			1							
		地域産業論	2後		2			○				1						
		ビジネス情報処理 I	1前	2					○	1		2						兼1
		ビジネス情報処理 II	1後	2					○			2						兼1
		ICTビジネス入門	1前	2				○				1						
		情報倫理	2前		2			○		1								兼1
		情報と職業	2後		2			○		1								
		マーケティング入門	1後		2			○		1	1							
		消費者心理学	1後		2			○			1							
		簿記入門	1前	4				○				2						
		財務諸表論入門	1後		2			○		1								
		経済学入門	1後		2			○		1	1							
		ミクロ経済学	2前		2			○		1	1							
		マクロ経済学	2後		2			○			1							
		経営統計学	1後		2			○		1	2							
		市場調査入門	1後		2			○			1							
		マネジメントサイエンス	2後		2			○		1								
小計(18科目)		—	12	26	0		—		6	7	2	0	0		兼1	—		
マネジメント群		経営組織論	2前		2		○		1									
		経営戦略論	3前		2		○		1									
		人的資源管理論	2後		2		○			1								
		組織行動論	3前		2		○			1								
		中小企業論	2前		2		○				1							
		現代企業論	2後		2		○				1							
		イノベーション論	3前		2		○		1									
		日本経営史	2後		2		○				1							
		外国経営史	3前		2		○				1							
		国際経営論 I	2前		2		○			1								
国際経営論 II	3後		2		○				1									
小計(11科目)		—	0	22	0		—		2	2	2	0	0	0		—		
ICTビジネス群		情報科学	2前		2		○		1									
		プログラミング I	2前		2		○				1							
		プログラミング II	2後		2		○				1							
		経営情報システム I	2前		2		○			1								
		経営情報システム II	2後		2		○		1									
		情報ネットワークとセキュリティ	2後		2		○			1								
		コンピュータデータ分析	3前		2		○			1								
		コンピュータサイエンス	3前		2		○				1							
		プロダクトデザイン I	3前		2		○		1									
		プロダクトデザイン II	3後		2		○		1									
		ビジネスシミュレーション	3前		2		○			1								
		流通情報システム	3後		2		○			1								
小計(12科目)		—	0	24	0		—		2	2	2	0	0	0		—		
マーケティング群		消費者行動論	2前		2		○		1									
		マーケティング戦略論	2前		2		○		1									
		メディアと社会	2前		2		○			1								
		メディア戦略論	3前		2		○			1								

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	マーケティング群	ブランド論	2前	2		○			1							
		リテールマーケティング	2後	2		○			1							
		サービスマーケティング	3前	2		○										
		データサイエンスⅠ	2後	2		○				1						
		データサイエンスⅡ	3後	2		○				1						
		マーケティングリサーチⅠ	2前	2		○				1						
		マーケティングリサーチⅡ	3前	2		○				1						
	小計(11科目)	—	0	22	0	—			2	4	0	0	0	0	—	
	会計ファイナンス群	商業簿記	2前	2		○					1					
		工業簿記	2後	2		○				2						
		財務会計論Ⅰ	2前	2		○						1				
		財務会計論Ⅱ	2後	2		○						1				
		連結会計論	3前	2		○			1							
		管理会計論Ⅰ	3前	2		○				1						
		管理会計論Ⅱ	3後	2		○				1						
		会計情報分析論	3前	2		○				1						
		ファイナンスⅠ	2前	2		○			1							
		ファイナンスⅡ	2後	2		○			1							
		コーポレート・ファイナンスⅠ	3前	2		○						1				
コーポレート・ファイナンスⅡ		3後	2		○						1					
小計(12科目)	—	0	24	0	—			2	2	1	0	0	0	—		
応用・実践科目群	ベンチャービジネス論	2前	2		○			1								
	ビジネスプランニング	3後	2		○			1								
	知的財産管理論	3後	2		○			1								
	企業分析(経営戦略ケース分析)	3後	2		○			1								
	ICTビジネス演習A	3前	2			○		1								
	ICTビジネス演習B	3後	2			○			1							
	ICTビジネス演習C	3後	2			○				1						
	マーケティングリサーチ演習A	3前	2			○			1						兼1	
	マーケティングリサーチ演習B	3後	2			○		1							兼1	
	マーケティング演習A	3後	2			○			1							
	マーケティング演習B	3後	2			○			1							
	調査実践演習Ⅰ	3前	2			○			2							
	調査実践演習Ⅱ	3後	2			○			2							
	中小企業会計論	3後	2			○			1							
	企業分析(財務戦略ケース分析)	3後	2			○			1							
	経営学特講Ⅰ	1・2・3・4前又は後	2			○			1							
	経営学特講Ⅱ	2・3・4前又は後	2			○			1							
	経営学特講Ⅲ	3・4前又は後	2			○			1							
小計(18科目)	—	0	36	0	—			4	5	1	0	0	兼1	—		
法律科目群	民法	2前	2		○										兼1	
	会社法	3前	2		○										兼1	
	労働法	3前	2		○										兼1	
	金融商品取引法	3後	2		○										兼1	
小計(4科目)	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0	兼3	—		
演習・卒業研究	基礎演習	1前	2			○		5	9	3						
	専門基礎演習	1後	2			○		5	9	3						
	専門演習Ⅰ	2前・後	4			○		10	11	2						
	専門演習Ⅱ	3前・後	4			○		11	11	1						
	卒業研究	4前・後	4			○		11	10	1						
小計(5科目)	—	16	0	0	—			11	11	3	0	0	0	—		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
教養 科目	人文 科学系	心理学Ⅰ	1前	2		○									兼2	
		心理学Ⅱ	1後	2		○									兼2	
		哲学Ⅰ	1・2前	2		○									兼1	
		哲学Ⅱ	1・2後	2		○									兼1	
		倫理学	2後	2		○									兼1	
		日本の歴史	1前	2		○									兼1	
		世界の歴史	1後	2		○									兼1	
		地誌学	1後	2		○									兼1	
		人文地理学	1・2・3前又は後	2		○									兼1	
		文学から学ぶ	1・2前又は後	2		○									兼1	
	小計(10科目)	—	0	20	0	—			0	0	0	0	0	兼10	—	
社会 科学系	社会学系	社会学Ⅰ	1前	2		○				1					兼1	
		社会学Ⅱ	1後	2		○				1					兼1	
		法学入門	1・2・3前	2		○									兼1	
		日本国憲法	1・2・3後	2		○									兼1	
		日本の政治	2・3前又は後	2		○									兼1	
		世界の政治	2前又は後	2		○									兼1	
	小計(6科目)	—	0	12	0	—			0	1	0	0	0	兼4	—	
自然・ 科学 技術系	住まいとデザイン	住まいとデザイン	1前	2		○									兼1	
		自然地理学	1・2前又は後	2		○									兼1	
		環境と現代社会	2後	2		○									兼1	
		公衆衛生学	2前	2		○									兼1	
		産業技術史	3後	2		○									兼1	
		科学技術教養	3・4前又は後	2		○									兼1	オムニバス
	小計(6科目)	—	0	12	0	—			0	0	0	0	0	兼6	—	
英語系 外国語	基礎英語Ⅰa	基礎英語Ⅰa	1前	1		○									兼9	
		基礎英語Ⅰb	1前	1		○									兼9	
		基礎英語Ⅱa	1後	1		○									兼9	
		基礎英語Ⅱb	1後	1		○									兼9	
		実践英語Ⅰa	2前	1		○									兼9	
		実践英語Ⅰb	2前	1		○									兼9	
		実践英語Ⅱa	2後	1		○									兼9	
		実践英語Ⅱb	2後	1		○									兼9	
		ビジネスイングリッシュⅠ	3前	1		○									兼1	
		ビジネスイングリッシュⅡ	3後	1		○									兼1	
		英語コミュニケーションⅠ	3前	1		○									兼1	
		英語コミュニケーションⅡ	3後	1		○									兼1	
		アドバンスト英語Ⅰ	2前	1		○									兼1	
		アドバンスト英語Ⅱ	2後	1		○									兼1	
		アドバンスト英語Ⅲ	3前	1		○									兼1	
	小計(15科目)	—	0	15	0	—			0	0	0	0	0	兼35	—	
外国 語系	海外語学研修	海外語学研修	1・2・3・4前又は後	2				○							兼1	
		ビジネス中国語基礎a	1前	1		○									兼2	
		ビジネス中国語基礎b	1前	1		○									兼2	
		ビジネス中国語基礎c	1後	1		○									兼2	
		ビジネス中国語基礎d	1後	1		○									兼2	
		中国語を聞くa	2前	1		○									兼1	
		中国語を聞くb	2後	1		○									兼1	
		中国語を話すa	2前	1		○									兼1	
		中国語を話すb	2後	1		○									兼1	
	小計(9科目)	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	兼7	—	
日本 語系	日本語表現Ⅰ	日本語表現Ⅰ	1前又は後	1		○									兼2	
		日本語表現Ⅱ	1後	1		○									兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	コミュニケーションⅠ	2・3前		1		○									兼1
	小計(3科目)	—	0	3	0	—			0	0	0	0	0	0	兼4
数理・情報系	数学基礎Ⅰ	1前		1		○									兼5
	数学基礎Ⅱ	1後		1		○									兼5
	情報技術演習	2後		1			○								兼1 集中
	小計(3科目)	—	0	3	0	—			0	0	0	0	0	0	兼6
キャリアデザイン系	キャリアデザインⅠ	1前又は後	1				○								兼2
	キャリアデザインⅡ	1・2後		1			○								兼2
	キャリアデザインⅢ	3前		1			○								兼1
	エンプロイメントデザインⅠ	1後		1			○								兼3
	エンプロイメントデザインⅡ	2前		1			○								兼3
	インターンシップ	3前		2				○							兼1
	ビジネス実務	3前又は後		2		○									兼1
	職業能力開発	2後		2		○									兼1
小計(8科目)	—	1	10	0	—			0	0	0	0	0	0	兼3	
スポーツ系	スポーツ科学実習Ⅰ	1前		1				○							兼4
	スポーツ科学実習Ⅱ	1後		1				○							兼4
	生涯スポーツ実習	2・3前		1				○							兼4 共同
	スポーツと健康	2・3前又は後		2		○									兼1
小計(4科目)	—	0	5	0	—			0	0	0	0	0	0	兼5	
地域志向系	地域と私	1前		2		○			1	1					兼7 集中
	北河内を知る	1後		2		○			1	1					兼2 集中
	ソーシャル・イノベーション実務総論	1後		2		○									兼1
	撰南大学PBLプロジェクトⅠ	2通		2				○	1	2					兼15 集中
	撰南大学PBLプロジェクトⅡ	2通		2				○	1	2					兼15 集中
	地域貢献実践演習	3通		2			○		1						集中
小計(6科目)	—	0	12	0	—			1	2	0	0	0	0	兼20	
共通基礎系	大学教養入門	1前		2		○			1	1					兼10 共同
	大学教養実践	1後		2		○									兼6 共同
	数的能力開発Ⅰ	2前又は後		1		○									兼3
	就職実践基礎	2前又は後		1		○									兼3
小計(4科目)	—	0	6	0	—			1	1	0	0	0	0	兼18	
教養特別系	教養特別講義Ⅰ	1・2・3・4前又は後		2		○			1						兼1
	教養特別講義Ⅱ	1・2・3・4前又は後		2		○			1						兼1
	教養特別講義Ⅲ	1・2・3・4前又は後		2		○			1						兼1
	教養特別講義Ⅳ	1・2・3・4前又は後		2		○			1						兼1
	教養特別講義Ⅴ	1・2・3・4前又は後		2		○			1						兼1
小計(5科目)	—	0	10	0	—			1	0	0	0	0	0	兼5	
外国人留学生対象科目	日本事情FⅠ	1・2・3・4前		2		○									兼1
	日本事情FⅡ	1・2・3・4後		2		○									兼1
	日本語読解FⅠ	1・2・3・4前		1		○									兼1
	日本語読解FⅡ	1・2・3・4後		1		○									兼1
	日本語文法FⅠ	1・2・3・4前		1		○									兼1
	日本語文法FⅡ	1・2・3・4後		1		○									兼1
	日本語表現作文FⅠ	1・2・3・4前		1		○									兼1
	日本語表現作文FⅡ	1・2・3・4後		1		○									兼1
	日本語総合FⅠ	1・2・3・4前		1		○									兼1
	日本語総合FⅡ	1・2・3・4後		1		○									兼1
	専門日本語FⅠ	1・2・3・4前		1		○									兼1
	専門日本語FⅡ	1・2・3・4後		1		○									兼1
	日本語会話FⅠ	1・2・3・4前		1		○									兼1
	日本語会話FⅡ	1・2・3・4後		1		○									兼1
小計(14科目)	—	0	16	0	—			0	0	0	0	0	0	兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	帰国学生対象科目	日本事情RⅠ	1・2・3・4前	2		○									兼1	
	日本事情RⅡ	1・2・3・4後	2		○										兼1	
	日本語読解R	1・2・3・4前	1		○										兼1	
	日本語文法R	1・2・3・4後	1		○										兼1	
	日本語表現作文R	1・2・3・4前	1		○										兼1	
	日本語総合R	1・2・3・4後	1		○										兼1	
	専門日本語R	1・2・3・4前	1		○										兼1	
	日本語会話R	1・2・3・4後	1		○										兼1	
	小計(8科目)	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	0	兼5	—
教職課程の設置により開設する授業科目	商業科教育法	3前・後			4	○									兼1	
	情報科教育法	3前・後			4	○			1							
	教育原理	2前又は後			2	○									兼1	
	教師論	1前			2	○			1							
	教育経営論	3前又は後			2	○			1							
	教育社会学	3前又は後			2	○									兼1	
	教育心理学	1前又は後			2	○									兼1	
	特別支援教育論	3前又は後			2	○									兼1	
	教育課程論	2前又は後			2	○									兼1	
	道徳教育論	3前又は後			2	○									兼1	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	1前又は後			2	○									兼1	
	教育方法論	2前又は後			2	○									兼1	
	生徒指導論(進路指導を含む)	2前又は後			2	○			1							
	教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	3前又は後			2	○									兼1	
	教育実習Ⅰ	3前又は後			1				1						兼4	
	教育実習Ⅱ	4通			2				1						兼4	
	教育実習Ⅲ	4通			4				1						兼4	
	教職実践演習(中・高)	4後			2		○								兼4	
	地域連携教育活動Ⅰ	2前又は後			2				1						兼4	
	地域連携教育活動Ⅱ	2前又は後			2				1						兼4	
	職業指導Ⅰ	1・2・3・4前			2	○									兼1	
	職業指導Ⅱ	1・2・3・4後			2	○									兼1	
	小計(22科目)	—	0	0	49	—			1	1	0	0	0	0	兼6	—
合計(214科目)			—	29	306	49	—		11	12	3	0	0	0	兼128	—
学位又は称号			学士(経営学)			学位又は学科の分野			経済学関係							
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
<p>本大学に4年以上在学し、所定の授業科目について、専門科目86単位以上〔必修科目28単位、選択科目58単位以上(注1)〕、教養科目38単位以上〔必修科目1単位、選択科目37単位以上(注2)〕の合計124単位以上を修得し、かつ入学時からの累積GPAが1.3以上であること。</p> <p>(注1)〔専門科目の選択科目〕 <マネジメントコース> マネジメント群12単位以上、ICTビジネス群2単位以上、マーケティング群2単位以上、会計ファイナンス群2単位以上を含む選択科目58単位以上修得。 <ICTビジネスコース> ICTビジネス群12単位以上、マネジメント群2単位以上、マーケティング群2単位以上、会計ファイナンス群2単位以上を含む選択科目58単位以上修得。 <マーケティングコース> マーケティング群12単位以上、マネジメント群2単位以上、ICTビジネス群2単位以上、会計ファイナンス群2単位以上を含む選択科目58単位以上修得。 <会計ファイナンスコース> 会計ファイナンス群12単位以上、マネジメント群2単位以上、ICTビジネス群2単位以上、マーケティング群2単位以上を含む選択科目58単位以上修得。</p> <p>(注2)〔教養科目の選択科目〕 1 英語系外国語、外国語系、日本語系、数理・情報系、スポーツ系から12単位以上修得(選択必修科目4単位以上を含む英語系外国語または外国語系科目8単位以上を含む)。 2 人文科学系、社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、共通基礎系、教養特別系から20単位以上修得(人文科学系、社会科学系ならびに自然・科学技術系各2単位以上を含む)。 3 キャリアデザイン系から2単位以上修得。</p> <p>〔履修科目の登録の上限：48単位(年間)〕</p>						1学年の学期区分		2期								
						1学期の授業期間		15週								
						1時限の授業時間		90分								

摂南大学寝屋川校地の教室使用実績(令和2年度)〈前期〉

L 国際学部 I 経営学部 共 共通 ◆ 左記以外の学部

Main table showing classroom usage by building, floor, and date. Columns include building/floor, classroom name, equipment, capacity, and usage status for each day of the week.

教室の収容定員と想定受講人数
受講人数は教室収容

Summary table showing average usage percentages for different classroom capacity ranges (50人未満, 50~99, 100~199, 200~) across days of the week.

摂南大学寝屋川校地の教室使用実績(令和2年度)〈後期〉

国際学部 経営学部 共通 左記以外の学部

Main table showing classroom usage by building (5, 8, 10, 11, 12号館), floor, and classroom name, with columns for days of the week and usage status.

Summary table showing classroom scale (教室規模) and department count (部屋数) across days of the week, with percentage breakdowns.

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し	P2
ア) 定員充足の見込み	
イ) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	P3
(Ⅰ) 国際学部	
(Ⅱ) 経営学部	
②学生確保に向けた具体的な取組状況	P5

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	P8
(Ⅰ) 国際学部	
(Ⅱ) 経営学部	
②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	P8
(Ⅰ) 国際学部	
(Ⅱ) 経営学部	

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア) 定員充足の見込み

(18歳人口の中期予測を見据えた学生確保の見通し)

中央教育審議会の「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」(平成30(2018)年11月)によると、2040年の大学進学者数は51万人に減少し、平成29(2017)年の63万人からは約80%(12万人減少)の規模になると推計されている。本大学が立地する大阪府においては、平成29(2017)年の18歳人口85,687人、大学進学者数47,347人に対し、2040年の推計では、18歳人口が58,280人(▲27,407人、68.0%)、大学進学者数が34,683人(▲12,664人、73.3%)の推計となっている。

本大学では、上述した長期的な18歳人口、大学進学者人口の減少予測を十分に認識し把握した上で、本大学の学生募集水準に照らした場合、今般の収容定員の増加は、中長期的な学生募集に支障と問題がないことを確認した。その具体的な内容は以下に示す。

(摂南大学全体の学生募集実績から見た学生確保の見込み)

本大学は8学部(入学定員2,150人、収容定員9,144人)を擁する、近畿地区では中規模の総合大学である。令和2(2020)年度入試における志願者数は、全入試種別で合計49,006人であった。令和2(2020)年度の一般・大学入試センター試験利用入試(以下、一般・センター入試)の志願者数28,575人は、全国の私立大学で32位、近畿地区では8位の志願者数となっている(旺文社教育情報センター[2020年9月]調べ)。

過去5年間の志願者数(一般・センター入試)も、22,826人(平成28(2016)年度)から28,575人(令和2(2020)年度)と5,749人の増加(1.3倍)となっており、各学部とも志願者数、実質倍率(受験者数÷合格者数)はともに堅調に推移している。また、過去5年間の実質倍率は、平成28(2016)年度から順に、3.8倍→3.7倍→4.4倍→5.8倍→3.1倍と、5年間の平均で4.2倍と推移している。志願者数の実績からも明らかである通り、本大学は全ての学部において、入学定員充足率が1.0倍を安定的に確保している。

以上に述べた現在の本大学の志願者数及び実質倍率、入学定員充足率に鑑みた場合、今般収容定員の増加を行った場合においても、入学者を確保できると考えている。

【資料1】 摂南大学への志願状況等一覧(全入試形態計)

【資料2】 摂南大学への志願者数推移(入試形態別)

イ) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

今般本大学が行う収容定員に係る学則変更について、当該学部学科における学生確保の見込みは、以下の通りである。

(I) 国際学部

外国語学部外国語学科(入学定員 220 人、収容定員 890 人)の学生募集を停止し、新たに国際学部国際学科(入学定員 250 人、収容定員 1,010 人)を設置することについて、以下の根拠により学生確保が可能であると考えている。

1. 国際学部への入学意思についてのアンケート調査結果(入学意向調査)

本大学が設置を予定する国際学部への入学ニーズを測定するため、高校 2 年生(令和 2 (2020) 年度の在学学生)を対象に入学意向を問うアンケート調査(14,923 人より回答)を行った。このアンケート調査において、962 人から「国際学部を受験したい」という結果が得られた(択一回答)。また、「受験したい」の回答者に入学意向を質問したところ、327 人から、「合格した場合、入学したい」の回答を得た。本調査結果において、「入学したい」の回答者数が、国際学部の入学定員の 250 人を上回る結果となり、開設後の志願者及び入学者の確保と定員充足の見込みを示す結果となっている。

【資料 3】 摂南大学「国際学部(仮称)」設置構想についてのニーズ調査報告書 【高校生対象調査】

2. 国際学部設置の基礎となる外国語学部の学生募集実績

国際学部は、現在の外国語学部を発展的な改組により新たに設置する学部である。外国語学部は、国際学部とはカリキュラムや養成人材像において相似する点が多いため、国際学部の学生募集の見込みを推測する上で参考とすることができる。

外国語学部の過去 5 年間の志願者数、実質倍率、入学定員充足率は【資料 1】【資料 2】の通りであるが、志願者数(全入試形態)は平成 28 (2016) ~令和 2 (2020) 年度の 5 年間の平均で 4,500 人前後、実質倍率も 3.5 倍前後で推移しており、安定的な志願者数、実質倍率を継続的に確保している。入学定員充足率(令和 2 (2020) 年 5 月現在)も 1.05 倍(外国語学部)と、継続的に充足している。新たに開設する国際学部は、外国語学部の教育研究を発展的に継承していくことから、それに劣らない学生募集が可能になると考えている。

3. 近畿地区における国際系学部の学生募集

国際学部を開設する近畿地区の近隣他大学の国際系学部の志願状況は【資料 4】の通りであり、令和 2 (2020) 年度の一般入試の志願倍率(志願者数÷合格者数)は 3.4 倍~7.8 倍となっている。なお、本大学の既存学部の過去の志願者のデータから、これらの大学の多くが

本大学の併願校となっていることが示されている。これらの競合となる国際系学部の学生募集状況から、本学部においても、同程度の水準の志願者数が確保できると考えている。

【資料4】近隣他大学 国際系学部の一般入試志願状況

4. 国際学部の編入学定員の学生確保の見込み

国際学部は、3年次編入学定員を5人と設定する。これは、短期大学や他大学の卒業者を編入学者として想定しているものであり、多様な学生を受け入れるという本大学の方針に基づくものである。本学部設置の基礎となる外国語学部においても編入学定員を5人設定しており、国際学部においてその編入学枠を継承する。外国語学部における編入学の実績は（表1）の通りとなっており、外国語学部の教学組織を継承する国際学部においても、多様な学生を受け入れる体制を整える。

（表1）：摂南大学外国語学部の編入学状況

年度	編入学定員	志願者数	編入学者数
平成28年度	5人	4人	0人
平成29年度	5人	2人	0人
平成30年度	5人	2人	1人
平成31年度	5人	6人	3人
令和2年度	5人	5人	0人

※編入学者数は各年度4月1日時点の数値

以上の考察と調査結果により、摂南大学国際学部は、入学定員250人を充足することができると考えている。

（Ⅱ）経営学部

経営学部経営情報学科（入学定員100人、収容定員408人）の学生募集を停止し、経営学部経営学科の1学科に改編のうえ、経営学科の入学定員を170人から280人（収容定員を688人から1,132人）に増員することについて、以下の根拠により学生確保が可能であると考えている。

1. 経営学部の学生募集実績

経営学部では、収容定員に係る学則変更に伴う学生確保の見込みは、これまでの経営学部における志願者・入学者数の実績から問題なく確保できると考えている。

経営学部（経営学科、経営情報学科）の過去5年間の志願者数、実質倍率、入学定員充足率は【資料1】【資料2】の通りであるが、志願者数（全入試形態）は平成28（2016）～令和2（2020）年度の5年間の平均で7,200人前後、実質倍率も4～5倍前後で推移しており、

安定的な志願者数、実質倍率を継続的に確保している。入学定員充足率（令和 2（2020）年 5 月現在）も、1.00 倍（経営学科）、1.14 倍（経営情報学科）と継続的に充足している。以上の志願状況等を鑑み、今般学部改編による 1 学科体制と同時に収容定員を 36 人増員した後も、志願者、学生を確保し入学定員を充足することができると考えている。

2. 経営学部の編入学定員の学生確保の見込み

経営学部は、3 年次編入学定員を 6 人に設定する。これは、短期大学や他大学の卒業者を編入学者として想定しているものであり、多様な学生を受け入れるという本大学の方針に基づくものである。改編前の経営学部においては編入学定員を 8 人（経営学科 4 人、経営情報学科 4 人）設定しており、今般の収容定員に係る学則変更において 8 人から 6 人に変更する。経営学部における編入学の実績は（表 2）の通りであり、学部改編後においても、多様な学生を受け入れる体制を整える。

（表 2）：摂南大学経営学部の編入学状況

年度	編入学定員	志願者数	編入学者数
平成 28 年度	8 人	1 人	1 人
平成 29 年度	8 人	4 人	2 人
平成 30 年度	8 人	3 人	2 人
平成 31 年度	8 人	2 人	2 人
令和 2 年度	8 人	0 人	0 人

※編入学者数は各年度 4 月 1 日時点の数値

以上の考察により、摂南大学経営学部は、入学定員 280 人を充足することができると考えている。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

摂南大学は、8 学部を擁する総合大学として、過去 5 年間を平均して約 45,000 人以上の志願者を集めており、また志願者数の増加に着目すると、平成 28（2016）年度入試の 36,469 人から令和 2（2020）年度入試の 49,006 人と、志願者数が約 34%増加している（【資料 1】及び【資料 2】）。そうした数多くの志願者に対応するために、全学をあげて組織的な学生募集活動を実施している。特に近畿地区圏内においては、ほぼ全ての高校から志願者、入学者の実績があり、近畿地区以外においても特に中国地区、四国地区、北陸地区、中部地区をはじめとして広範なエリアの高校から志願者、入学者を獲得している。

【学生確保についての具体的な取組】

1. オープンキャンパス

本大学では、オープンキャンパスにおいて実際に大学を見て様々な体験を通して、本大学の良さを伝えられるよう各種プログラムを整えている。オープンキャンパス参加者数の増加を図るため、ダイレクトメールの送付、インターネット広告、交通広告、各種受験雑誌、高校訪問等で広く周知している。過去 5 年間のオープンキャンパスの平均来場者数は（表 3）の通り約 8,000 人以上となっており、毎年多くの参加者実績がある。

令和 2（2020）年度については、寝屋川・枚方キャンパスの 2 キャンパスで、合計 8 回のオープンキャンパスを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オープンキャンパス・一般選抜相談会を中止とした。代替りの企画として、WEB オープンキャンパス及びオンライン個別相談、人数を制限した大学見学会（寝屋川キャンパスで 2 日間、枚方キャンパス 1 日）及び公募制推薦入試相談会を実施した。

（表 3）：過去 5 年間のオープンキャンパス来場者数推移

年度	来場者数
平成 28 年度	10,168 人
平成 29 年度	8,703 人
平成 30 年度	10,419 人
平成 31 年度	11,712 人
令和 2 年度	983 人
合計	41,985 人

※令和 2 年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からオープンキャンパス・一般選抜相談会を中止。

2. 高校訪問

本大学では、（表 4）の通り年間延べ約 500 件以上の高校訪問を実施している。その他、高校から依頼がある各種ガイダンスや模擬授業にも積極的に出席するなど、高校生・高校教員・保護者との接点の増加に努めている。

（表 4）：過去 3 年間の高校訪問実績

年度	高校訪問件数			合計
	ガイダンス	模擬授業	高校訪問	
平成 30 年度	394 件	56 件	186 件	636 件
平成 31 年度	360 件	31 件	362 件	753 件
令和 2 年度	260 件	17 件	229 件	506 件
合計	1,014 件	104 件	777 件	1,895 件

3. 進学説明会

本大学では、例年主に近畿地区を中心とした進学説明会に年間 80 会場以上参加をしている。令和 2 (2020) 年度においては、コロナ禍の影響により、参加を予定していた進学相談会がほぼ中止となった。感染状況を注視しながら、引き続き近畿地区への参加、また近畿圏への志願者の流入が多く見込まれる中国地区、四国地区への参加も強化する。

4. 媒体による広報

本大学では、受験情報誌、インターネット広告など、受験生が利用する様々な媒体を通して学生募集活動を実施している。対象となる受験生をセグメントしてダイレクトメールや WEB ダイレクトメールを送付・配信するなど、ターゲティング広告に注力している。また、マス媒体として交通広告、受験情報誌、インターネット広告などを実施し、多様なメディアを組み合わせることで、相乗効果を高めている。

5. パブリシティ広報の活用

本大学では、メディアに対する広報活動を法人本部広報室と連携して実施している。

6. 広報ツールの制作

本大学では、様々な学生募集ツールを制作している。各学部の特長や各学科の学びの内容を認知させるため、紙媒体・WEB 媒体双方で広く周知を行っている。紙媒体が主となる大学案内は 90,000 部制作し、本大学の志望者へ送付し、多くの受験生・高校生に認知拡大を図っている。また、高校訪問時に持参、進学相談会やオープンキャンパスでの配布など広く活用している。本大学入試情報サイトには、アピールポイントの訴求に繋げるため特設サイトを充実させるなど、高校生・高校教員・保護者など幅広い層から閲覧してもらえる環境を整備していく。インターネット広告や大手進学情報サイトからも誘導することができる環境も整備している。

7. SNS の活用

本大学では、受験生が多く利用している SNS を通して、本大学を目指す高校生に有益な情報を定期的に配信している。引き続き SNS を活用した情報発信を実施し、親和性が高い動画コンテンツとの連動を図るなど、より相乗効果の高い訴求を実施していく。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

国際学部（入学定員 250 人、収容定員 1,010 人）、経営学部（入学定員 280 人、収容定員 1,132 人）の人材の養成に関する目的は、以下の通りである。

(I) 国際学部

国際学部は、グローバル化・ボーダーレス化が進む世界における様々な課題について解決策を見出し、果敢に行動できる人材を育成する。世界の国や地域の歴史・地理・社会・文化等の基礎知識を基に、豊かな教養と広い視野を身につけ、多様な価値観を客観的に理解して判断・発信できるグローバルリテラシーを修得した、国際社会で活躍できる知的専門職業人を養成することを目的とする。

(II) 経営学部

経営学部は、企業を中心とする組織一般の運営に関する基礎的な理論と知識を身につけるとともに、幅広い教養を併せ持ち、自律的・主体的に企業経営の一翼を担うことのできる実行力ある知的専門職業人を養成することを目的とする。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

(I) 国際学部

1. グローバル人材の人材需要

世界のボーダーレス化と地球規模での相互の関係の深まりが進展している現代社会において、グローバル社会における必要な能力をもった人材の需要は、あらゆる分野において高まっている。

政府の「グローバル人材育成戦略」（平成 24（2012）年 6 月 グローバル人材育成推進会議）では、「豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化体験を身につけ、国際的に活躍できる「グローバル人材」を我が国で継続的に育てていかなければならない」とされており、そのグローバル人材の定義として、「語学力・コミュニケーション能力」「主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感」「異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ」の 3 つの要素を保持し、「幅広い教養と深い専門性、課題発見・解決能力、チームワークと(異質な者の集団をまとめる)リーダーシップ、公共性・倫理観、メディア・リテラシー等」を併せ持つ者とされている。また、英語等の語学力については、その水準を 5 段階に分類した上で、「業務上の文書・会話レベル」を超えた、「二者間折衝・交渉レベル」または「多数者間折衝・交渉レベル」の語学能力を持った人材を継続的に育成

することの必要性があるとされている。

国際学部が養成する、「グローバル化・ボーダーレス化が進む世界における様々な課題について解決策を見出し、果敢に行動できる人材」「世界の国や地域の歴史・地理・社会・文化などの基礎知識を基に、豊かな教養と広い視野を身につけ、多様な価値観を客観的に理解して判断・発信できるグローバルリテラシーを修得した、国際社会で活躍できる知的専門職業人」は、これからの国内外の社会において必要とされる人材であり、その養成人材像は、社会的な人材需要を踏まえたものであると言える。特に語学能力とコミュニケーション能力については、本大学独自の語学科目や留学制度等により、国際的な業務で通用する能力を身につける計画である。国際学部で養成する人材、涵養する能力は、上記のグローバル人材の社会的な人材需要に合致するものであると言える。

2. 国際学部設置の基礎となる外国語学部の就職実績

国際学部は、現在の外国語学部を発展的に改組することにより新たに設置する学部である。外国語学部は、教育課程や養成人材像において国際学部と相似する点も多いため、国際学部の人材需要を推測する上で参考とすることができる。外国語学部の過去5年間の就職率（就職者／就職希望者）は【資料5】の通りであるが、過去5年間の平均は90%以上となっており、外国語学部の卒業生は、企業等の事業所から確実な評価を得ている。新たに開設する国際学部においても、外国語学部の教育研究を発展的に継承していくことから、それに劣らぬ社会からの人材需要、人材の評価を得られると想定している。

【資料5】 摂南大学外国語学部の就職状況（過去5年間）

3. 国際学部の卒業予定者の採用意向についての人材需要アンケート調査結果

本大学が設置を予定する国際学部の人材需要の見通しを測定するため、令和2（2020）年度に、国際学部の卒業予定者の就職先として想定される事業所を対象として、人材需要アンケート調査を実施した。

アンケート調査は、企業等の1,201箇所の事業所に対し調査を依頼し、270事業所から回答を得た（回収率22.5%）。本調査において、国際学部の養成人材の社会的なニーズ（問4）を質問したところ、「極めて高い」との回答が56件（20.7%）、「ある程度高い」との回答が166件（61.5%）得られた。国際学部の卒業予定者の採用意向を質問したところ、「国際学部の卒業生を採用したい」との回答が114件（回答事業所の42.2%）との結果が示され、採用の場合の採用可能人数の合計は307人であった。国際学部の入学定員は250人（国際学科：250人）であり、本調査が1,201事業所を対象としたサンプル調査であることも考慮すると、それを十分に上回る採用需要があることが、本調査において示された。

【資料6】 摂南大学「国際学部（仮称）」設置構想についてのニーズ調査報告書

【企業対象調査】

上記の調査結果により、国際学部の卒業予定者に対する、社会からの人材需要及び採用意向が示されていることから、卒業後の就職の見込みは安定していることを確認している。

(Ⅱ) 経営学部

経営学部（経営学科、経営情報学科）の過去 5 年間の就職率（就職者／就職希望者）は【資料 7】の通りである。過去 5 年間の平均は 95%以上となっており、経営学部の卒業生は企業等の事業所から確実な評価を得ている。今般の学部改編後においても、経営学部の教育理念、教育内容、養成人材像をより深化させ受け継いでいくため、社会からの人材需要、卒業後の就職実績を得られると考えている。

【資料 7】 摂南大学経営学部の就職状況（過去 5 年間）

以上

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

- 【資料1】 摂南大学への志願状況等一覧（全入試形態計）
- 【資料2】 摂南大学への志願者数推移（入試形態別）
- 【資料3】 摂南大学「国際学部（仮称）」設置構想についてのニーズ調査報告書
【高校生対象調査】
- 【資料4】 近畿他大学 国際系学部の一般入試志願状況
- 【資料5】 摂南大学 外国語学部の就職状況（過去5年間）
- 【資料6】 摂南大学「国際学部（仮称）」設置構想についてのニーズ調査報告書
【企業対象調査】
- 【資料7】 摂南大学 経営学部の就職状況（過去5年間）

摂南大学への志願状況等一覧（全入試形態計）

学部 学科	理工					外国語		経営		薬		法		経済		看護		農					合計	
	生命科学 （佐藤麻子先生）	建築	機械工	電気電子工	都市環境工	外国語 計	外国語	経営 計	経営情報	薬 計	薬	法律	法律	経済 計	経済	看護 計	看護	農業生産	応用生物科学	食品栄養	食農ビジネス			
入学定員(A)	90	70	110	90	70	500	220	170	100	270	220	250	250	100	100	100	80	80	80	80	100	340	2,150	
志願者 (B)	2,676	1,850	2,514	1,874	898	12,100	3,405	3,828	1,478	5,306	4,964	3,291	5,114	2,289	2,289	2,289	—	—	—	—	—	—	36,469	
	2,619	1,977	2,433	1,712	1,080	12,397	4,272	4,381	1,500	5,881	5,874	3,379	5,739	2,335	2,335	2,335	—	—	—	—	—	—	39,877	
	2,353	1,627	2,718	2,841	1,111	13,014	4,520	6,062	2,301	8,363	5,684	4,807	6,638	3,275	3,275	3,275	—	—	—	—	—	—	46,301	
	3,765	2,228	3,098	3,491	1,677	17,718	6,022	7,568	2,520	10,088	4,818	5,944	8,919	2,804	2,804	2,804	—	—	—	—	—	—	56,313	
令和2	2,216	1,933	2,661	2,577	1,212	13,412	4,157	4,837	1,771	6,608	4,092	3,925	6,110	2,500	2,500	2,500	1,614	2,609	1,673	2,306	8,202	8,202	49,006	
	2,610	1,799	2,467	1,839	880	11,846	3,316	3,750	1,453	5,203	4,812	3,235	5,024	2,221	2,221	2,221	—	—	—	—	—	—	35,657	
	2,497	1,912	2,350	2,445	1,027	11,881	4,059	4,121	1,389	5,510	5,538	3,152	5,403	2,167	2,167	2,167	—	—	—	—	—	—	37,710	
	2,223	1,563	2,638	2,711	1,070	12,451	4,304	5,791	2,175	7,966	5,311	4,558	6,292	3,124	3,124	3,124	—	—	—	—	—	—	44,006	
	3,569	2,159	3,022	3,399	1,619	17,092	5,772	7,344	2,441	9,785	4,395	5,691	8,609	2,641	2,641	2,641	—	—	—	—	—	—	53,985	
令和2	1,933	1,812	2,481	2,367	1,103	12,274	3,712	4,288	1,563	5,851	3,546	3,440	5,495	2,203	2,203	2,203	1,458	2,335	1,515	2,002	7,310	7,310	43,831	
	766	326	452	443	361	2,684	1,247	903	549	1,452	1,061	1,134	1,344	510	510	510	—	—	—	—	—	—	—	9,432
	775	312	373	620	358	2,984	1,287	1,082	503	1,585	1,322	1,272	1,341	448	448	448	—	—	—	—	—	—	—	10,239
	755	345	390	643	470	3,181	1,169	1,098	418	1,516	1,271	1,237	1,309	530	530	530	—	—	—	—	—	—	—	9,953
	597	310	361	610	376	2,795	1,085	774	386	1,160	1,486	1,111	1,252	455	455	455	—	—	—	—	—	—	—	9,344
令和2	756	398	495	781	463	3,562	1,306	1,126	563	1,689	1,349	1,404	1,618	554	554	554	598	653	506	863	2,620	2,620	14,102	
	87	75	116	80	70	503	240	174	102	276	219	273	270	113	113	113	—	—	—	—	—	—	—	1,894
	93	73	105	91	77	511	244	183	119	302	249	269	275	102	102	102	—	—	—	—	—	—	—	1,952
	89	70	122	103	78	539	238	220	114	334	232	273	259	99	99	99	—	—	—	—	—	—	—	1,974
	90	72	69	109	89	492	225	157	91	248	219	247	255	101	101	101	—	—	—	—	—	—	—	1,787
令和2	102	66	77	111	66	518	233	170	114	284	232	264	270	110	110	110	79	77	72	97	325	325	2,236	
	29.7	26.4	32.7	22.9	20.8	24.2	15.5	22.5	14.8	19.7	22.6	13.2	20.5	22.9	22.9	22.9	—	—	—	—	—	—	—	20.1
	29.1	28.2	34.8	23.4	19.0	24.8	19.4	25.8	15.0	21.8	26.7	13.5	23.0	23.4	23.4	23.4	—	—	—	—	—	—	—	22.0
	26.1	23.2	38.8	25.8	26.3	26.0	20.5	35.7	23.0	31.0	25.8	19.2	26.6	32.8	32.8	32.8	—	—	—	—	—	—	—	25.6
	41.8	31.8	44.3	31.7	38.4	35.4	27.4	44.5	25.2	37.4	21.9	23.8	35.7	28.0	28.0	28.0	—	—	—	—	—	—	—	31.1
令和2	24.6	27.6	38.0	25.6	28.6	17.3	26.8	28.5	17.7	24.5	18.6	15.7	24.4	25.0	25.0	25.0	20.2	32.6	20.9	23.1	24.1	24.1	22.8	
	3.4	5.5	6.7	5.5	4.2	4.4	2.7	4.2	2.6	3.6	4.5	2.9	3.7	4.4	4.4	4.4	—	—	—	—	—	—	—	3.8
	3.2	6.1	6.3	3.9	3.0	4.0	3.2	3.8	2.8	3.5	4.2	2.5	4.0	4.8	4.8	4.8	—	—	—	—	—	—	—	3.7
	2.9	4.5	6.8	4.2	4.8	4.3	3.7	5.3	5.2	5.3	4.2	3.7	4.8	5.9	5.9	5.9	—	—	—	—	—	—	—	4.4
	6.0	7.0	8.4	5.6	6.1	4.3	6.1	9.5	6.3	8.4	3.0	5.1	6.9	5.8	5.8	5.8	—	—	—	—	—	—	—	5.8
令和2	2.6	4.6	5.0	3.3	3.5	2.4	2.8	3.8	2.8	3.5	2.6	2.5	3.4	4.0	4.0	4.0	2.4	3.6	3.0	2.3	2.8	2.8	3.1	
	0.96	1.07	1.07	1.05	0.88	1.00	1.09	1.02	1.02	1.02	0.99	1.09	1.08	1.13	1.13	1.13	—	—	—	—	—	—	—	1.04
	1.03	1.04	1.02	0.95	1.01	1.10	1.02	1.07	1.19	1.11	1.13	1.07	1.10	1.02	1.02	1.02	—	—	—	—	—	—	—	1.07
	0.98	1.00	1.10	1.10	1.14	1.11	1.08	1.29	1.14	1.23	1.05	1.09	1.03	0.99	0.99	0.99	—	—	—	—	—	—	—	1.09
	1.00	1.02	0.98	0.99	0.98	0.90	1.02	0.92	0.91	0.91	0.99	0.98	1.02	1.01	1.01	1.01	—	—	—	—	—	—	—	0.98
令和2	1.13	0.94	1.10	1.00	1.06	1.03	1.05	1.00	1.14	1.05	1.05	1.05	1.08	1.10	1.10	1.10	0.98	0.96	0.90	0.97	0.95	0.95	1.04	

※数値は、すべての入試形態（一般入試・大学入試センター試験利用入試・推薦入試他）の合計。

摂南大学への志願者数推移（入試形態別）

入学年度	学部 学科	理工						外国語		経営			薬		法		経済		農				合計
		生命科学 （健康デザイン）	建築	機械工	電気電子工	都市環境工	計	外国語	計	経営	経営情報	計	薬	薬	法律	経済	経済	農業生産	応用生物科学	食品栄養	食農ビジネス	計	
平成28	入試形態／入学定員	90	70	70	110	90	70	500	220	170	100	270	220	250	250	250	80	80	80	100	100	340	2,150
	推薦入試全体	842	835	800	772	670	252	4,171	1,727	1,576	506	2,082	1,483	1,962	1,962	812						13,404	
	一般入試・センター利用入試全体	1,827	995	1,467	1,732	1,189	640	7,850	1,636	2,225	954	3,179	3,480	3,110	3,110	1,475						22,826	
	その他（AO・留学生・帰国生・社会人）	7	20	21	10	15	6	79	42	27	18	45	1	42	42	2						239	
	合計	2,676	1,850	2,288	2,514	1,874	898	12,100	3,405	3,828	1,478	5,306	4,964	5,114	2,289						36,469		
平成29	推薦入試全体	610	753	665	705	455	247	3,435	1,886	1,648	447	2,095	1,649	2,190	761							13,383	
	一般入試・センター利用入試全体	2,005	1,212	1,749	1,859	1,252	821	8,898	2,359	2,704	1,041	3,745	4,225	3,517	1,570							26,300	
	その他（AO・留学生・帰国生・社会人）	4	12	19	12	5	12	64	27	29	12	41	0	32	4							194	
	合計	2,619	1,977	2,433	2,576	1,712	1,080	12,397	4,272	4,381	1,500	5,881	5,874	5,739	2,335							39,877	
平成30	推薦入試全体	572	558	789	695	568	281	3,463	1,852	1,692	692	2,384	1,733	1,763	1,087							13,711	
	一般入試・センター利用入試全体	1,774	1,060	1,916	2,133	1,787	825	9,495	2,641	4,356	1,583	5,939	3,950	4,851	2,188							32,406	
	その他（AO・留学生・帰国生・社会人）	7	9	13	13	9	5	56	27	14	26	40	1	24	0							184	
	合計	2,353	1,627	2,718	2,841	2,364	1,111	13,014	4,520	6,062	2,301	8,363	5,684	6,638	3,275							46,301	
平成31	推薦入試全体	863	696	1,052	891	865	311	4,678	2,520	2,563	670	3,233	1,359	2,897	1,023							17,641	
	一般入試・センター利用入試全体	2,895	1,527	2,037	2,594	2,588	1,360	13,001	3,480	4,994	1,846	6,840	3,448	5,975	1,769							38,512	
	その他（AO・留学生・帰国生・社会人）	7	5	9	6	6	6	39	22	11	4	15	11	47	12							160	
	合計	3,765	2,228	3,098	3,491	3,459	1,677	17,718	6,022	7,568	2,520	10,088	4,818	8,919	2,804							56,313	
令和2	推薦入試全体	827	903	1,049	1,023	983	406	5,191	2,227	2,058	618	2,676	1,673	2,425	1,301	656	1,014	780	683	3,133	20,215		
	一般入試・センター利用入試全体	1,376	1,023	1,604	1,783	1,586	797	8,169	1,901	2,760	1,137	3,897	2,391	3,648	1,183	958	1,595	893	1,623	5,069	28,575		
	その他（AO・留学生・帰国生・社会人）	13	7	8	7	8	9	52	29	19	16	35	28	37	16	0	0	0	0	0	216		
	合計	2,216	1,933	2,661	2,813	2,577	1,212	13,412	4,157	4,837	1,771	6,608	4,092	6,110	2,500	1,614	2,609	1,673	2,306	8,202	49,006		
	5年間平均志願者数	2,726	1,923	2,640	2,847	2,397	1,196	13,728	4,475	5,335	1,914	7,249	5,086	6,504	2,641							45,593	

摂南大学「国際学部(仮称)」
設置構想についてのニーズ調査報告書
【高校生対象調査】

株式会社 高等教育総合研究所

目次

1. 摂南大学「国際学部（仮称）」設置構想についての 高校生アンケート調査 調査結果	3
---	---

添付資料

『摂南大学「国際学部（仮称）」設置構想についての高校生アンケート調査』用紙	9
『摂南大学「国際学部（仮称）」概要』用紙	

1.高校生アンケート調査 調査結果

摂南大学が2022年度に設置構想中の「国際学部（仮称）」における学生確保の見通しを測定するために、2022年度に大学進学時期を迎える高校2年生を対象に「設置構想についての高校生アンケート調査」（無記名式）を実施した。実績校を中心とした近畿地方の計90校の高校生14,923人から回答を得て集計した結果、962人が「国際学部（仮称）」を「受験したい」とし、うち327人が「合格した場合、入学したい」と回答した。

調査対象	2022年度の大学入試を受験する可能性が最も高い高校2年生(2022年3月卒業予定者)をアンケートの対象とした。実績校を中心にアンケート実施を依頼し、90校にご協力いただいた。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> • 回答者の基本情報(学年、性別) • 進路・進学先の希望 • 「国際学部（仮称）」への受験・入学意向
調査時期	2020年9月～2020年12月
調査方法	アンケート実施の了承が得られた高校に高校生アンケート用紙(必要部数)を送付。各校の教職員から調査対象者(高校2年生)にアンケート用紙を配布の上、10分程度の回答時間を設け、その場で回収いただいた。
回収件数	有効回答数14,923件

単純集計表

※割合（％）はいずれも、小数点第二位を四捨五入

※無回答、無効回答を除外しているため、各回答の合計と回答者数計は一致しない場合がある

問1 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。

選択肢	回答数	割合
滋賀県	689	4.6%
京都府	1,523	10.2%
大阪府	7,771	52.1%
兵庫県	1,496	10.0%
奈良県	811	5.4%
和歌山県	333	2.2%
その他	2,230	14.9%
回答者数計	14923	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答数	割合
男性	7,075	47.4%
女性	7,713	51.7%
回答者数計	14,923	100.0%

問3 あなたの高校卒業後の希望進路を教えてください。

選択肢	回答数	割合
進学	13,123	87.9%
就職	682	4.6%
現時点では未定	1,000	6.7%
回答者数計	14,923	100.0%

問4 あなたの関心のある学問分野をお答えください。（複数回答）

選択肢	回答数	割合
人文科学(文学、史学、哲学、心理学、外国語学など)	4,867	32.6%
社会科学(経営学・商学、経済学、法学・政治学、社会学など)	4,540	30.4%
理学・工学(数学、物理学、化学、生物学、工学、情報学、建築学など)	2,529	16.9%
農学(農学、農業経済学、森林科学、水産学など)	632	4.2%
医学・歯学・薬学	1,159	7.8%
家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)	1,065	7.1%
教育学・保育	2,735	18.3%
芸術学(音楽、デザイン、美術など)	2,178	14.6%
保健衛生学(看護、臨床検査、リハビリ、診療放射線など)	2,187	14.7%
その他	1,738	11.6%
回答者数計	14,923	100.0%

※割合（％）はいずれも、小数点第二位を四捨五入

※無回答、無効回答を除外しているため、各回答の合計と回答者数計は一致しない場合がある

問5 あなたが進学先の大学・短大・専門学校を選ぶ際に大事だと思うのはどのようなことですか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

選択肢	回答数	割合
教育機関としてのビジョンがある	1,939	13.0%
在学中の資格取得に積極的である	3,915	26.2%
学びたい学部学科がある	11,101	74.4%
国際的センスが身につく	1,638	11.0%
有名である	1,929	12.9%
就職状況が良い	7,041	47.2%
偏差値が合っている	5,683	38.1%
周囲の人からの評判が良い	4,011	26.9%
研究などに使用する施設が充実している	2,203	14.8%
スポーツ活動に熱心に取り組んでいる	1,186	7.9%
各界に多数の人材を輩出している	997	6.7%
キャンパスに活気がある	3,666	24.6%
立地がいい(自宅から通える)	5,562	37.3%
伝統や実績がある	1,813	12.1%
地域社会・文化に貢献している	547	3.7%
デジタル化が進んでいる	1,341	9.0%
教授・講師陣に魅力がある	2,272	15.2%
他大学にはない魅力がある	2,782	18.6%
留学生の受け入れが活発である	945	6.3%
回答者数計	14,923	100.0%

問6 あなたは摂南大学「国際学部（仮称）」を受験したいと思いますか。

選択肢	回答数	割合
受験したい	962	6.4%
受験しない	12,936	86.7%
回答者数計	14,923	100.0%

以下の設問は問6で「受験したい」と回答した962人に対して回答を求めた。

問7 あなたは摂南大学「国際学部（仮称）」に合格した場合、入学したいと思いますか。

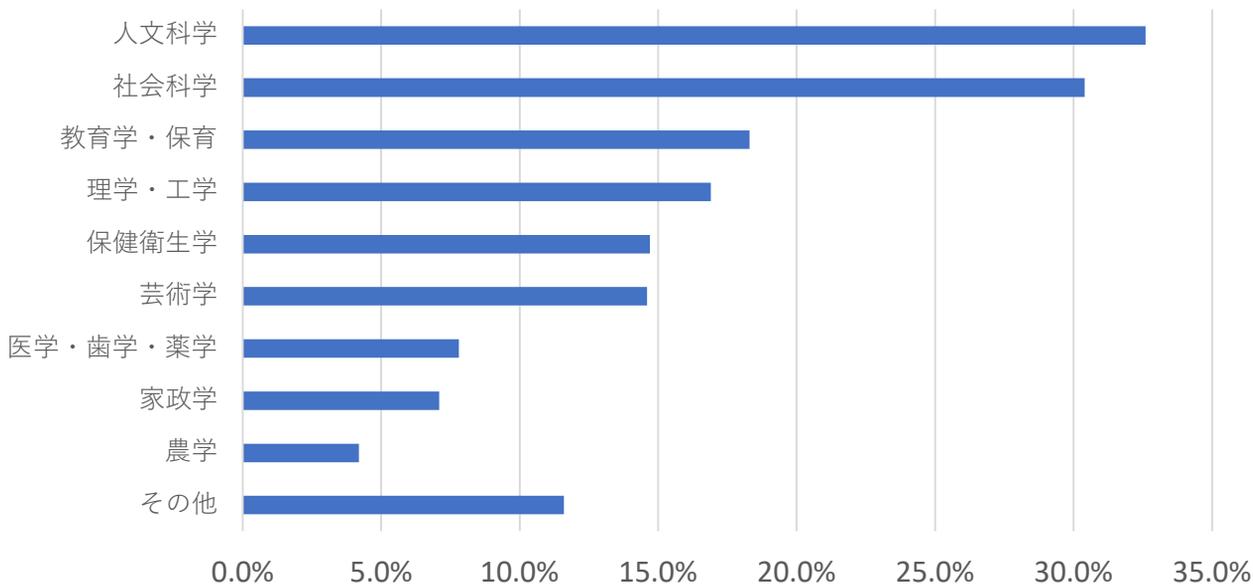
選択肢	回答数	割合
入学したい	327	34.0%
併願先の結果によって入学を検討したい	626	65.1%
回答者数計	962	100.0%

POINT

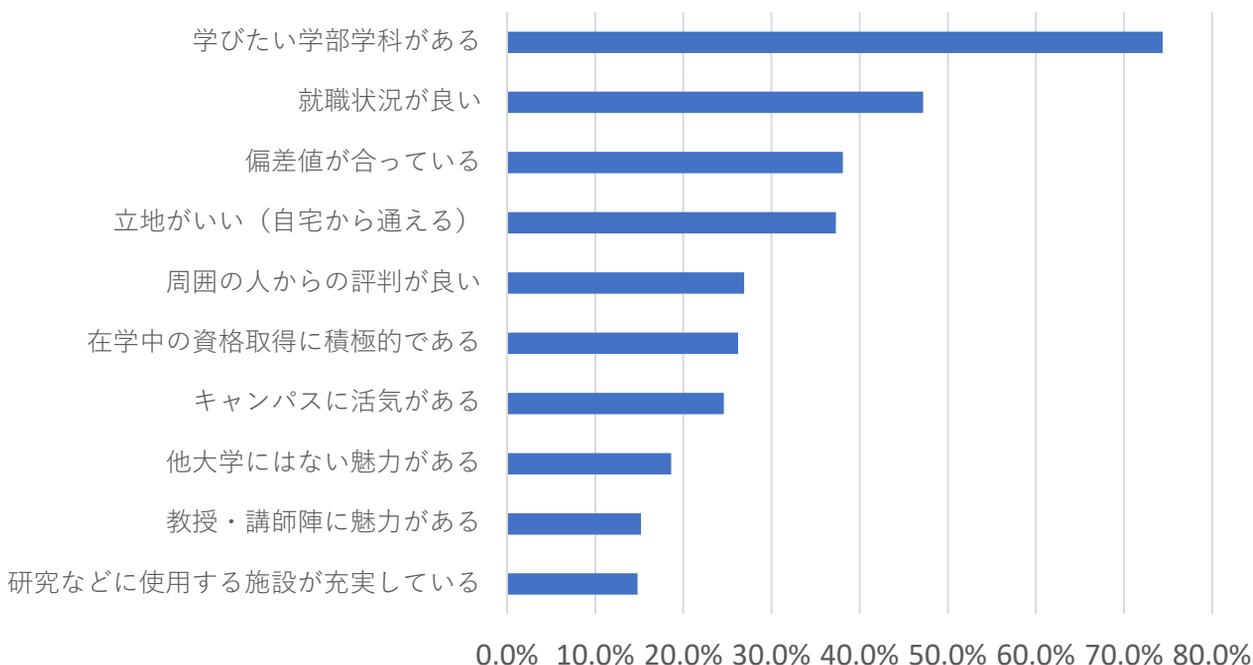
高校生へ関心のある学問分野について複数回答方式で質問したところ、もっとも回答数が多かった分野は「人文科学」で4,867人(全体の32.6%)であり、次いで「社会科学」が4,540人(同30.4%)から回答を集めた。

進学先を選ぶ際に重要視する点を質問したところ、「学びたい学部学科がある」ことが11,101人(同74.4%)と、7割以上の高校生から重要視する点として挙げられた。その他、「就職状況がいい」、「偏差値が合っている」、「立地がいい」ことが進学先を決める際に重要視する点として多く回答を集めた。

グラフ：興味のある学問分野



グラフ：進学先を選ぶ際に重要視する点（上位10項目）

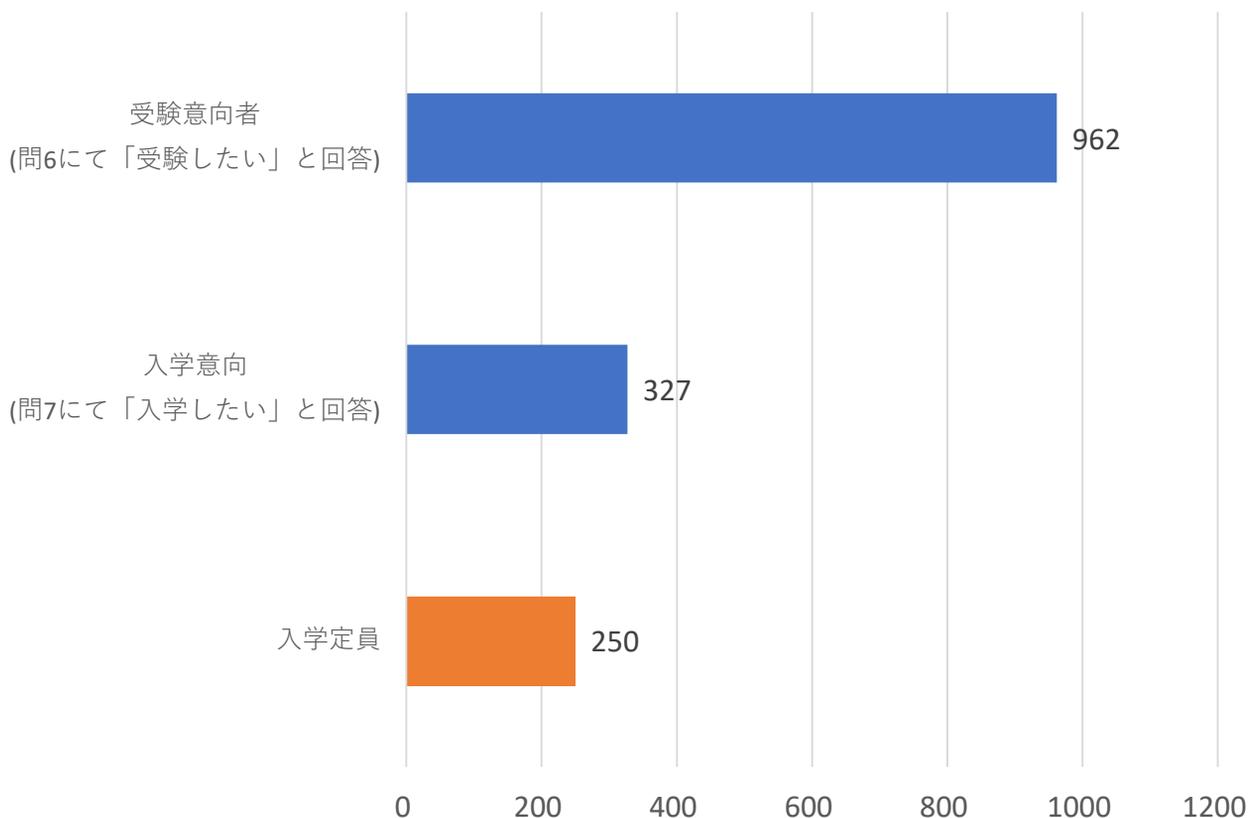


POINT

摂南大学が設置構想中の「国際学部（仮称）」への受験意向を尋ねたところ、入学定員250人に対し3.8倍となる962人（全体の6.4%）から「受験したい」との回答を得た。

また、「受験したい」とした高校生に対し、合格した場合の摂南大学「国際学部（仮称）」への入学意向を尋ねたところ、327人（「受験したい」とした高校生の34.0%）が摂南大学「国際学部（仮称）」を受験し合格した場合、「入学したい」と回答した。

グラフ：摂南大学「国際学部（仮称）」への受験・入学意向



添付資料

『摂南大学「国際学部（仮称）」設置構想についての高校生アンケート調査』用紙

『摂南大学「国際学部（仮称）」概要』用紙



摂南大学

「国際学部（仮称）」設置構想についての 高校生アンケート調査

（対象：2020年度現在、高校2年生のみなさん）

摂南大学は2022（令和4）年4月に、国際学部（仮称）の開設を構想しています。

本学ではこのアンケート調査を通して、皆さんからご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えています。回答いただいた皆さんから得られた情報は摂南大学の新学部設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は摂南大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

記入例を参考に回答ください。



問1 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。（あてはまるものに1つにマーク）

- 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 その他

問2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものに1つにマーク）

- 男性 女性

問3 あなたの高校卒業後の希望進路を教えてください。（最もあてはまるもの1つにマーク）

- 進学 就職 現時点では未定

問4 あなたの関心のある学問分野をお答えください。（あてはまるものすべてにマーク）

- 人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語学など）
 社会科学（経営学・商学、経済学、法学・政治学、社会学など）
 理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、工学、情報学、建築学など）
 農学（農学、農業経済学、森林科学、水産学など）
 医学・歯学・薬学
 家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）
 教育学・保育
 芸術学（音楽、デザイン、美術など）
 保健衛生学（看護、臨床検査、リハビリ、診療放射線など）
 その他





問5 あなたが進学先の大学・短大・専門学校を選ぶ際に大事だと思うのはどのようなことですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでもマーク)

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> 教育機関としてのビジョンがある | <input type="radio"/> 在学中の資格取得に積極的である |
| <input type="radio"/> 学びたい学部学科がある | <input type="radio"/> 国際的センスが身につく |
| <input type="radio"/> 有名である | <input type="radio"/> 就職状況が良い |
| <input type="radio"/> 偏差値が合っている | <input type="radio"/> 周囲の人からの評判が良い |
| <input type="radio"/> 研究などに使用する施設が充実している | <input type="radio"/> スポーツ活動に熱心に取り組んでいる |
| <input type="radio"/> 各界に多数の人材を輩出している | <input type="radio"/> キャンパスに活気がある |
| <input type="radio"/> 立地がいい(自宅から通える) | <input type="radio"/> 伝統や実績がある |
| <input type="radio"/> 地域社会・文化に貢献している | <input type="radio"/> デジタル化が進んでいる |
| <input type="radio"/> 教授・講師陣に魅力がある | <input type="radio"/> 他大学にはない魅力がある |
| <input type="radio"/> 留学生の受け入れが活発である | |

問6 あなたは摂南大学「国際学部(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるものに1つにマーク)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="radio"/> 受験したい | <input type="radio"/> 受験しない |
|-----------------------------|-----------------------------|

↓
↓
↓
↓

↓

質問は以上となります。
ご協力いただき、ありがとうございました。

問7 あなたは摂南大学「国際学部(仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるものに1つにマーク)

- 入学したい
- 併願先の結果によって入学を検討したい

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。



摂南大学 国際学部（仮称）

設
構
想
中

学
部
の
概
要

開設場所：大阪府寝屋川市池田中町17-8

修業年限：4年

入学定員：250名（収容定員1,010名）

取得学位：学士（文学）

育成する人材：グローバル化・ボーダレス化が進む世界が抱える問題に対し、①多様な価値観を理解し②人や社会に関する知見を深め③実践的なコミュニケーション力を高めることで、新たな視点や解決策を見出し行動することのできる人材を育てます。

取得可能な資格：中学校・高等学校教諭一種（英語）、学芸員、日本語教員養成（副専攻相当）

学
部
の
特
色

豊富な実践型の授業

社会のグローバル化に向き合っていくために、文化や社会の個別の知識を単に身につけるだけでなく、それを活かす力を育む実践型学修を核とした、画期的なカリキュラムを展開します。

海外の大学、国内外の企業との連携

世界11カ国の大学との留学協定、ANAとの連携講座、バレンシア国際カレッジプログラムとの提携、海外のホテルでのインターンシップ、その他多彩な実習・演習科目を揃え、教室の外にもたくさんの学びの場を用意します。

多文化社会、グローバル化社会に向き合うための課題解決力を養います

知識はもちろん必要ですが、現代社会ではその知識を課題の解決に活かしていく能力が求められます。本学部では多彩なプロジェクト科目から自身の関心と目標に応じたものを選択し、半期ごとに成果を生み出していくことで、課題を発見し、思考し、協力し、解決策を見いだす実践的な力を身につけます。SDGsの多くの目標に対応した学びもできます(SDGs1～5・10・11・15～17)。

複雑化・多様化する社会に活かせる実践的な外国語運用能力を身につけます

AIや翻訳技術が進化しても、言語を学ぶ重要性は変わりません。言語を通して文化・社会を学ぶことで、複雑化・多様化する社会を前に、柔軟で複眼的な思考を身につけることが可能となります。そのため〈外国語を学ぶ〉のではなく〈外国語で学ぶ〉科目や、学びの中で外国語に触れる科目を充実させています。社会に通用する〈語学マイスター制度〉も導入、また、短期の海外実習や半年の留学も推奨します。

卒
業
後
の
進
路

商社や旅行業、メーカーをはじめ、
公務員、金融業、サービス業、さらに
出版や教育関係など幅広い分野の
国際関連業務

本
学
へ
の
ア
ク
セ
ス

 大阪・京都・神戸・奈良から快適通学。
アクセス便利な立地環境。

<寝屋川キャンパスへの所要時間>

- 大阪駅から 約34分
- 京都駅から 約51分
- 三ノ宮駅から 約55分
- 奈良駅から 約79分

初年時納入金（他大学を含む）

大学	学部・学科	入学金	授業料	教育充実費	計
摂南大学	国際学部 国際学科（仮称）	250,000円	980,000円	50,000円	1,280,000円
関西外国語大学	英語キャリア学部、外国語学部、英語国際学部	250,000円	800,000円	350,000円	1,400,000円
京都外国語大学	国際貢献学部、外国語学部	230,000円	795,000円	415,000円	1,440,000円

※各大学の学費は各大学ホームページ掲載情報（令和2年8月時点）に基づきます。
※設置構想中のため、学部・学科名称、定員、取得できる免許・資格、内容、学費などは変更となる場合があります。

近隣他大学 国際系学部的一般入試志願状況

大学名	学部名	2018年度				2019年度				2020年度			
		志願者数	合格者数	入学定員	志願倍率	志願者数	合格者数	入学定員	実質倍率	志願者数	合格者数	入学定員	実質倍率
同志社大学	グローバル・コミュニケーション学部	1,167	197	158	5.9	848	190	158	4.5	903	208	158	4.3
関西学院大学	国際学部	1,951	227	300	8.6	1,590	238	300	6.7	1,565	304	300	5.1
立命館大学	国際関係学部	2,811	467	355	6.0	2,491	566	355	4.4	2,564	737	360	3.5
京都産業大学	国際関係学部	-	-	-	-	2,382	424	200	5.6	2,083	468	200	4.5
	外国語学部	5,663	701	500	8.1	4,285	961	420	4.5	5,685	1,003	420	5.7
近畿大学	国際学部	6,901	1,268	500	5.4	6,954	1,294	500	5.4	6,308	1,609	500	3.9
龍谷大学	国際学部	4,322	763	507	5.7	4,638	875	507	5.3	3,840	1,020	507	3.8
神戸学院大学	グローバル・コミュニケーション学部	1,265	451	180	2.8	2,289	416	180	5.5	2,492	536	180	4.6
追手門学院大学	国際教養学部	1,647	218	150	7.6	2,376	278	150	8.5	2,416	514	150	4.7
桃山学院大学	国際教養学部	1,458	275	290	5.3	1,974	455	275	4.3	2,337	685	275	3.4
京都外国語大学	国際貢献学部	834	178	220	4.7	1,088	177	220	6.1	826	106	220	7.8
	外国語学部	3,907	868	720	4.5	3,920	946	720	4.1	3,620	814	720	4.4
関西外国語大学	英語国際学部	5,054	1,608	700	3.1	2,320	520	700	4.5	1,885	549	700	3.4
	外国語学部	9,233	2,782	1,420	3.3	4,161	977	1,420	4.3	3,781	1,072	1,420	3.5
大阪経済法科大学	国際学部	1,819	291	140	6.3	2,876	396	140	7.3	1,729	420	200	4.1

出典) 志願者数、合格者数：旺文社「大学受験パスナビ」

入学定員：各大学ホームページ

摂南大学 外国語学部の就職状況（過去5年間）

年度	就職（内定）率 (就職者数÷就職活動者数)	卒業（見込）者数	就職活動（希望）者数	進学者数	就職（内定）者数
2016年度	96.3%	216	191	2	184
2017年度	96.8%	208	187	1	181
2018年度	99.5%	234	210	1	209
2019年度	100.0%	192	162	1	162
2020年度	70.2%	239	218	1	153

※2020年度は見込者数。就職者数は内定者数（2021年1月6日現在）

摂南大学「国際学部(仮称)」
設置構想についてのニーズ調査報告書
【企業対象調査】

株式会社 高等教育総合研究所

目次

1. 摂南大学「国際学部（仮称）」設置構想についての
人材需要アンケート調査 調査結果 3

添付資料

- 『摂南大学「国際学部（仮称）」設置構想についての人材需要アンケート調査』用紙 12
『摂南大学「国際学部（仮称）」概要』用紙

2.人材需要アンケート 調査結果

摂南大学が2022年度に設置構想中の「国際学部（仮称）」において養成される人材の社会的需要の見通しを測定するために、「国際学部（仮称）」卒業生の進路として想定される企業・機関・団体を対象に「設置構想についての人材需要アンケート調査」（無記名式）を実施した。摂南大学卒業生の就職実績先等、計1201箇所へアンケート調査の実施を依頼し、うち270箇所（送付総数の22.5%）より回答を得て集計した結果、114箇所の対象先が「国際学部（仮称）」卒業生について「採用したい」とし、307人分の採用意向が示された。

調査対象	摂南大学「外国語学部」の卒業生の就職実績先等、「国際学部（仮称）」において養成される人材の卒業後の進路として想定される企業・機関・団体を対象とした。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答者の基本情報（主業種・所在地・規模） ・ 「国際学部（仮称）」の養成人材の社会的ニーズ ・ 「国際学部（仮称）」についての採用意向
調査時期	2020年10月～2020年12月
調査方法	調査対象とした事業所の人事・採用担当者宛に、人材需要アンケート調査用紙(1部)を郵送。協力可能な場合、回答済のアンケートを所定の返信用封筒に同封の上、返送して頂いた。
回収件数	有効回答数270件(回収率22.5%)

単純集計表

※割合（％）はいずれも、小数点第二位を四捨五入

※問1、問2については回答数が0件であった選択肢は除外した

※無回答、無効回答を除外しているため、各回答の合計と回答者数計は一致しない場合がある

問1 貴社・貴機関・貴団体の主業種をお答えください。

選択肢	回答数	割合
建設業	2	0.7%
製造業	15	5.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.4%
情報通信業	14	5.2%
運輸業、郵便業	11	4.1%
卸売業、小売業	57	21.1%
金融業・保険業	5	1.9%
不動産業、物品賃貸業	7	2.6%
学術研究、専門・技術サービス業	3	1.1%
宿泊業、飲食サービス業	24	8.9%
生活関連サービス業、娯楽業	7	2.6%
教育、学習支援業	13	4.8%
医療、福祉	8	3.0%
複合サービス事業	1	0.4%
サービス業(他に分類されないもの)	22	8.1%
公務(他に分類されるものを除く)	75	27.8%
その他	4	1.5%
回答者数計	270	100.0%

問2 貴社・貴機関・貴団体の所在地をお答えください。

選択肢	回答数	割合
埼玉県	2	0.7%
東京都	60	22.2%
新潟県	1	0.4%
福井県	1	0.4%
静岡県	3	1.1%
愛知県	6	2.2%
滋賀県	10	3.7%
京都府	19	7.0%
大阪府	109	40.4%
兵庫県	23	8.5%
奈良県	11	4.1%
和歌山県	15	5.6%
鳥取県	1	0.4%
岡山県	2	0.7%
広島県	2	0.7%
山口県	1	0.4%
高知県	1	0.4%
福岡県	2	0.7%
沖縄県	1	0.4%
回答者数計	270	100.0%

※割合（％）はいずれも、小数点第二位を四捨五入

※無回答、無効回答を除外しているため、各回答の合計と回答者数計は一致しない場合がある

問3 貴社・貴機関・貴団体の従業員・職員数をお答えください。

選択肢	回答数	割合
～99人	27	10.0%
100～299人	53	19.6%
300～499人	35	13.0%
500～999人	58	21.5%
1,000～2,999人	52	19.3%
3,000～9,999人	35	13.0%
10,000人～	9	3.3%
回答者数計	270	100.0%

問4 摂南大学が設置構想中の「国際学部」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。

選択肢	回答数	割合
極めて高い	56	20.7%
ある程度高い	166	61.5%
あまりない	13	4.8%
全くない	0	0.0%
わからない	29	10.7%
回答者数計	270	100.0%

問5 摂南大学が設置構想中の「国際学部」が養成する人材を、貴社・貴機関・貴団体で採用したいと思われますか。

選択肢	回答数	割合
採用したい	114	42.2%
採用しない	3	1.1%
わからない	147	54.4%
回答者数計	270	100.0%

問6 「採用したい」とされた場合、よろしければ採用可能な人数をご記入ください。

記入数値	回答数	回答人数計
1人	5	5
2人	15	30
3人	14	42
4人	1	4
5人	8	40
6人	1	6
10人	2	20
20人	8	160
合計	54	307

※20名以上の回答については20名としてカウントした

問7 摂南大学「国際学部(仮称)」について期待される点、要望がございましたらご記入をお願いします。(1/3)

番号	回答
1	現在コロナ禍の中でインバウンド需要が低迷している状況ではありますが、オリンピック～今後の外国人観光客の方の動向に合わせて、語学力スキルの高い方が非常に重要と考えております。 英語のみでなく第2言語（特に中国語などアジア圏の語学）の強化をしていただければ幸いです。【愛知県 / 卸売業、小売業 / 3,000～9,999人】
2	宿泊業ですので、海外からのお客様をもてなす知識を身につけて卒業していただきたいと思えます。 例えば、国ごとの文化、食事、宗教、教育、マナー、国際関係、あとは、語学等があると思えます。 意外と日本史、世界史も必要な業界です。【大阪府 / 宿泊業、飲食サービス業 / 1,000～2,999人】
3	VUCA時代に生きる者として、個での事象をより深く探求していく姿勢を期待したい。 安易にインターネット検索結果で最適解を探したりすることのみならず、世の中には、未だに答えがないもの、またその時々によって答えが変わっているものも多い。 又、実践的なコミュニケーション力という方針からも、この様な訓練、気づき、発想力の転換こそが、今後を支える者として必要な人材像であると考えている。【東京都 / サービス業(他に分類されないもの) / 100～299人】
4	外国語運用スキル+ITスキルを身につけるとより課題解決力を養えると考えます。【大阪府 / サービス業(他に分類されないもの) / 500～999人】
5	国内外問わず、社会に出ると多様な価値観を持った人や企業と接することになります。知識だけではなく、実践的なコミュニケーション力を高め、色々な人と接することへの能力を持った学生様へと育てて頂ければと存じます。 そうすることで、あらゆる業界、職種で活躍できるのではと考えております。【大阪府 / 卸売業、小売業 / 3,000～9,999人】
6	自己コントロールができ、ねばり強く物事に取り組める能力を養ってほしい【和歌山県 / 公務(他に分類されるものを除く) / 1,000～2,999人】
7	世界で活躍できる人材を輩出していただきたいと思えます。【和歌山県 / 公務(他に分類されるものを除く) / 3,000～9,999人】
8	語学力と国際感覚をもった人材の育成【大阪府 / 学術研究、専門・技術サービス業 / ～99人】
9	判断力、理解力、表現力に富み、かつ、現代社会において、グローバルな価値観やコミュニケーション能力を駆使して世界活躍できる人材の養成。【大阪府 / サービス業(他に分類されないもの) / 300～499人】
10	弊社の業務内容の中では重視していませんが、今後の社会を考えると、必要な分野だと思います。【大阪府 / 教育、学習支援業 / 100～299人】
11	多文化共生社会で生活するうえで、日本は当然のこととして諸外国の文化や言語、歴史などを知ることは必要不可欠なことと考えます。社会経済や思考が内向きになりがちですが、多様性のある社会を構築するには、貴学がお考えの特色を生かした人材育成に期待します。【京都府 / 公務(他に分類されるものを除く) / ～99人】
12	いつもお世話になっております。 グローバル化が進み、インターネットなどの普及により貴校の新しい学部の需要は高まるものと存じます。【大阪府 / 卸売業、小売業 / 300～499人】
13	コミュニケーション力(外国語含む)、創造力、想像力、自主性に富む人材育成を期待します。【大阪府 / サービス業(他に分類されないもの) / ～99人】
14	海外の人材に負けない、物事に対し、YES、NOと自分の意思を伝えられる人材の育成を期待します。【大阪府 / サービス業(他に分類されないもの) / 1,000～2,999人】
15	英語教員養成に力を入れていただきたい。(英語教員が不足しているため)【兵庫県 / 公務(他に分類されるものを除く) / 1,000～2,999人】
16	英語の教員の採用を期待しています。【大阪府 / 情報通信業 / 100～299人】
17	海外で働きたいというよりは海外から見た日本のリソースを生かすアイデアを出す人材教育をしてもらえたらと思えます。【大阪府 / 宿泊業、飲食サービス業 / 100～299人】
18	英語圏の学生は意外に多いです。 インバウンド市場の70～80%は東南アジア圏です。 中国語、韓国語、台湾語ができる日本人は意外と少ないため、この3市場も取り込まれた方が他大学との差別化が図れると考えます。【大阪府 / 宿泊業、飲食サービス業 / 100～299人】
19	言語と文化の学習と共に社会マナーの教育を期待します。【兵庫県 / 宿泊業、飲食サービス業 / 100～299人】
20	外国の文化、言語に対して深い教養を身に付けられる事はもちろんですが、何より世界と渡り合う日本人として、母国日本の歴史や文化、伝統など、世界に広めていただける人材に育てていただきたく存じます。【兵庫県 / 医療、福祉 / 3,000～9,999人】
21	中国語を理解できる人材を育成すれば需要はあるのではないのでしょうか。【大阪府 / 製造業 / 300～499人】
22	国際物流の業界において活躍できる方がいらっしやれば 将来的には是非選考に参加いただきたいと思えます。【大阪府 / 運輸業、郵便業 / 10,000人～】

問7 摂南大学「国際学部(仮称)」について期待される点、要望がございましたらご記入をお願いします。(2/3)

番号	回答
23	AI等の技術が発達する中、人と人が接する我々接客業においては、やはり個人の言語力やコミュニケーション能力が必要不可欠であります。 御校にて、言語力を高める学生様は、より相手の心情を組む能力を身に付けてらっしゃると思えますので、是非とも採用したいと思っております。【東京都 / サービス業(他に分類されないもの) / 100~299人】
24	「マスコミ業界」もアンケートにお入れ下さい。【東京都 / サービス業(他に分類されないもの) / 10,000人~】
25	営業職を積極採用しているのですが、近年地元志向の学生が多く見受けられるのが現状です。国際学部に限らず他学部におかれましても、全国規模で御活躍いただけるような人材を期待いたします。【埼玉県 / 卸売業、小売業 / 1,000~2,999人】
26	現在、世界中がコロナ禍にあります、この先の見えない、ある意味、答えのない状況の中で、いかに自分は考え行動すべきか、自分で答えを導き、行動に移せる、頼もしい人材の育成を期待しております。【東京都 / 卸売業小売業 / 300~499人】
27	御校卒業生が非常に頑張っております。 今後、日本国内だけではなく、外国も視野に入れていかねばならない情勢において、国際的な感覚を養うのは非常に大切かと思えます。【東京都 / 卸売業、小売業 / 1,000~2,999人】
28	実践的なコミュニケーション力のある学生が貴校に限らず昨今、減少しているように感じます。 社会に出てからも自ら動き、考える、再現性のある行動のとれる学生の育成を期待しています。【東京都 / 卸売業、小売業 / 500~999人】
29	障がい福祉事業を行っています。インターンに来られる学生で、国際系、外国語系の学部の学生が増えています。 学生の声を聞くかぎり、就職先が観光業ばかりで、学部のメリットを感じないとのことでした。 今の時代に国際系の学部にニーズがあるとは思えません。 国際のどこに力を入れるのか?・・・それ次第だと思います。【滋賀県 / サービス業(他に分類されないもの) / 300~499人】
30	外国語能力に対するニーズは低い、 それ以外の項目については、学部を問わず高めて欲しいです。【高知県 / 卸売業、小売業 / 1,000~2,999人】
31	”海外で働きたい”という志向よりグローバルな視点で物事を捉えることができる人材(学生)の育成・教育に期待しています。【大阪府 / 医療、福祉 / 300~499人】
32	海外の方との交流に抵抗無くなるような語学力、 海外での勤務に抵抗が無くなるよう海外での留学経験は どのような企業においても必要とされると思われます。【広島県 / 教育、学習支援業 / 10,000人~】
33	変化の多い時代に対応できる人材の輩出を期待します。【京都府 / 電気・ガス・熱供給・水道業 / 100~299人】
34	語学のみならず、国際的視野を持った人材の育成。【大阪府 / 公務(他に分類されるものを除く) / 100~299人】
35	卒業後の進路において、グローバルな仕事に携われる可能性があまり思いだせないです。【東京都 / 卸売業、小売業 / 3,000~9,999人】
36	構想にある③のような人材を輩出されることを期待します。【東京都 / 卸売業、小売業 / 1,000~2,999人】
37	採用活動において、学生自身が自分の体験を自分の言葉で語るといのが必要不可欠かと思えます。その点も踏まえて、学生時代に一生懸命にやったことをつくり機会の提供を期待しています。【愛知県 / 運輸業、郵便業 / 1,000~2,999人】
38	語学に長けた人材【東京都 / 宿泊業、飲食サービス業 / 500~999人】
39	もし可能であれば、留学されている学生様が、留年しなくても卒業できる制度等があれば、より就職活動もしやすく、採用時期に単位の心配をされないのではないかと考えました。毎年、留学された向上心の高い学生様の方が就職活動が不利になってしまっているように感じます。【東京都 / 卸売業、小売業 / 300~499人】
40	外国人と円滑なコミュニケーションを取れる語学力 外国人労働者とも同じ職場で働くことのできる異文化理解力【東京都 / 教育、学習支援業 / 100~299人】
41	SEの現場において、英語力を求められる現場も近年増えているため、ビジネスシーンにおける英語の活用を得意とする人物が多数いると嬉しいです。【東京都 / 不動産業、物品賃貸業 / 3,000~9,999人】
42	コロナ禍ということもあり、現状は判断しづらいというのが本音です。【東京都 / サービス業(他に分類されないもの) / 3,000~9,999人】
43	問5に関して 国際学部で学ばれた知識が医療業界で活かせ、弊社でのご勤務(ご入社)希望がございましたら医療事務として採用の受け入れは可能でございます。 宜しくお願い致します。【和歌山県 / 公務(他に分類されるものを除く) / 100~299人】

問7 摂南大学「国際学部(仮称)」について期待される点、要望がございましたらご記入をお願いします。(3/3)

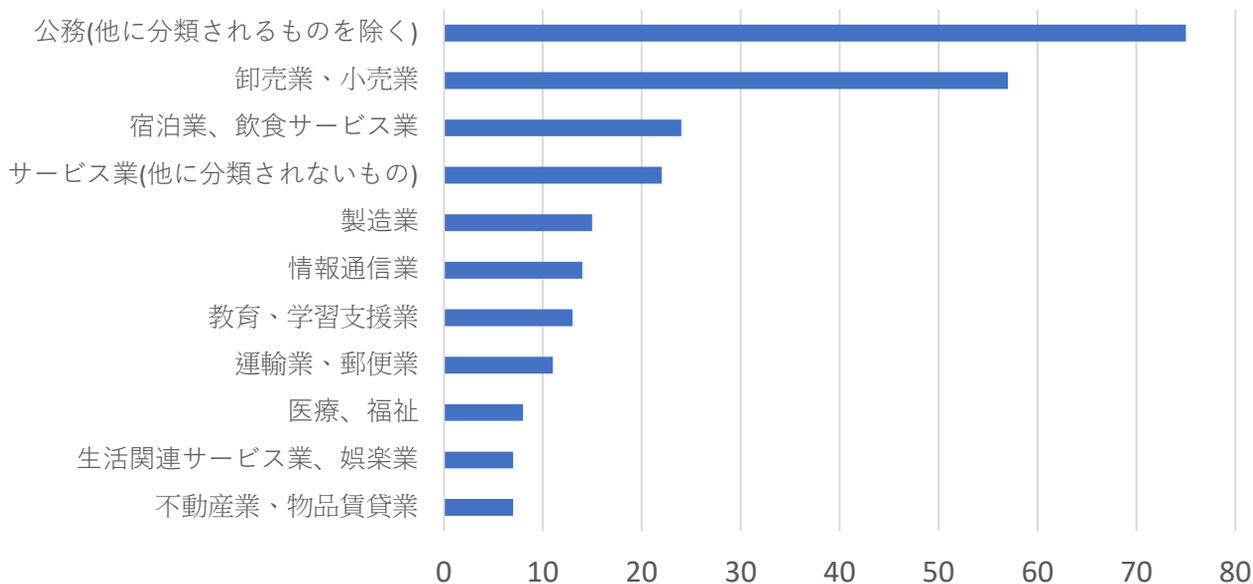
番号	回答
44	当金庫採用におきましては、学部、学科を問わず人物重視で選考しています。 当金庫の業務、社風に興味がある方のご応募をお待ちしております。【大阪府 / 公務(他に分類されるものを除く) / 1,000~2,999人】
45	留学を必須とする。【和歌山県 / 公務(他に分類されるものを除く) / ~99人】
46	多様な価値観を理解することで 柔軟な発想、思考力を持ち課題解決に向けて努力 できる人材を期待しています。【東京都 / 宿泊業、飲食サービス業 / 1,000~2,999人】
47	語学向上や海外の文化に触れるだけでなく、いろいろなことに興味を持ち、知識を得ようとする向上心を持った人財、あらゆる世代(年代)の方と物怖じせずに友好的にコミュニケーションがとれる人財を育成して頂きたいです。 【京都府 / 宿泊業、飲食サービス業 / 500~999人】
48	グローバルな視点で考え、主体的に行動できる育成に期待します。【大阪府 / 卸売業、小売業 / 300~499人】
49	・実際に使える外国語会話力 ・人間学【和歌山県 / 公務(他に分類されるものを除く) / 500~999人】
50	国内外に目を向けることの人材が育つことを心待ちにしております。【愛知県 / 運輸業、郵便業 / 500~999人】
51	語学力のみではなく、グローバル事業に必要な鋭い国際感覚をお持ちの学生さんを求めています。【大阪府 / 公務(他に分類されるものを除く) / 500~999人】
52	本学部のシラバスや取り組まれる科目が弊社の業界にどう関わるかを検討の対象としたい。【大阪府 / 卸売業、小売業 / 3,000~9,999人】
53	宿泊業を行う企業として大変興味深い学部です。 現在は新型コロナウイルスの影響があり、国内のお客様が中心ですが、 本来2020年は例年を大きく上回るインバウンドの集客が見込まれていました。 2021年には東京オリンピックを控え、年々海外のお客様への接客や集客は改善を重ねていく必要があります。 そんな中、広い視野を持ち、知識を活かせるポテンシャルのある学生は貴重な人材です。 今後、摂南大学様の動きにより注目して参ります。【大阪府 / 運輸業、郵便業 / 10,000人~】
54	単なる語学力だけでなく、広い視野と柔軟性、グローバル社会で活躍できる主体性を持った人材の育成【東京都 / 宿泊業、飲食サービス業 / 3,000~9,999人】
55	毎年ではありませんが、摂南大学様とはご縁がございますので、今後も優秀な学生の方々と出会えますよう、願っております。 今後共、何卒宜しくお願い申し上げます。【兵庫県 / 卸売業、小売業 / 300~499人】
56	今後、自動車業界においても大変革期を迎えている中で、視野を広く持ったこういった学科・学部で学んでいる学生は貴重であり、そういった学生様の柔軟性に期待します。【大阪府 / サービス業(他に分類されないもの) / 1,000~2,999人】
57	オリンピックや万博といった国際的なイベントが増えていくにあたり、 セキュリティにもグローバルで実践的なコミュニケーションを取ることの出来る人材を期待します。【東京都 / サービス業(他に分類されないもの) / 1,000~2,999人】
58	現在、御大学からの新卒採用者が2名、活躍いただいております。 新卒採用は是非御大学生からと考えております。【大阪府 / 教育、学習支援業 / ~99人】
59	あまり学部を意識した採用はしていない。 その学部で社会に必要な能力→人間力、追求力。 答えがない課題に対して答えを出していく力が身につくかどうか。 コロナ後の社会(世界)はグローバル→民族自決の方向に動いている。【東京都 / 卸売業、小売業 / 500~999人】
60	日本の大学が「ガラパゴス化」しないよう、グローバルな教育は重要と考えますので、多様化する人材を育てていただけることを期待します。【滋賀県 / 公務(他に分類されるものを除く) / 300~499人】
61	住民の方とのコミュニケーション能力を高めて欲しい。【大阪府 / 宿泊業、飲食サービス業 / 300~499人】
62	日本で働きながら訪問ゲストに対して、おもてなしを伝える事の出来るかたの養成。【大阪府 / 不動産業、物品賃貸業 / 100~299人】
63	ビジネスレベルの英会話も【大阪府 / 公務(他に分類されるものを除く) / 3,000~9,999人】

POINT

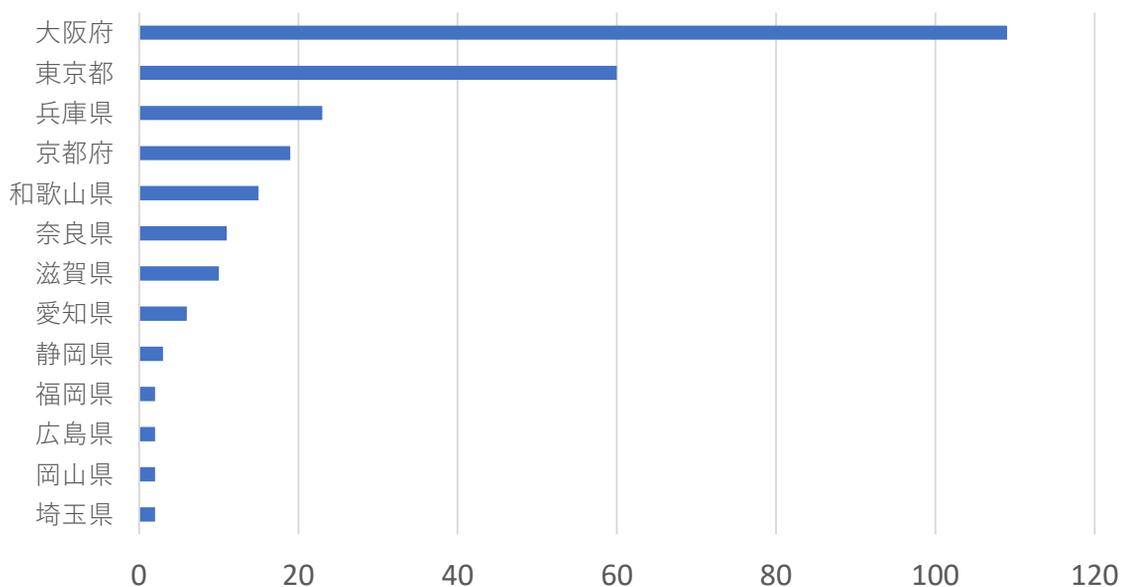
回答をいただいた対象先へ、主業種について質問したところ、「公務」が75箇所(全体の27.8%)ともっとも多く、次いで「卸売業、小売業」が57箇所(同21.1%)、「宿泊業、飲食サービス業」が24箇所(同8.9%)であった。

回答対象先の所在地については、「大阪府」が109箇所(同40.4%)と、全体の4割を占め、東京都とその他の近畿1府4県に所在するとの回答が続いた。

グラフ：回答対象先の主業種（上位11項目）



グラフ：回答対象先の所在地（上位13項目）

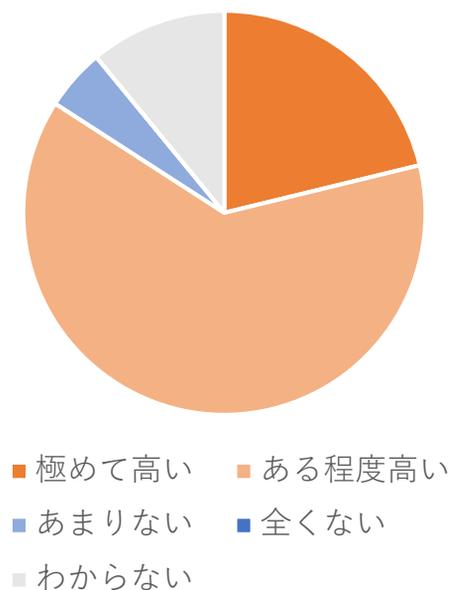


POINT

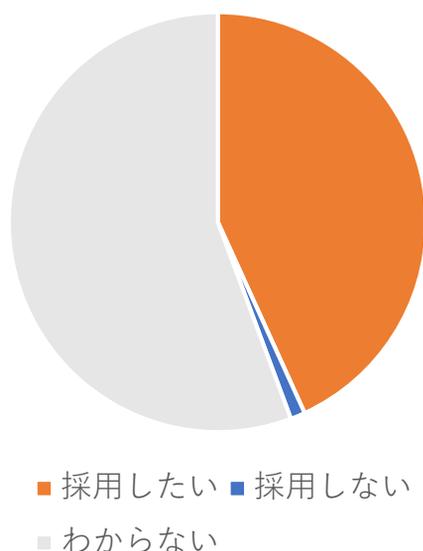
摂南大学「国際学部（仮称）」の養成する人材について、社会的ニーズの有無を尋ねたところ、「極めて高い」との回答が56箇所(全体の20.7%)、「ある程度高い」との回答が166箇所(同61.5%)であり、合計すると8割以上の対象先が摂南大学「国際学部（仮称）」の養成する人材の社会的ニーズを認める結果となった。

また、摂南大学「国際学部（仮称）」卒業生の採用については、114箇所(同42.2%)の対象先より「採用したい」との回答をいただき、計307人分の採用意向が認められた。

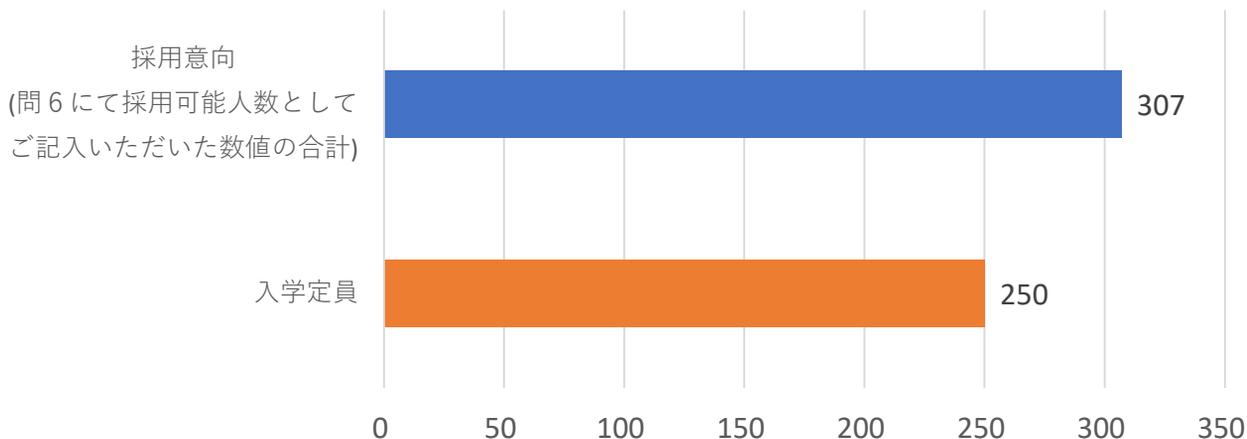
グラフ：摂南大学「国際学部（仮称）」卒業生の社会的ニーズ



グラフ：摂南大学「国際学部（仮称）」卒業生の採用意向



グラフ：摂南大学「国際学部（仮称）」卒業生の採用可能人数



添付資料

『摂南大学「国際学部（仮称）」設置構想についての人材需要アンケート調査』用紙

『摂南大学「国際学部（仮称）」概要』用紙



摂南大学

「国際学部（仮称）」設置構想についての 人材需要アンケート調査

（対象：人事・採用ご担当者様）

記入例を参考にご回答ください。



問1 貴社・貴機関・貴団体の主業種をお答えください。（最もあてはまるもの1つにマークをお願いします）

- | | | |
|--|-------------------------------------|---|
| <input type="radio"/> 農業、林業 | <input type="radio"/> 漁業 | <input type="radio"/> 鉱業、採石業、砂利採取業 |
| <input type="radio"/> 建設業 | <input type="radio"/> 製造業 | <input type="radio"/> 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| <input type="radio"/> 情報通信業 | <input type="radio"/> 運輸業、郵便業 | <input type="radio"/> 卸売業、小売業 |
| <input type="radio"/> 金融業・保険業 | <input type="radio"/> 不動産業、物品賃貸業 | <input type="radio"/> 学術研究、専門・技術サービス業 |
| <input type="radio"/> 宿泊業、飲食サービス業 | <input type="radio"/> 生活関連サービス業、娯楽業 | <input type="radio"/> 教育、学習支援業 |
| <input type="radio"/> 医療、福祉 | <input type="radio"/> 複合サービス事業 | <input type="radio"/> サービス業(他に分類されないもの) |
| <input type="radio"/> 公務(他に分類されるものを除く) | <input type="radio"/> その他 | |

問2 貴社・貴機関・貴団体の所在地（本社・主たる事業所）をお答えください。（あてはまるもの1つにマークをお願いします）

- | | | | | | | |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 北海道 | <input type="radio"/> 青森県 | <input type="radio"/> 岩手県 | <input type="radio"/> 宮城県 | <input type="radio"/> 秋田県 | <input type="radio"/> 山形県 | <input type="radio"/> 福島県 |
| <input type="radio"/> 埼玉県 | <input type="radio"/> 千葉県 | <input type="radio"/> 東京都 | <input type="radio"/> 神奈川県 | | | |
| <input type="radio"/> 茨城県 | <input type="radio"/> 栃木県 | <input type="radio"/> 群馬県 | <input type="radio"/> 山梨県 | <input type="radio"/> 長野県 | | |
| <input type="radio"/> 新潟県 | <input type="radio"/> 富山県 | <input type="radio"/> 石川県 | <input type="radio"/> 福井県 | | | |
| <input type="radio"/> 岐阜県 | <input type="radio"/> 静岡県 | <input type="radio"/> 愛知県 | <input type="radio"/> 三重県 | | | |
| <input type="radio"/> 滋賀県 | <input type="radio"/> 京都府 | <input type="radio"/> 大阪府 | <input type="radio"/> 兵庫県 | <input type="radio"/> 奈良県 | <input type="radio"/> 和歌山県 | |
| <input type="radio"/> 鳥取県 | <input type="radio"/> 島根県 | <input type="radio"/> 岡山県 | <input type="radio"/> 広島県 | <input type="radio"/> 山口県 | | |
| <input type="radio"/> 徳島県 | <input type="radio"/> 香川県 | <input type="radio"/> 愛媛県 | <input type="radio"/> 高知県 | | | |
| <input type="radio"/> 福岡県 | <input type="radio"/> 佐賀県 | <input type="radio"/> 長崎県 | <input type="radio"/> 熊本県 | <input type="radio"/> 大分県 | <input type="radio"/> 宮崎県 | <input type="radio"/> 鹿児島県 |
| <input type="radio"/> 沖縄県 | <input type="radio"/> 海外 | | | | | |

問3 貴社・貴機関・貴団体の従業員・職員数をお答えください。（あてはまるもの1つにマークをお願いします）

- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| <input type="radio"/> ~99人 | <input type="radio"/> 100~299人 | <input type="radio"/> 300~499人 | <input type="radio"/> 500~999人 |
| <input type="radio"/> 1,000~2,999人 | <input type="radio"/> 3,000~9,999人 | <input type="radio"/> 10,000人~ | |

問4以降は、摂南大学「国際学部（仮称）」の概要（別紙）をご覧の上でお答えください。





問4 摂南大学が設置構想中の「国際学部(仮称)」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。
(あてはまるもの1つにマークをお願いします)

- 極めて高い ある程度高い あまりない 全くない わからない

問5 摂南大学が設置構想中の「国際学部(仮称)」が養成する人材を、貴社・貴機関・貴団体に採用したいと思われますか。
(あてはまるもの1つにマークをお願いします)

- 採用したい 採用しない わからない

問6 「採用したい」とされた場合、採用可能な人数がございましたら、可能な範囲でお答え願います。

問7 摂南大学「国際学部(仮称)」について期待される点、要望がございましたらご記入をお願いします。

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。



摂南大学 国際学部（仮称）

設
構
想
中

学
部
の
概
要

開設場所：大阪府寝屋川市池田中町17-8

修業年限：4年

入学定員：250名（収容定員1,010名）

取得学位：学士（文学）

育成する人材：グローバル化・ボーダレス化が進む世界が抱える問題に対し、①多様な価値観を理解し②人や社会に関する知見を深め③実践的なコミュニケーション力を高めることで、新たな視点や解決策を見出し行動することのできる人材を育てます。

取得可能な資格：中学校・高等学校教諭一種（英語）、学芸員、日本語教員養成（副専攻相当）

学
部
の
特
色

豊富な実践型の授業

社会のグローバル化に向き合っていくために、文化や社会の個別の知識を単に身につけるだけでなく、それを活かす力を育む実践型学修を核とした、画期的なカリキュラムを展開します。

海外の大学、国内外の企業との連携

世界11カ国の大学との留学協定、ANAとの連携講座、バレンシア国際カレッジプログラムとの提携、海外のホテルでのインターンシップ、その他多彩な実習・演習科目を揃え、教室の外にもたくさんの学びの場を用意します。

多文化社会、グローバル化社会に向き合うための課題解決力を養います

知識はもちろん必要ですが、現代社会ではその知識を課題の解決に活かしていく能力が求められます。本学部では多彩なプロジェクト科目から自身の関心と目標に応じたものを選択し、半期ごとに成果を生み出していくことで、課題を発見し、思考し、協力し、解決策を見いだす実践的な力を身につけます。SDGsの多くの目標に対応した学びもできます(SDGs1～5・10・11・15～17)。

複雑化・多様化する社会に活かせる実践的な外国語運用能力を身につけます

AIや翻訳技術が進化しても、言語を学ぶ重要性は変わりません。言語を通して文化・社会を学ぶことで、複雑化・多様化する社会を前に、柔軟で複眼的な思考を身につけることが可能となります。そのため〈外国語を学ぶ〉のではなく〈外国語で学ぶ〉科目や、学びの中で外国語に触れる科目を充実させています。社会に通用する〈語学マイスター制度〉も導入、また、短期の海外実習や半年の留学も推奨します。

卒
業
後
の
進
路

商社や旅行業、メーカーをはじめ、
公務員、金融業、サービス業、さらに
出版や教育関係など幅広い分野の
国際関連業務

本
学
へ
の
ア
ク
セ
ス

 大阪・京都・神戸・奈良から快適通学。
アクセス便利な立地環境。

<寝屋川キャンパスへの所要時間>

- 大阪駅から 約34分
- 京都駅から 約51分
- 三ノ宮駅から 約55分
- 奈良駅から 約79分

初年時納入金（他大学を含む）

大学	学部・学科	入学金	授業料	教育充実費	計
摂南大学	国際学部 国際学科（仮称）	250,000円	980,000円	50,000円	1,280,000円
関西外国語大学	英語キャリア学部、外国語学部、英語国際学部	250,000円	800,000円	350,000円	1,400,000円
京都外国語大学	国際貢献学部、外国語学部	230,000円	795,000円	415,000円	1,440,000円

※各大学の学費は各大学ホームページ掲載情報（令和2年8月時点）に基づきます。
※設置構想中のため、学部・学科名称、定員、取得できる免許・資格、内容、学費などは変更となる場合があります。

摂南大学 経営学部の就職状況（過去5年間）

A. 経営学科

年度	就職（内定）率 (就職者数÷就職活動者数)	卒業（見込）者数	就職活動（希望）者数	進学者数	就職（内定）者数
2016年度	97.6%	142	123	2	120
2017年度	100.0%	162	155	0	155
2018年度	96.3%	146	134	1	129
2019年度	98.6%	154	143	2	141
2020年度	85.6%	170	160	1	137

※2020年度は見込者数。就職者数は内定者数（2021年1月6日現在）

B. 経営情報学科

年度	就職（内定）率 (就職者数÷就職活動者数)	卒業（見込）者数	就職活動（希望）者数	進学者数	就職（内定）者数
2016年度	98.1%	118	106	0	104
2017年度	94.1%	130	118	0	111
2018年度	98.1%	115	104	0	102
2019年度	96.5%	93	86	0	83
2020年度	90.7%	112	108	0	98

※2020年度は見込者数。就職者数は内定者数（2021年1月6日現在）

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏 名 < 就任(予定)年月 >	年 齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就 任 年 月)
—	学長	オギタ キヨカズ 荻田 喜代一 < 令和元年 11 月 >		医学博士		摂南大学学長 (令和元.11～令和 3.10)